

第3節 石器・石製品

石器・石製品に関しては以下の器種を確認した。以下に、器種名・【出土総点数】・該当する登録番号の順に掲載する。

打製石器に関して、大型および小型という分類を使用している。大型は、打製石斧・礫器・刃器に対応する打製石器群で、それに対応する剥片石核類も含まれる。小型は石鏃などに対応する打製石器群で、それに対応する剥片石核類も含まれる。本遺跡から出土する打製石器は、後述するように安山岩主体となっており、大型を主体として一部小型にも使用されている。従って、石鏃に対応する石器群のみ小型と称して、安山岩主体とする石器群に関しては、大型・小型の区別なく提示することとする。

なお、安山岩の石材分類（A～F）は、『西地・東地遺跡報告書』掲載の堀木分類に準じるものである（堀木 2019）。

1 石器

(1) 石鏃【総計 37】

【無茎鏃 27】 30・62～64・86・88・90・94・95・119～121・150～152・219・253・254・276～282

【有茎鏃 6】 65・149・255・283～285

【基部形態不明 4】

無茎鏃のうち、下呂石あるいはその可能性のあるものは15点（計 11.6g）、黒曜石 8点（計 4.2g）、溶結凝灰岩 2点（0.9g）、サヌカイト 1点（0.7g）、メノウ 1点（0.1g）である。

一方、有茎鏃では、下呂石 1点（1.1g）、溶結凝灰岩 1点（2.4g）のほか、安山岩 B 3点（6.7g）、安山岩 D 1点（3.7g）と、使用石材の様相が異なる。有茎鏃では全長 4cm を越える長身鏃があることなど、弥生時代に属する資料が含まれることも一因であろう。

(2) 石錐【21】

31・66・96・122・286～294

使用石材は、下呂石 6点（計 12.3g）、黒曜石 3点（計 5.5g）、サヌカイト 1点（1.3g）、メノウ 1点（15.7g）、溶結凝灰岩 1点（2.2g）、安山岩 B 8点（308.5g）、安山岩 D 1点（8.2g）である。

(3) 石匙【6】

38・97・222・256・295・296

石匙の形態はいわゆる横長が主体である。使用石材は、安山岩 B 5点（175.5g）、安山岩 D 1点（32.8g）である。

(4) 異形石器【2】

91・92

使用石材はいずれも泥質凝灰岩で、計 4.3g である。

(5) 使用痕のある剥片（小型）【8】

87・321・322～324・325

使用石材は、下呂石 2点（17.3g）、黒曜石 2点（4.9g）、溶結凝灰岩 3点（40.3g）、泥質凝灰岩 1点（18.7g）、チャート 1点（3.1g）である。下呂石のうち 1点は角礫である。

(6) 二次加工のある剥片（小型）【19】

67～69・326～334

石鏃（特に無茎鏃）などに対応すると考えられる剥片である。下呂石 9点（計 17.0g）、黒曜石 3点（3.8g）、溶結凝灰岩 4点（計 8.8g）、凝灰質泥岩 1点（6.1g）、サヌカイト 1点（3.5g）、安山岩 B 2点（5.7g）である。

(7) 剥片（小型）【514】

1～6・8・17～20・29・70・103・125・158～173・259・335～367

石鏃などに対応する剥片と考えられる。下呂石 225点（計 487.6g）、黒曜石 105点（計 123.5g）、凝灰岩 9点（計 56.7g）、凝灰質泥岩 2点（計 10.7g）、泥岩 9点（25.4g）、泥質凝灰岩 14点（222.9g）、砂質凝灰岩 6点（52.7g）、頁岩 1点（0.4g）、チャート 1点（4.1g）、メノウ 1点（4.1g）、溶結凝灰岩 110点（1140.5g）、溶結凝灰岩もしくはチャートと思われるもの 6点（計 11.6g）、サヌカイト 14点（計 20.5g）、安山岩 B 4点（計 55.6g）安山岩 D 7点（52.0g）、安山岩 D もしくは下呂石 1点（0.2g）、その他安山岩 1点（0.3g）、松脂岩 2点（14.4g）、片麻岩 1点（8.8g）、である。

上記のなかで下呂石は、角礫由来と円礫由来の剥片がある。角礫は 9点（計 19.8g）に対して、円礫は 2点（19.3g）である。

(8) 石核（小型）【56】

9・32・40・78・99・174・368～377

石材は、下呂石 12点（計 74.5g）、黒曜石 24点（計 85.6g）、溶結凝灰岩 15点（計 993.4g）、凝灰岩 1点（65.7g）、泥質凝灰岩 3点（計 300.2g）、泥岩 1点（1.4g）で、下呂石 8点の中には、角礫由来の資料が 2点（計 9.2g）が含まれている。

(9) 微細剥片（小型）

径 1cm 未満を主体とする剥片である。今回の調査では、黒曜石のみが確認された。

(10) 楔形石器【3】

378

対向する二辺に階段状剥離が認められるものである。チャート 1点（17.3g）、泥質凝灰岩 1点（38.1g）、安山岩 B1点（5.3g）である。

(11) スクレイパー【83】

7・39・81・98・101・102・123・124・153～157・224・229・240・245・257・258・297

～ 320

使用石材は、黒曜石 1 点 (2.5g)、下呂石 2 点 (計 36.1g)、サヌカイト 1 (51.9g)、安山岩 B 46 点 (計 2103.9g)、安山岩 D 8 点 (472.2g)、安山岩 E 2 点 (計 170.0g)、その他安山岩 1 点 (22.6g)、泥質凝灰岩 10 点 (計 373.3g)、砂質凝灰岩 1 点 (23.1g)、溶結凝灰岩 7 点 (計 126.0g)、凝灰質泥岩 2 点 (38.6g)、片麻岩 1 点 (53.3g)、である。このうち下呂石には角礫素材が 1 点 (34.0g) 含まれている。

(12) 打製石斧【134】

10・16・21・41・42・104・105・126・148・175～188・22・249・251・260～263・379～411

打製石斧は、短冊形をしたものが圧倒的多数である。その中でも、21 は長さ 10cm を越える撥形を呈するもので、欠損などはない。風化しやすい石材であるため、器面の状況では断言できないものの、使用の程度は低かったのではないかと推察される。15A 区集石の中から出土したものであり、何か象徴的な意味合いを有していたものの可能性もある。

使用石材は、安山岩 B 67 点 (計 4911.7g)、安山岩 D 30 点 (計 2733.3g)、安山岩 E 10 点 (計 1176.5g)、その他安山岩 2 点 (計 176.4g) 泥質凝灰岩 7 点 (計 488.6g)、砂質凝灰岩 5 点 (415.6g)、凝灰岩 1 点 (39.5g)、凝灰質泥岩 1 点 (30.9g)、玄武岩 2 点 (計 223.4g)、泥岩 1 点 (21.9g)、溶結凝灰岩 1 点 (51.9g)、片麻岩 1 点 (141.2g)、黒色片岩 1 点 (11.5g)、緑色片岩 3 点 (400.1g)、結晶片岩 2 点 (計 58.0g) である。

(13) 礫器【215】

35・50・51・77・110～112・127・223・225・235・496～504

使用石材は、安山岩 A 1 点 (156.8g)、安山岩 B 89 点 (32648.9g)、安山岩 D 75 点 (42107.6g)、安山岩 E 11 点 (4917.9g)、安山岩 F 1 点 (144.0g)、その他安山岩 8 点 (計 4709.3g)、凝灰岩 4 点 (2072.6g)、凝灰質砂岩 7 点 (計 7298.1g)、泥質凝灰岩 17 点 (3693.4g)、泥岩 1 点 (87.9g)、片麻岩 1 点 (199.5g)、である。

(14) 刃器【126】

22・23・43～48・61・72・74・79・93・106～108・128・129・189～193・226・230・234・241・242・246・264・265・412～445

使用石材は、安山岩 B 69 点 (計 1311.4g)、安山岩 D 31 点 (計 3910.4g)、安山岩 E 5 点 (計 659.3g)、その他安山岩 1 点 (59.1g)、凝灰質砂岩 3 点 (計 562.1g)、泥質凝灰岩 7 点 (計 1021.2g)、砂質凝灰岩 6 点 (計 598.2g)、溶結凝灰岩 1 点 (78.5g)、緑色片岩 1 点 (51.3g)、片麻岩 1 点 (274.0g)、である。

(15) 使用痕のある剥片【36】

24・33・82・89・194～197・231・233・266・267・447～461

刃器よりもやや不定形のものを集めたが、機能としては刃器と同一である。

使用石材は、安山岩 B 24 点 (計 1086.3g)、安山岩 D 4 点 (計 220.8g)、安山岩 E 1 点 (70.7g)、その他安山岩 1 点 (36.6g)、泥質凝灰岩 5 点 (計 164.4g)、砂質凝灰岩 1 点 (55.9g)、である。

(16) その他剥片石器【15】

446・479～482

使用石材は、安山岩 B 10 点 (計 1081.6g)、安山岩 D 4 点 (計 250.8g)、その他安山岩 1 点 (37.5g) である。

(17) 二次加工のある剥片 (打製石斧などに対応)【113】

11～13・28・73・130・131・198～208・247・252・268～271・462～478

打製石斧・刃器などの製作途上に対応する器種である。石材は、安山岩 B 79 点 (計 7487.2g)、安山岩 D 12 点 (計 1130.0g)、安山岩 E 1 点 (146.9g)、その他安山岩 1 (68.6g)、泥質凝灰岩 13 点 (計 847.7g)、片麻岩 1 点 (5.8g)、結晶片岩 2 点 (計 40.3g)、砂質凝灰岩 1 点 (18.1g)、である。

(18) 剥片【8133】

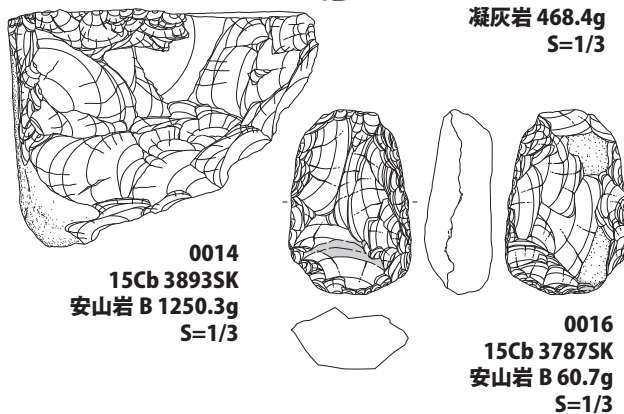
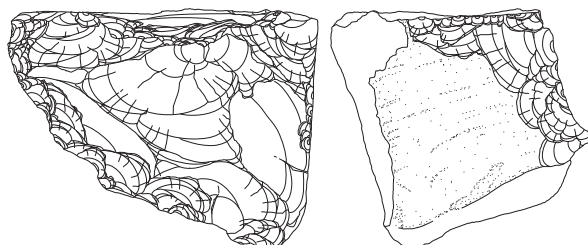
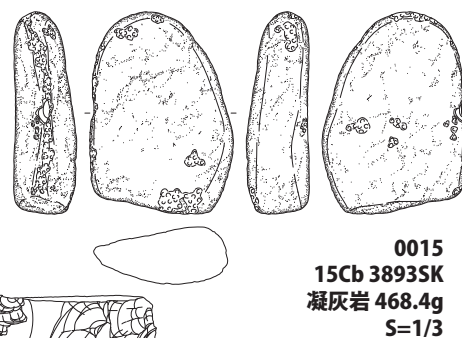
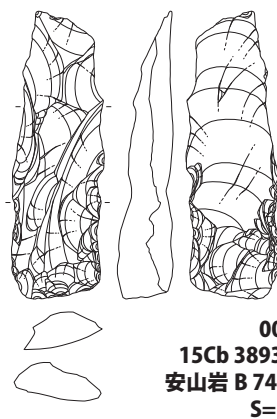
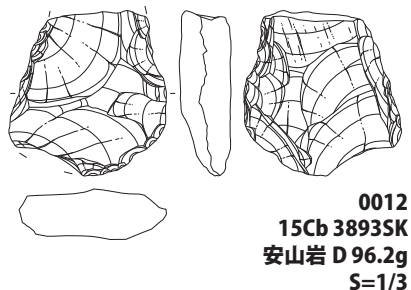
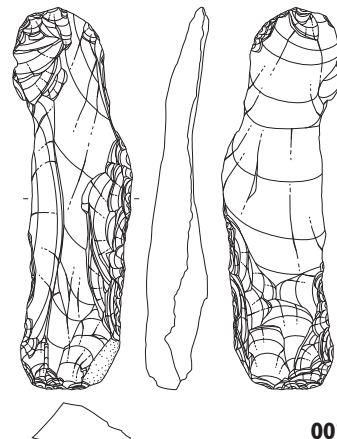
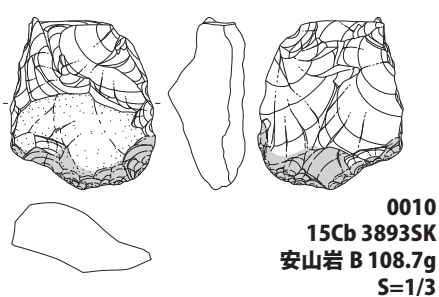
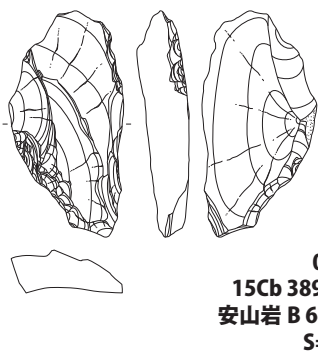
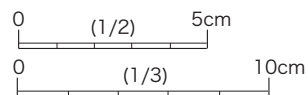
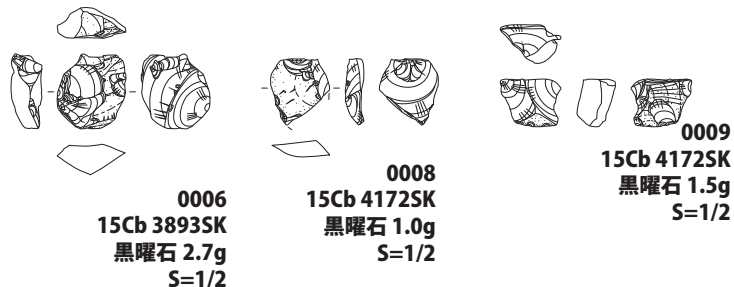
25・26・34・49・83・109・209～213・220・221・227・232・250・272・483～495・555

石材は、安山岩 A 14 点 (計 479.5g)、安山岩 B 3910 点 (計 113300.1g)、安山岩 C 1 点 (10.6g)、安山岩 D 1695 点 (計 70999.2g)、安山岩 E 354 点 (計 20688.6g)、安山岩 F 4 点 (計 51.5g)、その他安山岩 155 (6496.6g)、泥質凝灰岩 953 点 (17463.2g)、砂質凝灰岩 650 点 (10747.5g)、凝灰岩 180 点 (計 2385.8g)、凝灰質砂岩 53 点 (計 1178.0g)、凝灰質泥岩 60 点 (計 1073.4g)、泥岩 10 点 (144.8g)、玄武岩 16 点 (計 491.5g)、珪質岩 1 (1.6g)、塩基性岩 3 点 (計 62.9g)、結晶片岩 9 点 (計 165.8g)、黒色片岩 1 点 (8.1g)、緑色片岩 13 点 (111.2) g、緑色岩 1 点 (82.8g)、流紋岩 1 点 (12.9g)、花こう岩 2 点 (計 111.1g)、片麻岩 47 点 (計 765.1g) である。

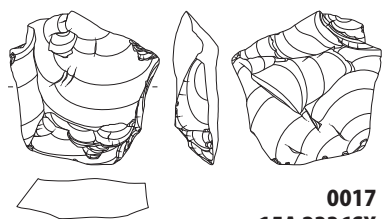
(19) 石核【260】

14・214・215・273・505～510・1072

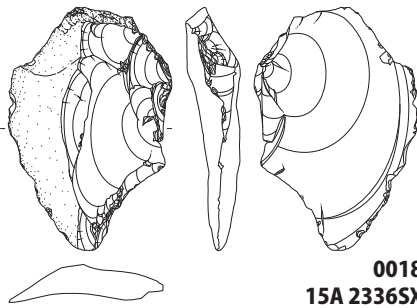
一部、礫器に含まれている可能性がある。石材は、安山岩 A 1 点 (1216.5g)、安山岩 B 149 点 (計 33409.3g)、安山岩 D 56 点 (計 31836.5g)、安山岩 E 12 点 (計 3411.8g)、その他安山岩 6 点 (計 21800.9g)、凝灰岩 3 点 (計 203.0g)、凝灰質砂岩 2 点 (計 2746.6g)、凝灰質泥岩 1 点 (346.3g)、砂



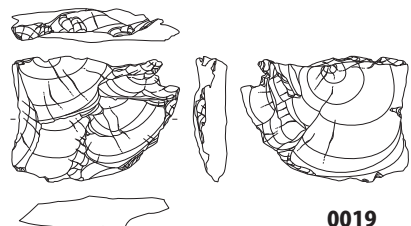
第 247 图 3893SI 出土石器



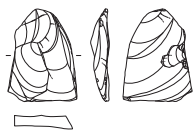
0017
15A 2336SX
下呂石 26.7g
S=1/2



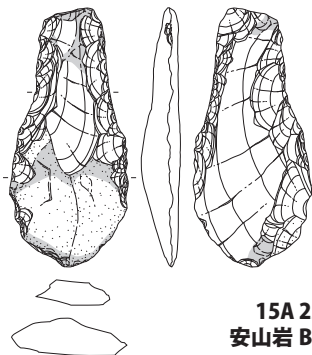
0018
15A 2336SX
泥質凝灰岩 33.7g
S=1/2



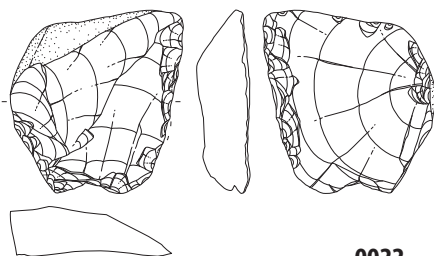
0019
15A 2336SX
溶結凝灰岩 17.3g
S=1/2



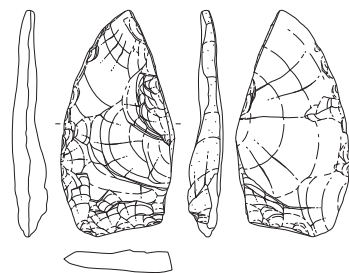
0020
15A 2336SX
下呂石 2.4g
S=1/4



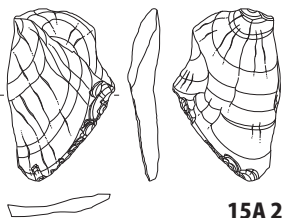
0021
15A 2336SX
安山岩 B 67.5g
S=1/3



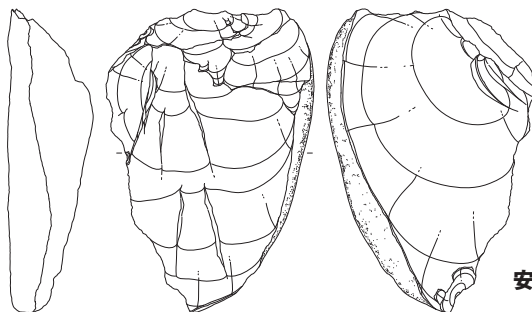
0022
15A 2336SX
安山岩 B 100.9g
S=1/3



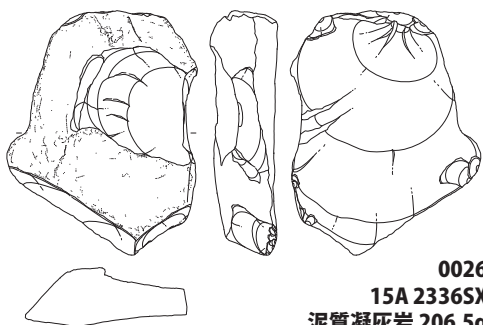
0023
15A 2336SX
安山岩 E 49.2g
S=1/3



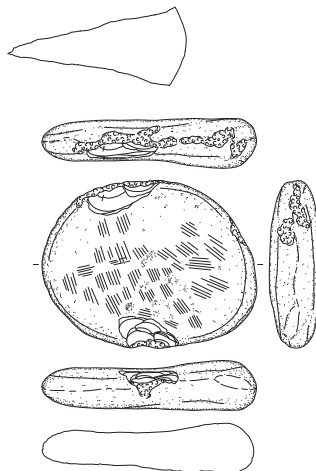
0024
15A 2336SX
安山岩 B 21.6g
S=1/3



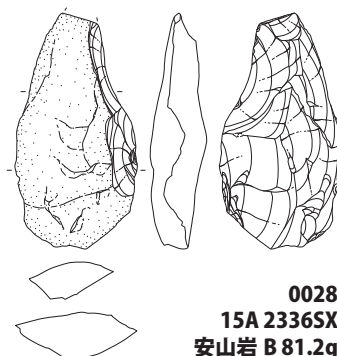
0025
15A 2336SX
安山岩 B 262.8g
S=1/3



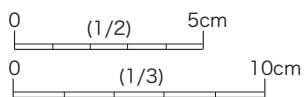
0026
15A 2336SX
泥質凝灰岩 206.5g
S=1/3



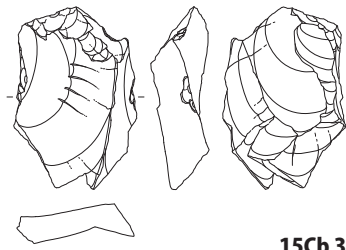
0027
15A 2336SX
安山岩 E 119.9g
S=1/3



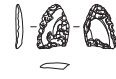
0028
15A 2336SX
安山岩 B 81.2g
S=1/3



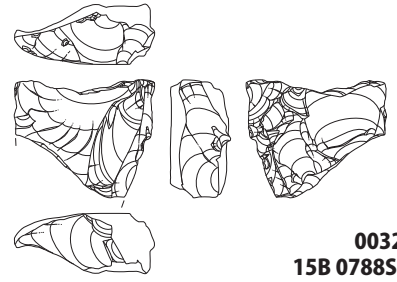
第 248 圖 2336SXI 出土石器



0029
15Cb 3303SL
溶結凝灰岩 16.6g
S=1/2



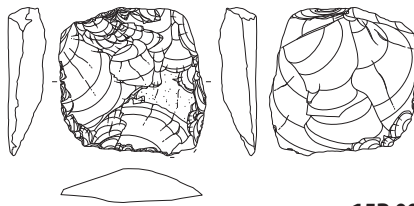
0030
15B 0788SI
黑曜石 0.2g
S=1/2



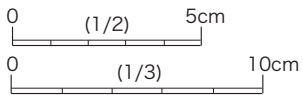
0032
15B 0788SI
溶結凝灰岩 15.8g
S=1/2



0031
15B 0788SI
黑曜石 1.4g
S=1/2



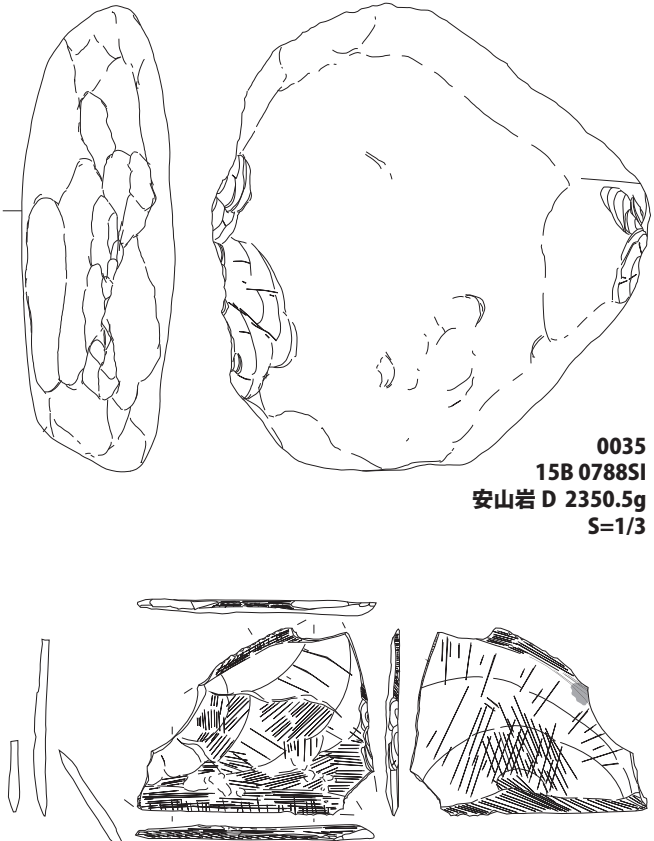
0033
15B 0906SK
安山岩 B 55.8g
S=1/3



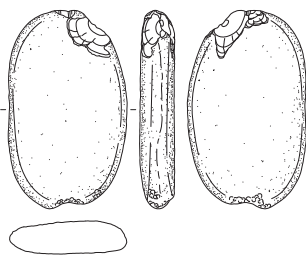
0034
15B 0788SI
泥質凝灰岩 630.7g
S=1/3



0035
15B 0788SI
安山岩 D 2350.5g
S=1/3

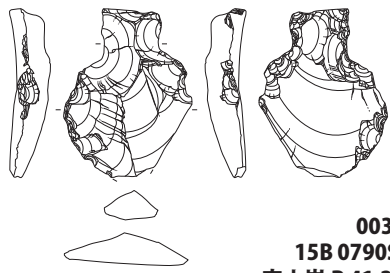


0036
15B 0906SK
片麻岩 84.9g
S=1/3

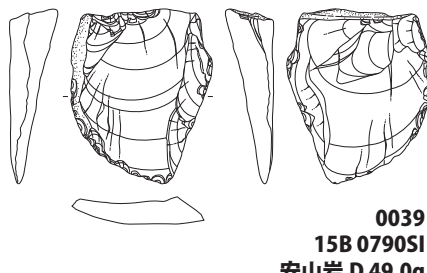


0037
15B 0788SK
砂質凝灰岩 D 41.4g
S=1/3

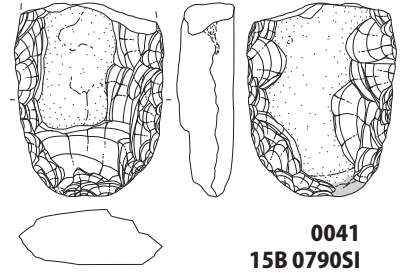
第 249 圖 788SI 他出土石器



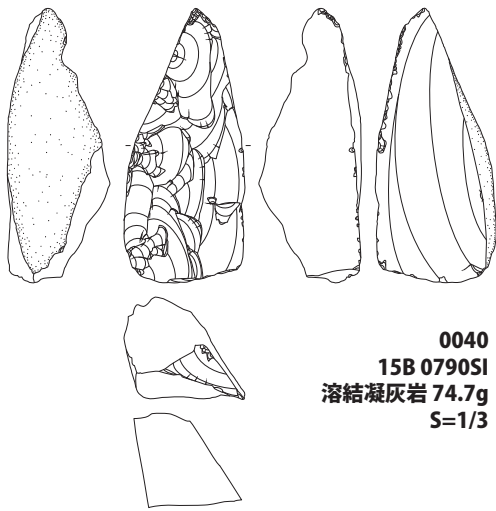
0038
15B 0790SI
安山岩 B 41.2g
S=1/3



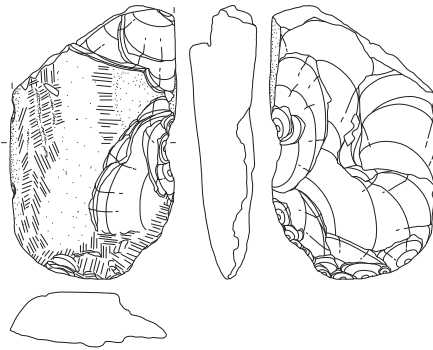
0039
15B 0790SI
安山岩 D 49.0g
S=1/3



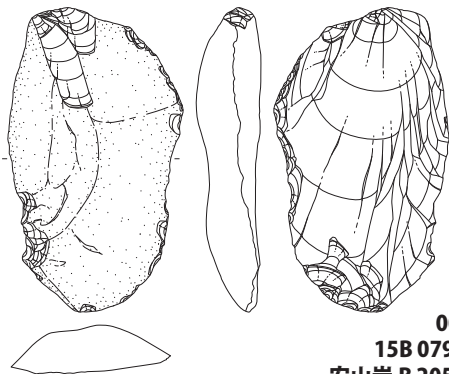
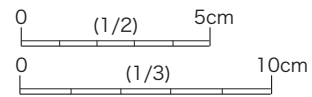
0041
15B 0790SI
片麻岩 141.2g
S=1/3



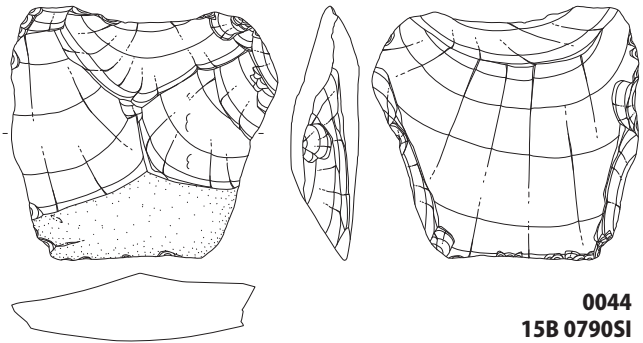
0040
15B 0790SI
溶結凝灰岩 74.7g
S=1/3



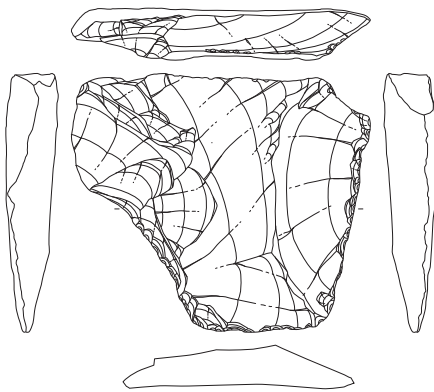
0042
15B 0790SI
安山岩 D 210.2g
S=1/3



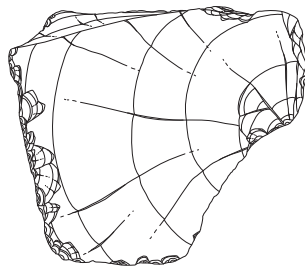
0043
15B 0790SI
安山岩 B 205.2g
S=1/3



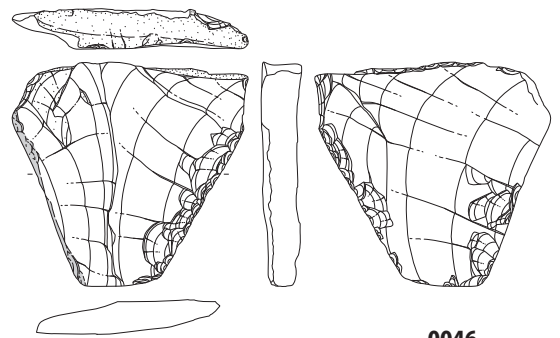
0044
15B 0790SI
安山岩 D 319.6g
S=1/3



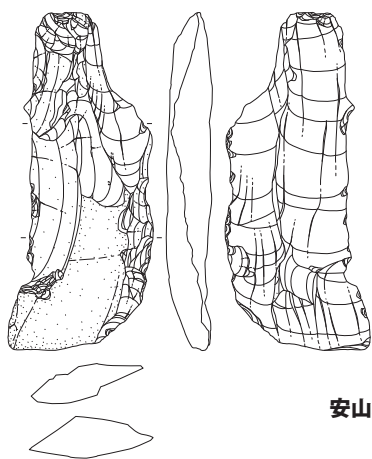
0045
15B 0790SI
安山岩 D 250.2g
S=1/3



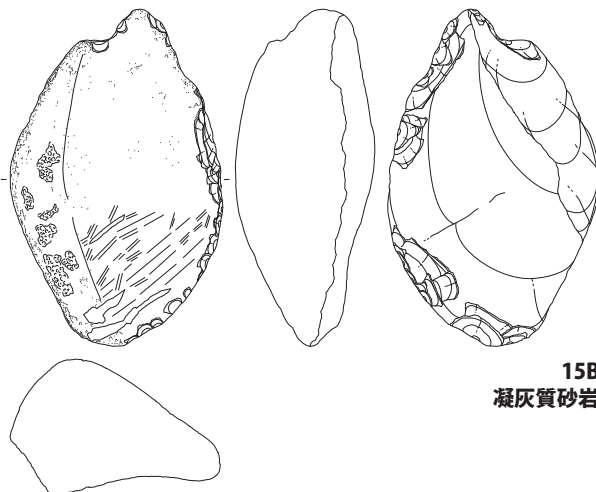
0046
15B 0790SI
安山岩 B 123.5g
S=1/3



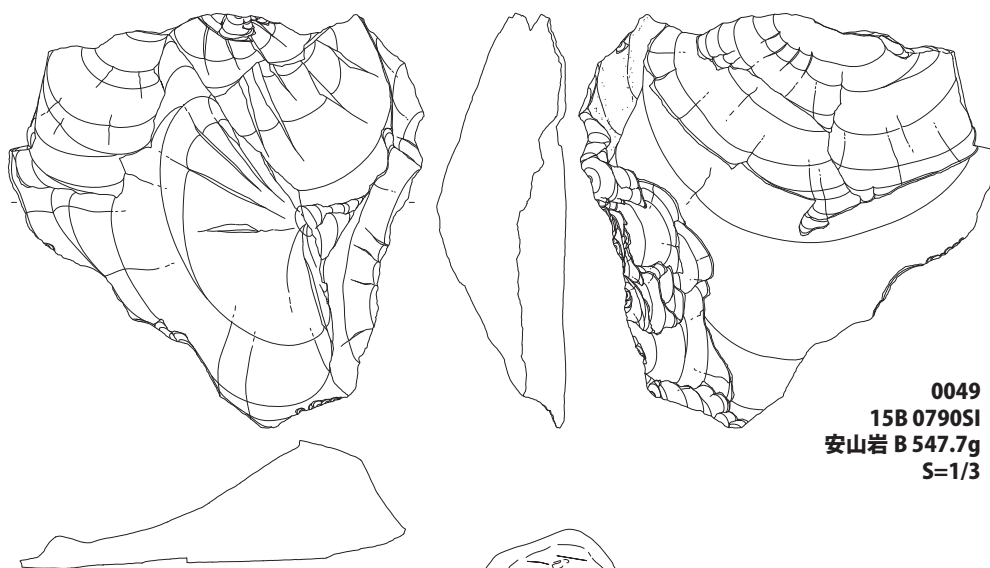
第 250 圖 790SI 出土石器 (1)



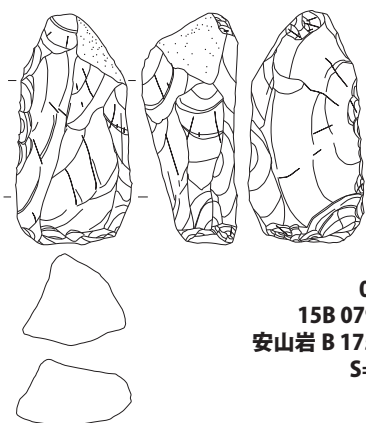
0047
15B 0790SI
安山岩 B 110.5g
S=1/3



0048
15B 0790SI
凝灰質砂岩 437.8g
S=1/3



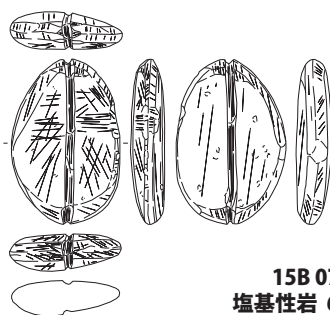
0049
15B 0790SI
安山岩 B 547.7g
S=1/3



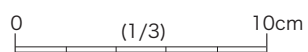
0050
15B 0790SI
安山岩 B 175.9g
S=1/3



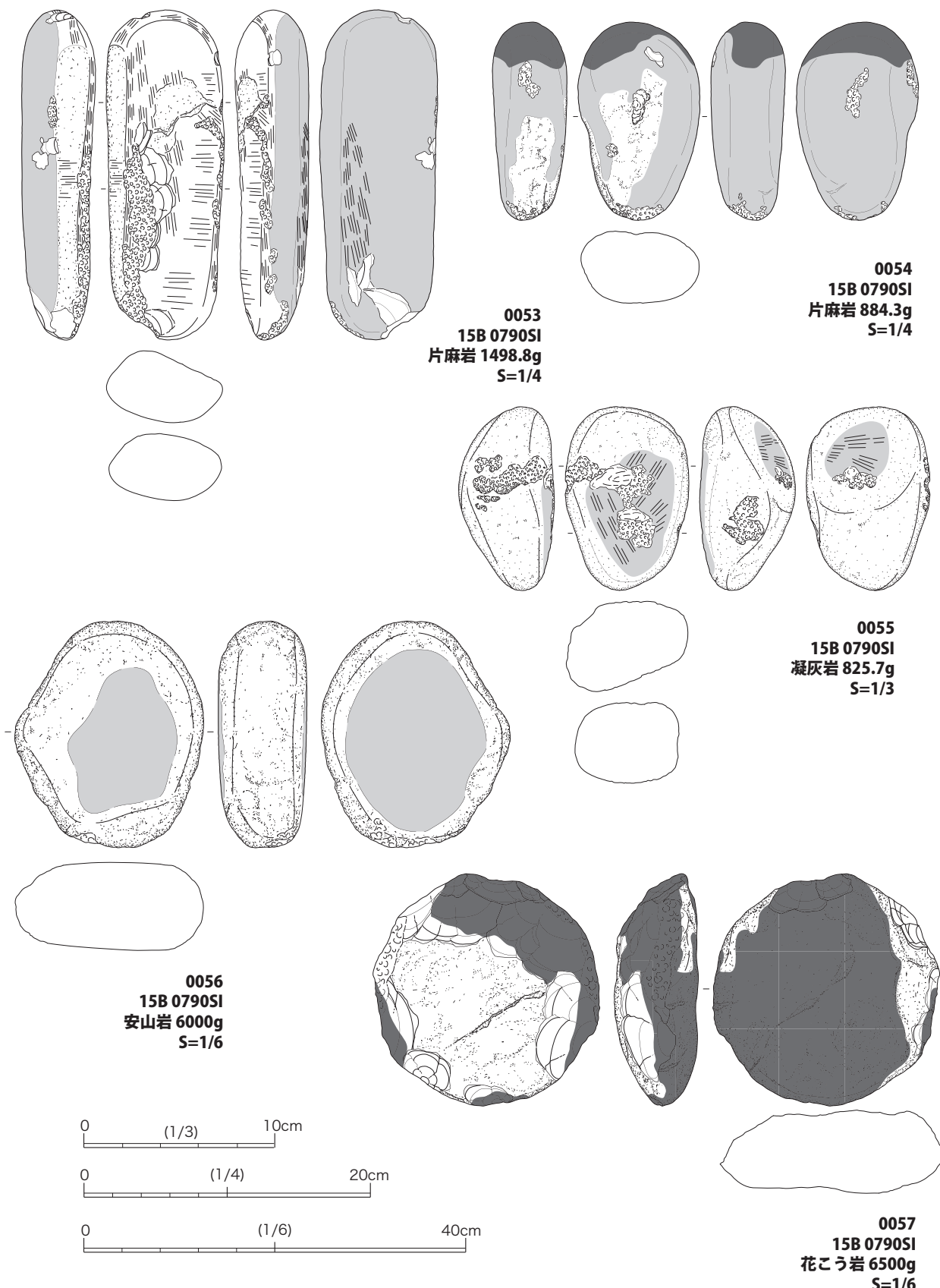
0051
15B 0790SI
凝灰岩 294.4g
S=1/3



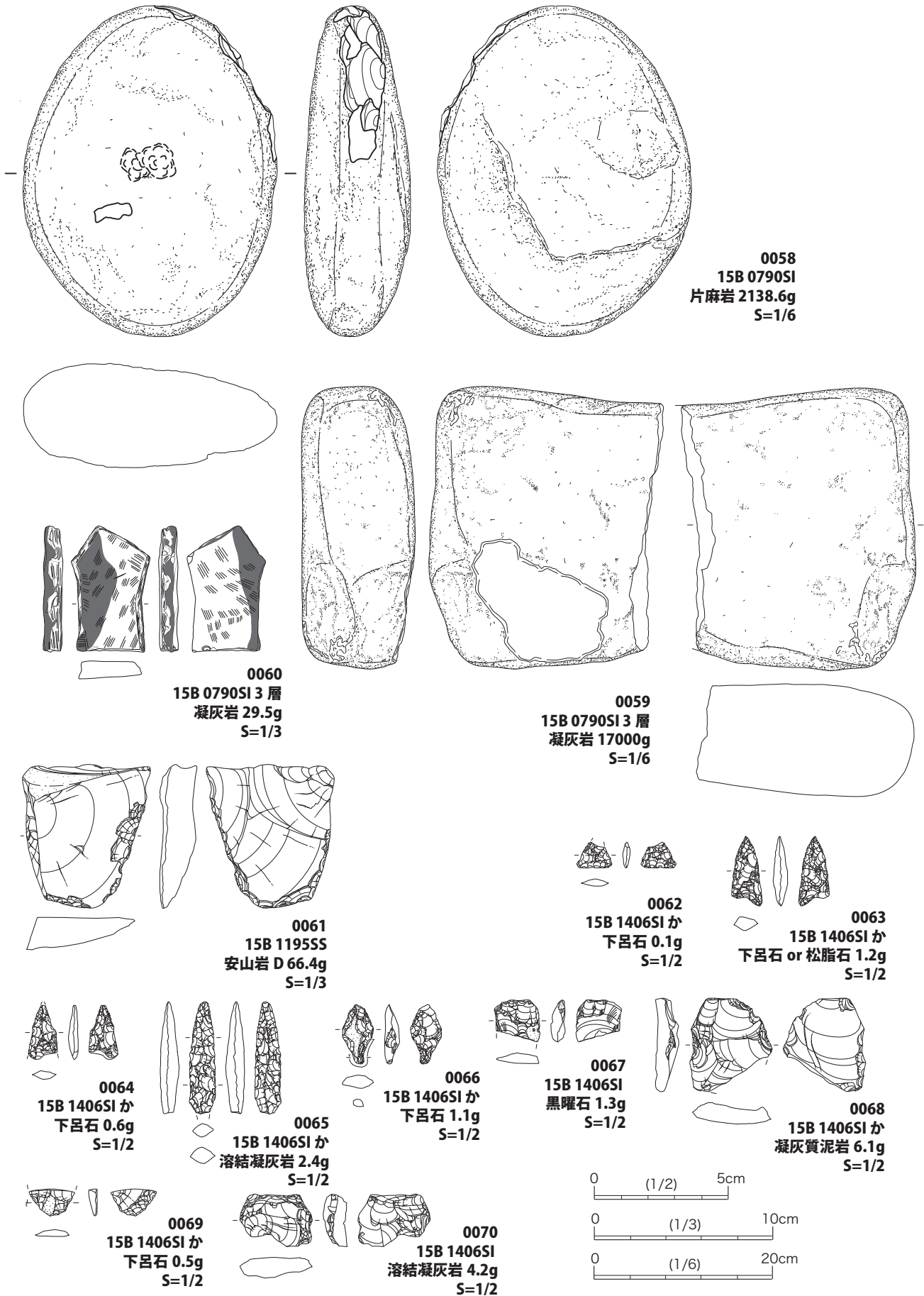
0052
15B 0790SI
塩基性岩 61.0g
S=1/3



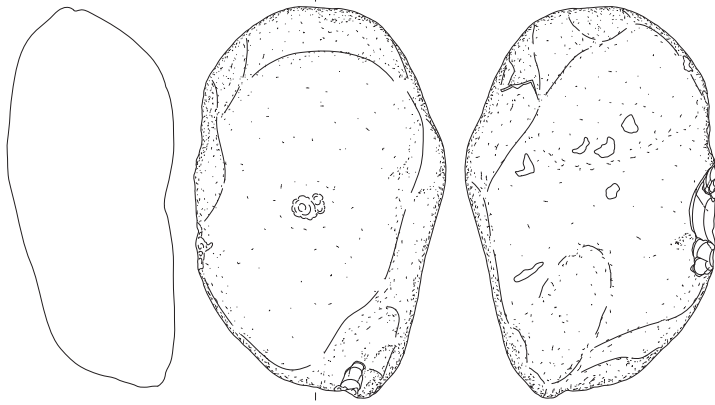
第 251 図 790SI 出土石器 (2)



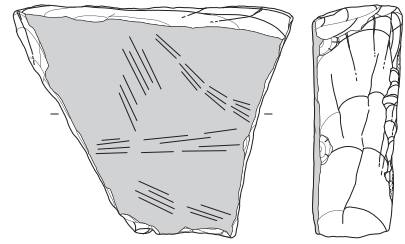
第 252 図 790SI 出土石器 (3)



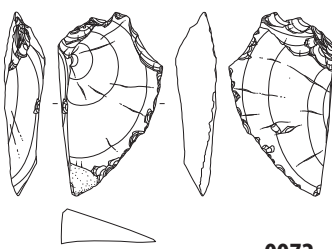
第 253 図 1406SI 他出土石器



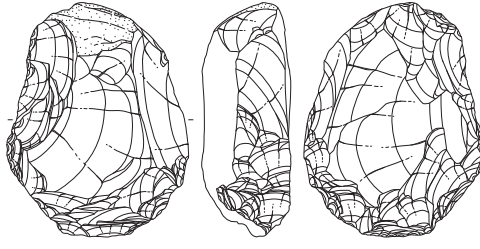
0071
15B 1406SI
凝灰岩 11000g
S=1/6



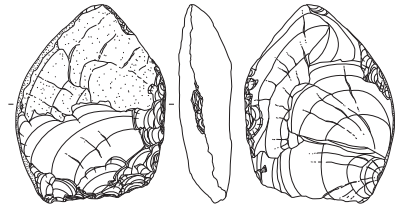
0075
15B 2346SL
花こう岩 3818.1g
S=1/6



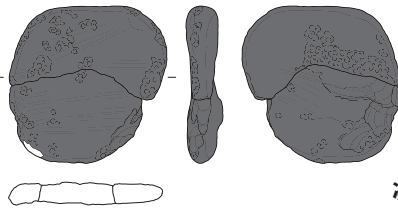
0072
15B 1559SI
安山岩 B 35.2g
S=1/3



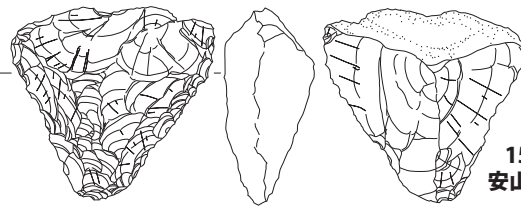
0073
15 Cb 2215SK
安山岩 B 266.1g
S=1/3



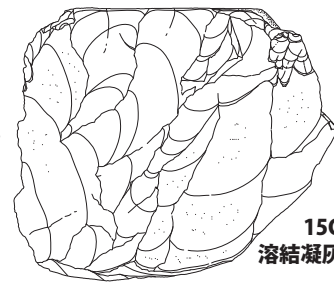
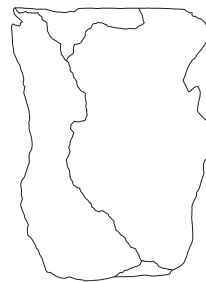
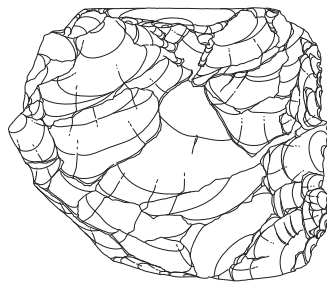
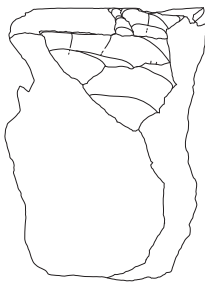
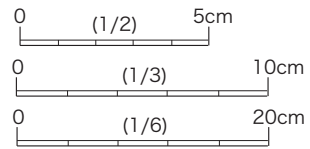
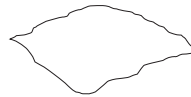
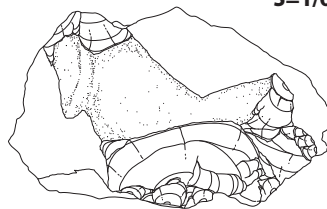
0074
15B 2216SK
安山岩 B 114.9g
S=1/3



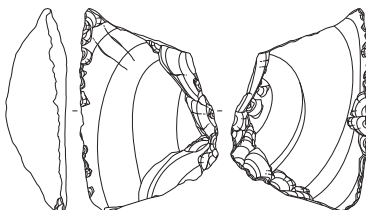
0076
15Cb 3947SI
凝灰質砂岩 390.0g
S=1/6



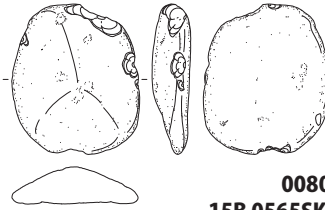
0077
15Cb 3302SK
安山岩 B 161.2g
S=1/3



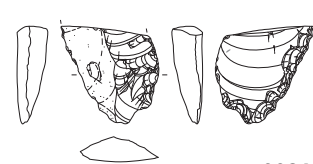
0078
15Cb 3671SK
溶結凝灰岩 329.9g
S=1/2



0079
15Cb 3671SK
安山岩 B 89.2g
S=1/3

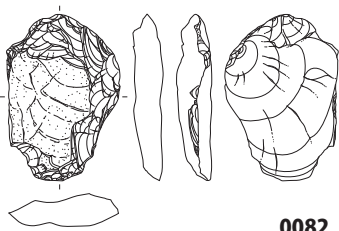


0080
15B 0565SK
砂質凝灰岩 45.9g
S=1/3

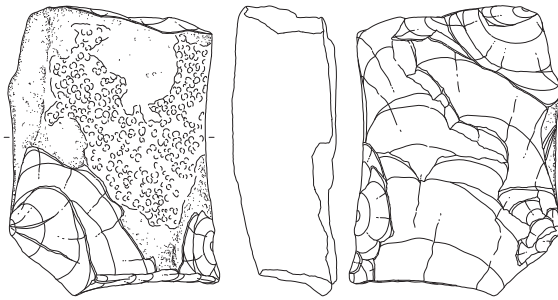


0081
15Cb 4291SK
溶結凝灰岩 13.6g
S=1/3

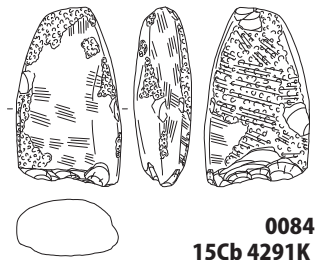
第 254 図 3671SK 他出土石器



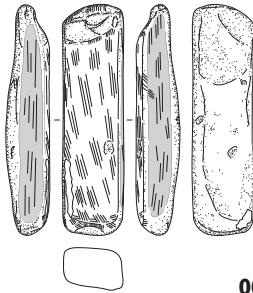
0082
15Cb 4291SK
安山岩 B 40.1g
S=1/3



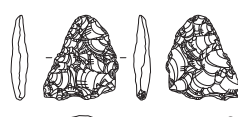
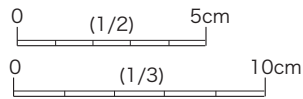
0083
15Cb 4255K
安山岩 D 528.7g
S=1/3



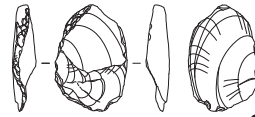
0084
15Cb 4291K
塩基性岩 105.1g
S=1/3



0085
15Cb 4255K
凝灰質泥岩 63.1g
S=1/3



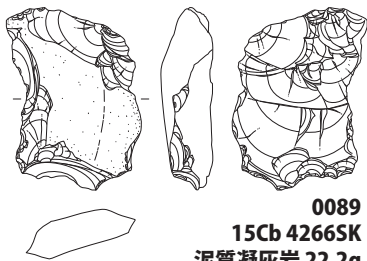
0086
15B 813SK 1層
黒曜石 1.5g
S=1/2



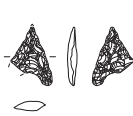
0087
15B 813SK 3層
黒曜石 2.7g
S=1/2



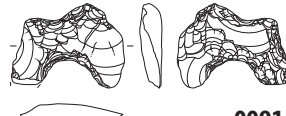
0088
15B 2258SK
黒曜石 0.1g
S=1/2



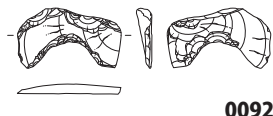
0089
15Cb 4266SK
泥質凝灰岩 22.2g
S=1/2



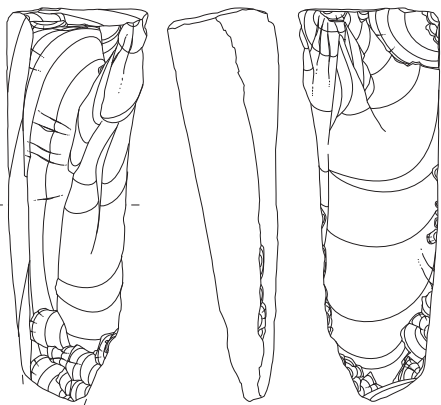
0090
15Cb 3823SK
黒曜石 0.3g
S=1/2



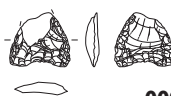
0091
15Cb 3823SK
泥質凝灰岩 3.1g
S=1/2



0092
15Cb 3823SK
泥質凝灰岩 1.2g
S=1/2



0093
15Cb 3823SK
安山岩 B 107.6g
S=1/2



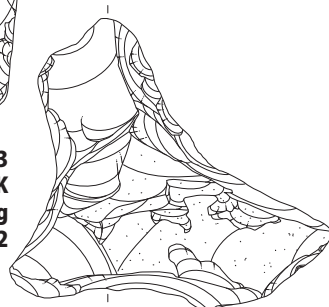
0094
15Cb 3633SK
下呂石 0.7g
S=1/2



0095
15Cb 3633SK
メノウ? 0.1g
S=1/2

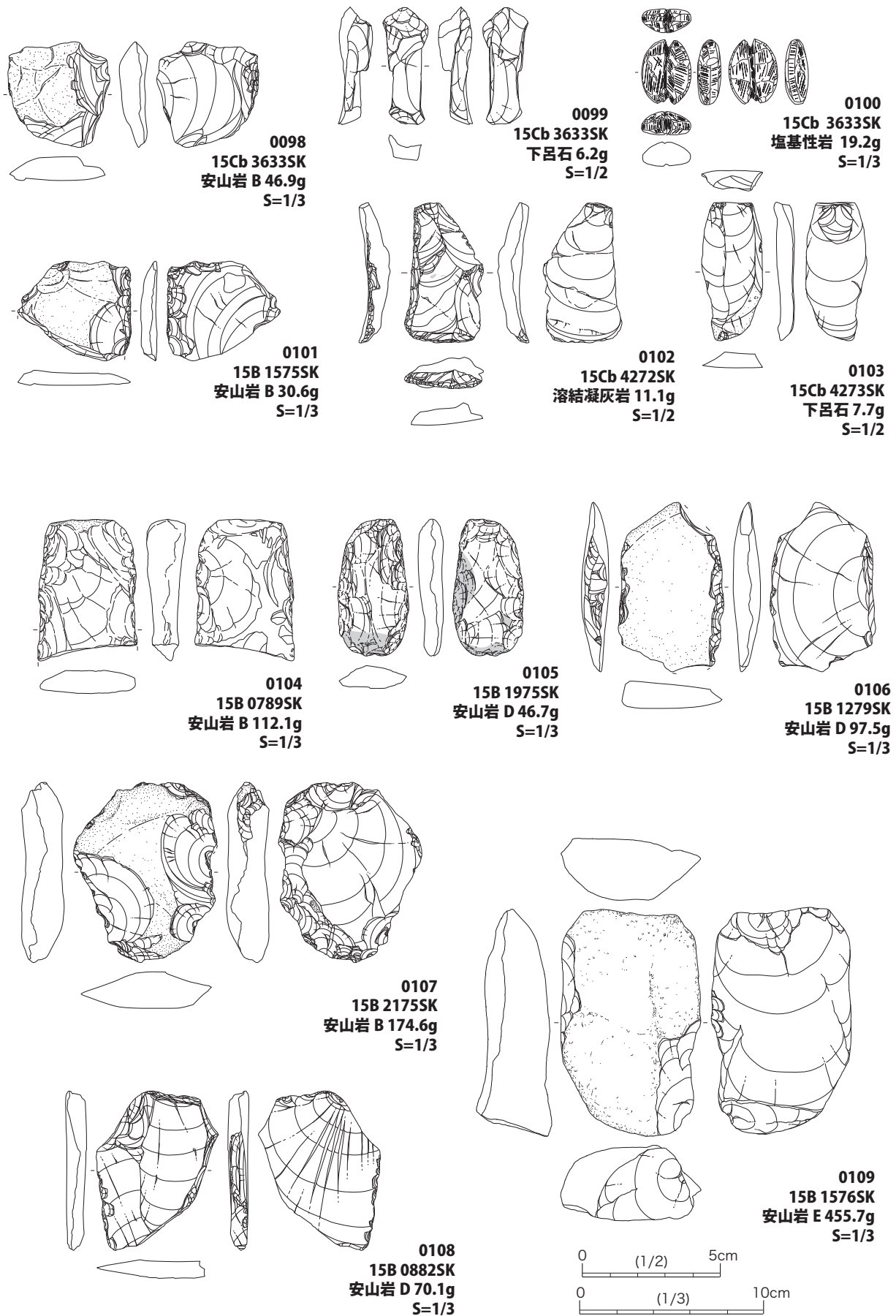


0096
15Cb 3633SK
下呂石 1.0g
S=1/2

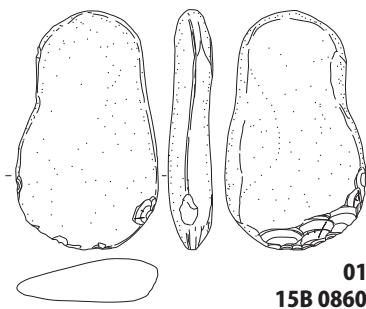


0097
15Cb 3633SK
安山岩 B 84.4g
S=1/2

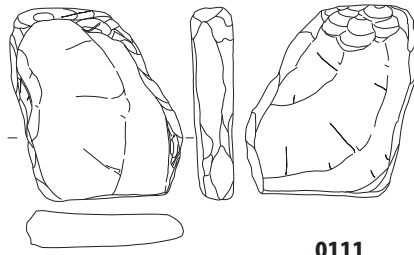
第 255 図 4255SK 他出土石器



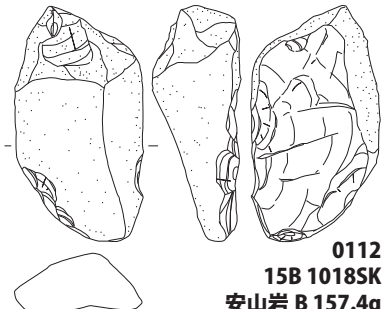
第 256 图 3633SK 他出土石器



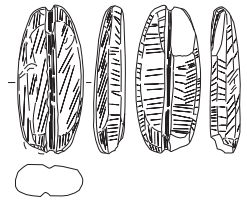
0110
15B 0860SK
泥質凝灰岩 93.5g
S=1/3



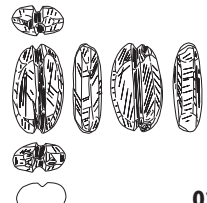
0111
15B 0861SK
安山岩 B 144.2g
S=1/3



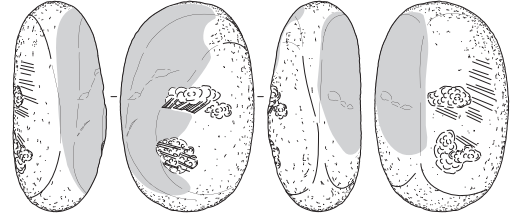
0112
15B 1018SK
安山岩 B 157.4g
S=1/2



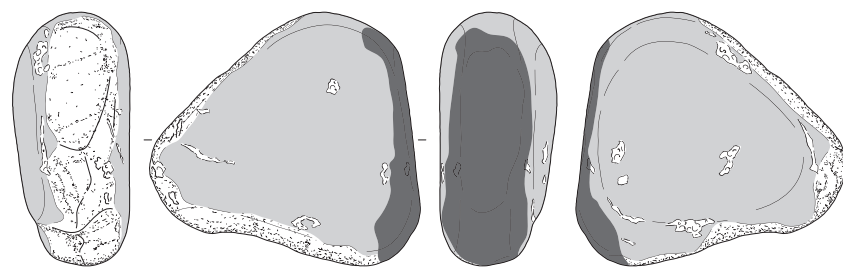
0113
15B 0855SK
黒色片岩 ? 32.3g
S=1/3



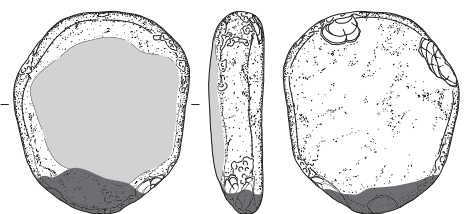
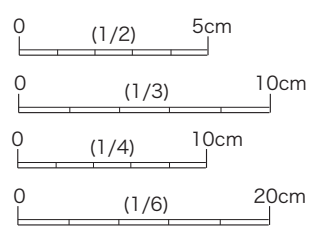
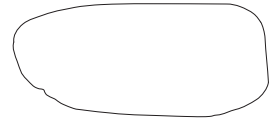
0114
15B 0857SK
塩基性片岩 13.9g
S=1/3



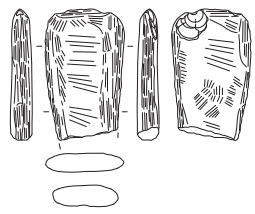
0115
15B 0722SK
片麻岩 439.3g
S=1/4



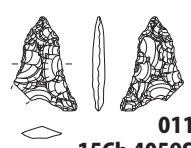
0116
1236SK
片麻岩 6000g
S=1/6



0117
15B 0927SK
花こう岩 927g
S=1/6



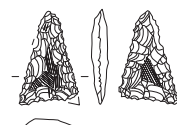
0118
15Cb 4273SK
凝灰質砂岩 18.3g
S=1/3



0119
15Cb 4059SK
下呂石 0.9g
S=1/2



0120
15B 1022SK
1層 (炉内)
黒曜石 0.1g
S=1/2

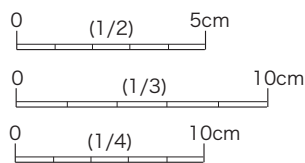
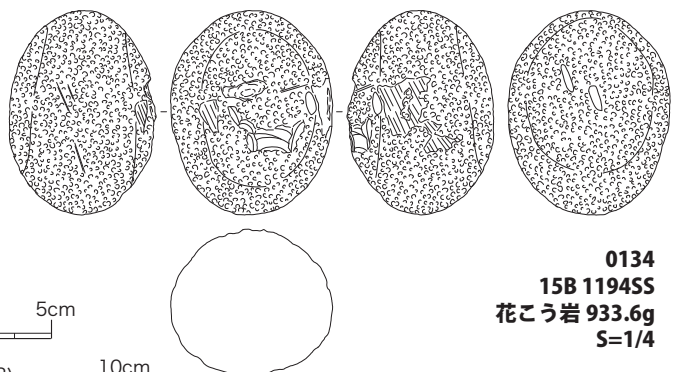
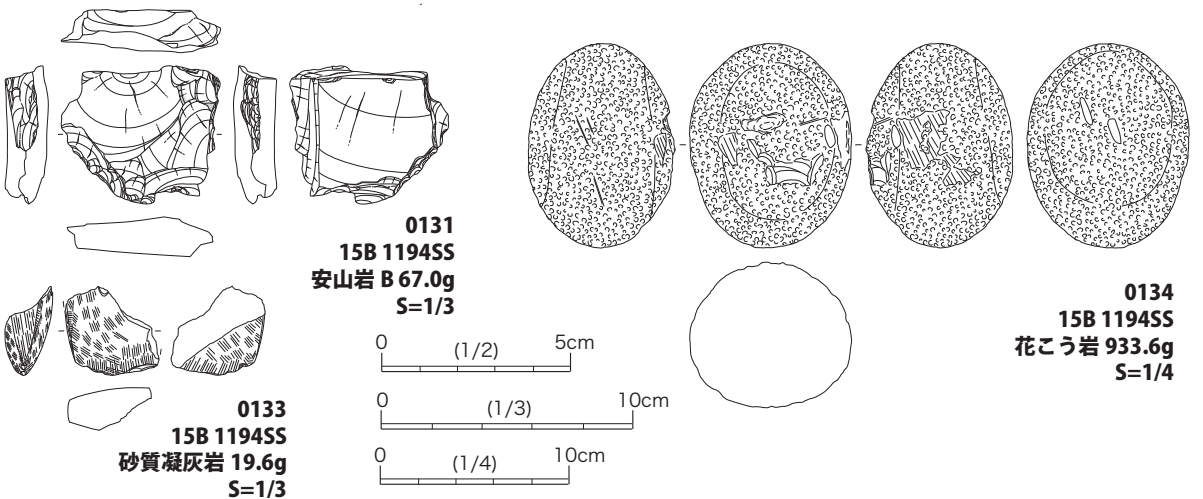
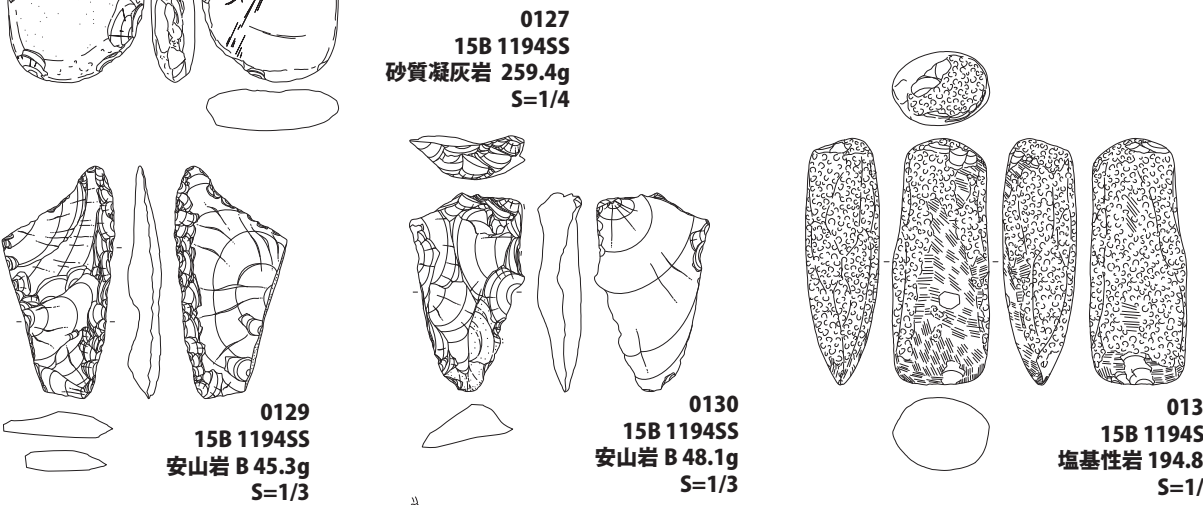
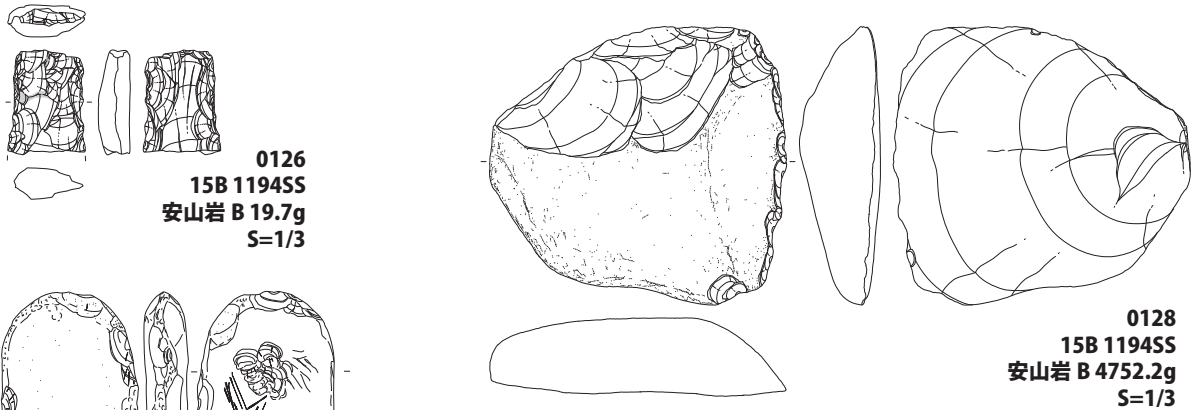
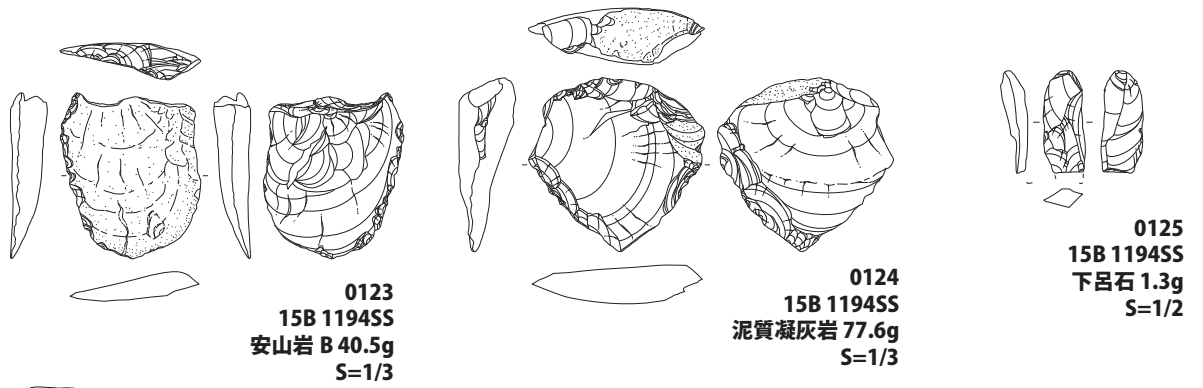


0121
15Cb 4059SK
下呂石 1.3g
S=1/2

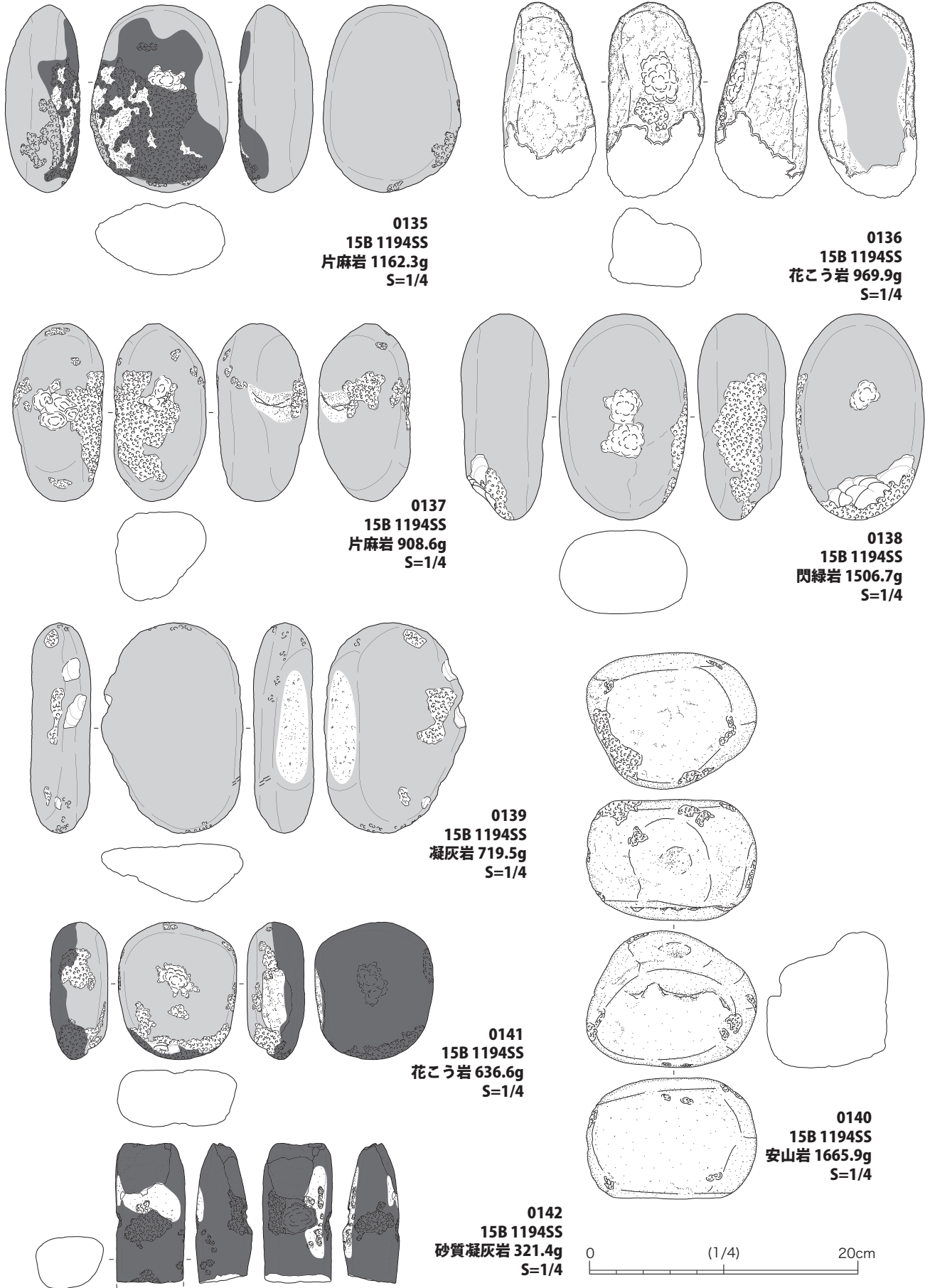


0122
15B 1194SS
黒曜石 3.5g
S=1/2

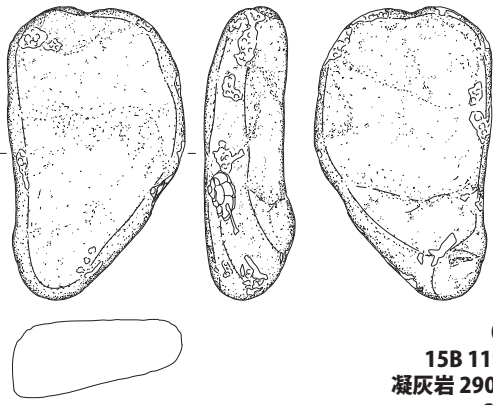
第 257 図 4059SK 他出土石器



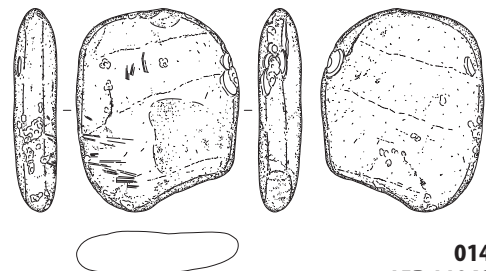
第 258 図 1194SS 出土石器 (1)



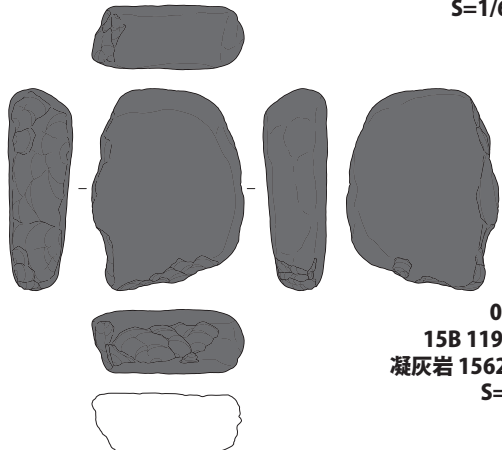
第 259 図 1194SS 出土石器 (2)



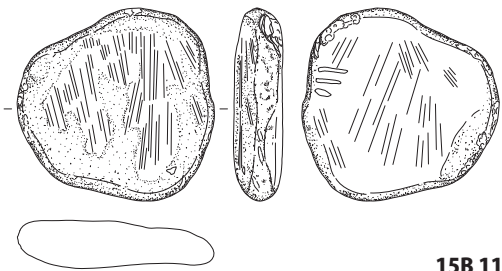
0143
15B 1194SS
凝灰岩 2904.8g
S=1/6



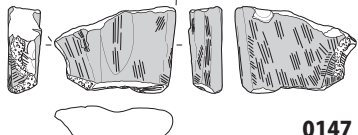
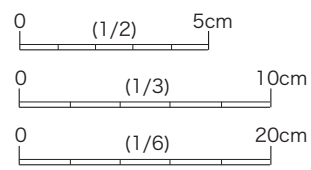
0144
15B 1194SS
凝灰質砂岩 1117.0g
S=1/6



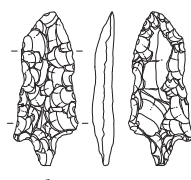
0145
15B 1194SS
凝灰岩 1562.1g
S=1/6



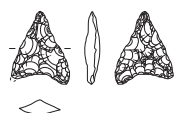
0146
15B 1194SS
片麻岩 1421.0g
S=1/6



0147
15B 1194SS
凝灰質砂岩 25.6g
S=1/3



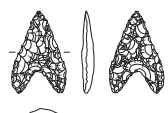
0149
15A 0059SX
安山岩 B 3.5g
S=1/2



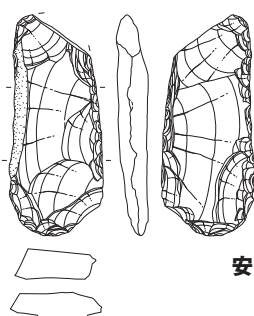
0150
15A 0059SX
下呂石 0.7g
S=1/2



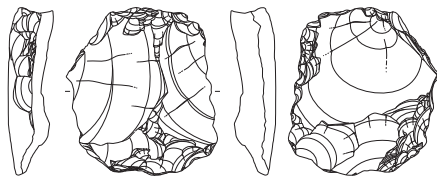
0151
15A 0059SX
下呂石 0.6g
S=1/2



0152
15A 0059SX
サヌカイト 0.7g
S=1/2



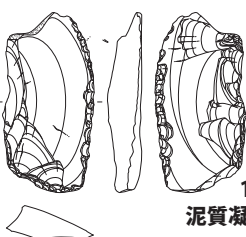
0148
15B 1557SK
安山岩 B 51.3g
S=1/3



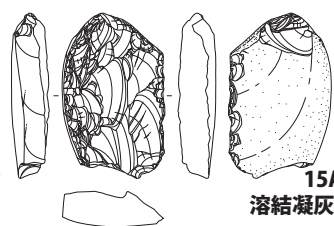
0153
15A 0059SX
安山岩 E 66.8g
S=1/3



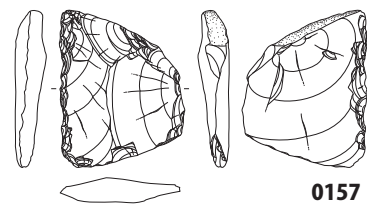
0154
15A 0059SX
泥質凝灰岩 19.9g
S=1/3



0155
15A 0059SX
泥質凝灰岩 32.0g
S=1/3

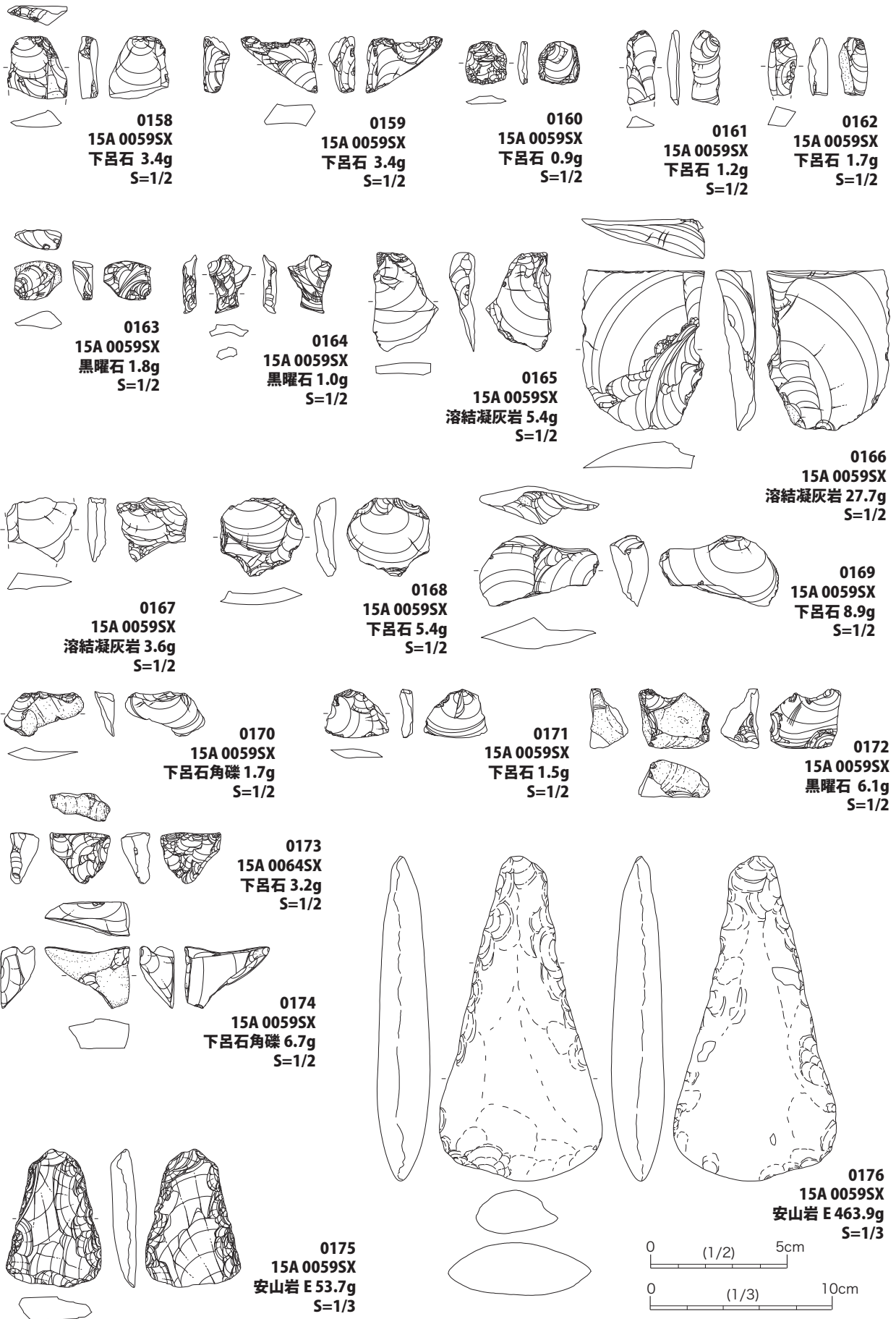


0156
15A 0059SX
溶結凝灰岩 49.4g
S=1/3

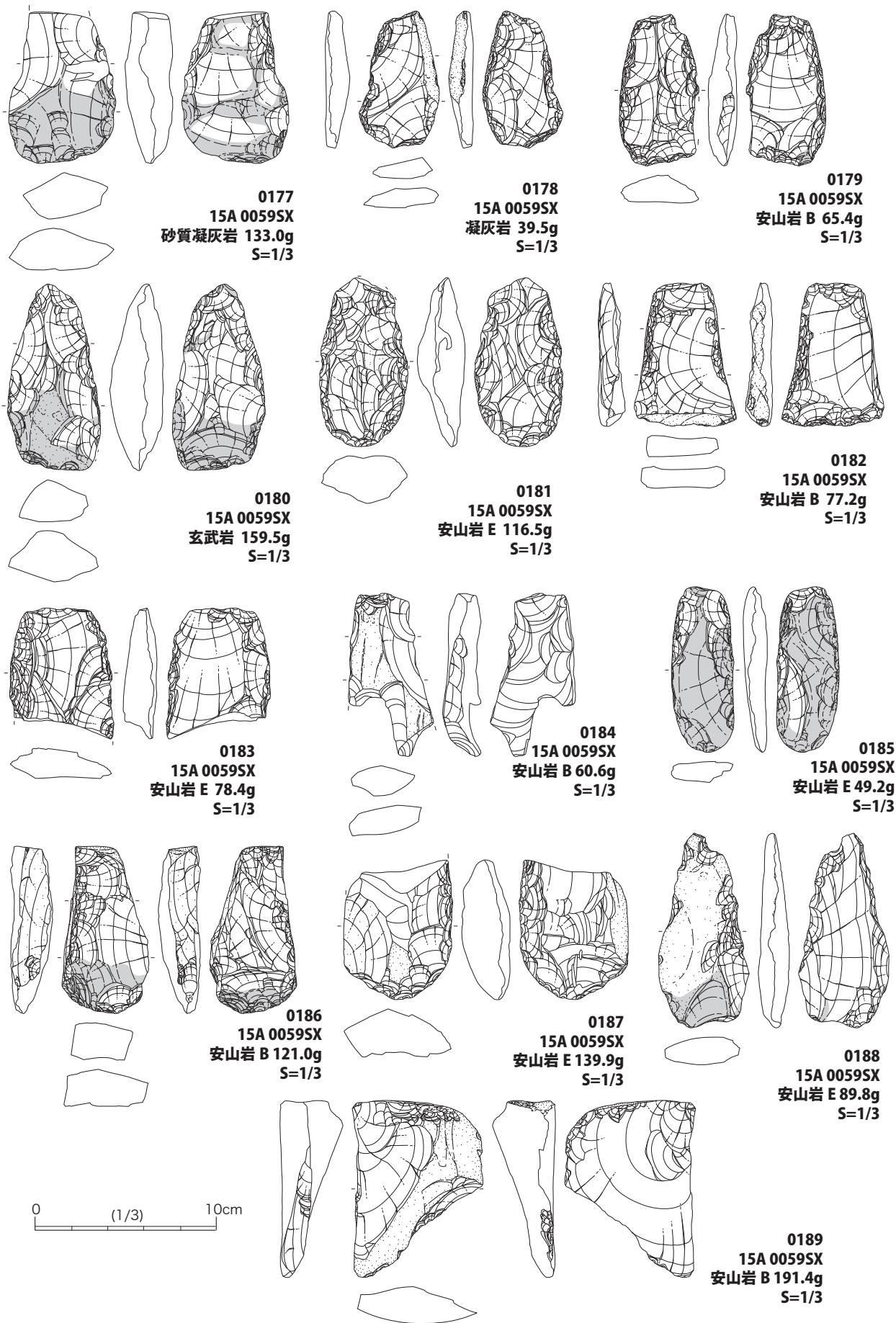


0157
15A 0059SX
泥質凝灰岩 38.4g
S=1/3

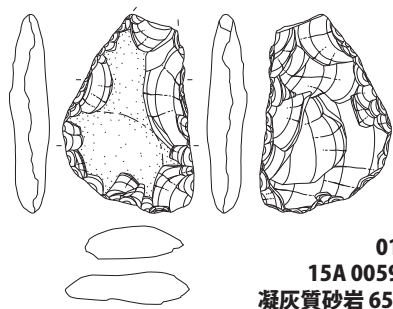
第 260 図 1194SS 出土石器 (3)



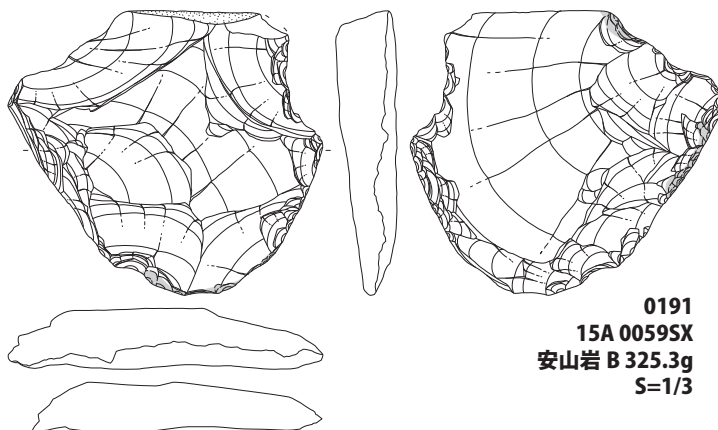
第 261 圖 059SX 出土石器 (1)



第 262 圖 059SX 出土石器 (2)

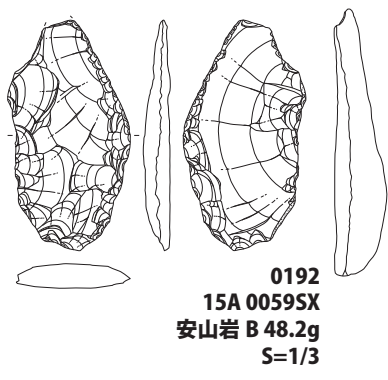


0190
15A 0059SX
凝灰質砂岩 65.3g
S=1/3

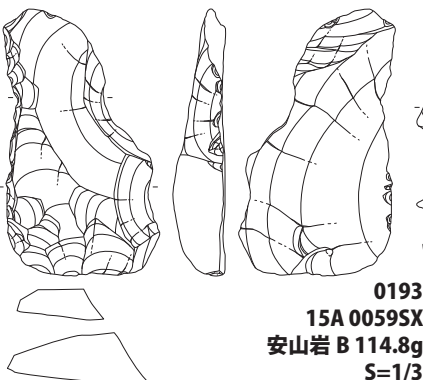


0191
15A 0059SX
安山岩 B 325.3g
S=1/3

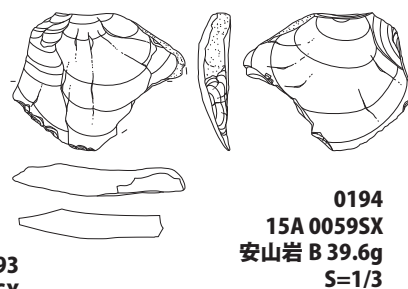
0 10cm (1/3)



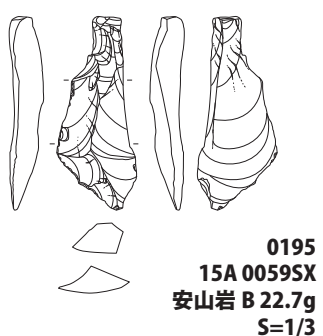
0192
15A 0059SX
安山岩 B 48.2g
S=1/3



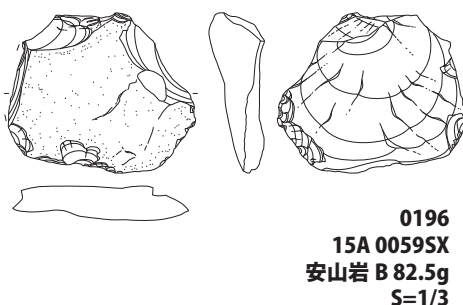
0193
15A 0059SX
安山岩 B 114.8g
S=1/3



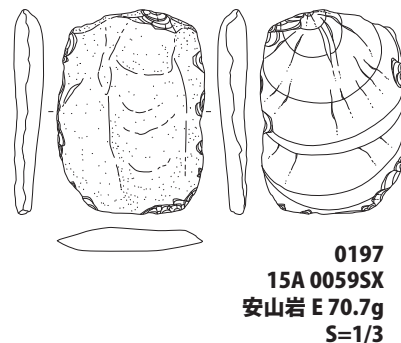
0194
15A 0059SX
安山岩 B 39.6g
S=1/3



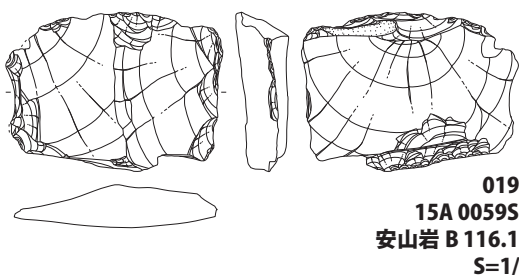
0195
15A 0059SX
安山岩 B 22.7g
S=1/3



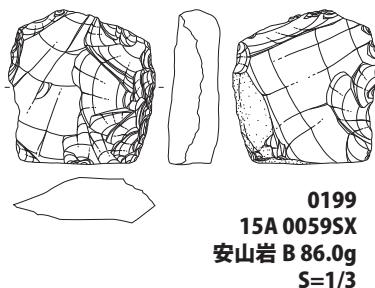
0196
15A 0059SX
安山岩 B 82.5g
S=1/3



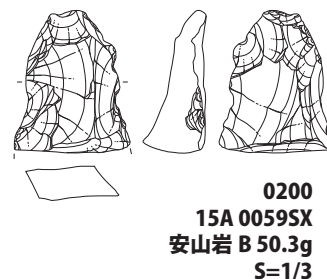
0197
15A 0059SX
安山岩 E 70.7g
S=1/3



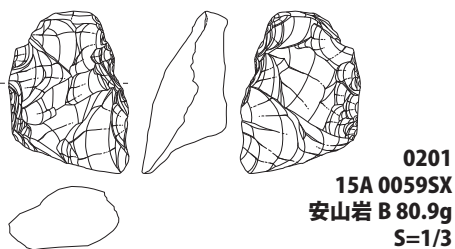
0198
15A 0059SX
安山岩 B 116.1g
S=1/3



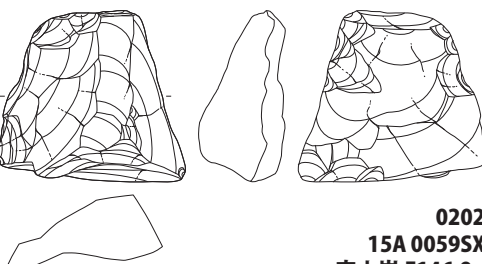
0199
15A 0059SX
安山岩 B 86.0g
S=1/3



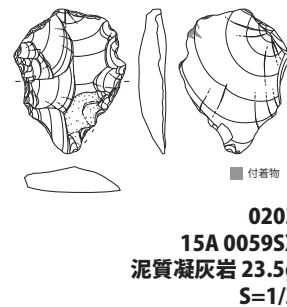
0200
15A 0059SX
安山岩 B 50.3g
S=1/3



0201
15A 0059SX
安山岩 B 80.9g
S=1/3



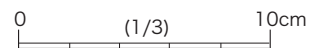
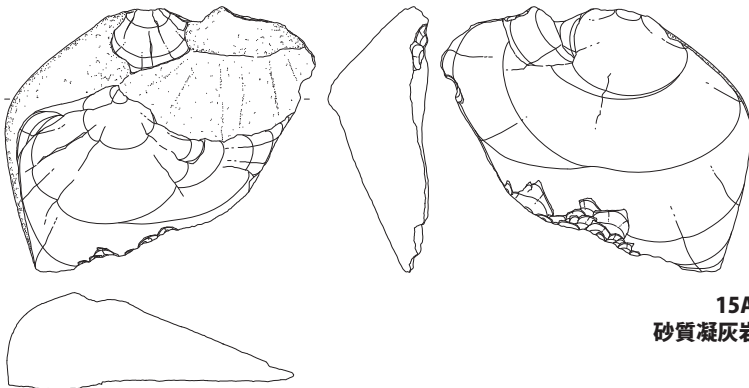
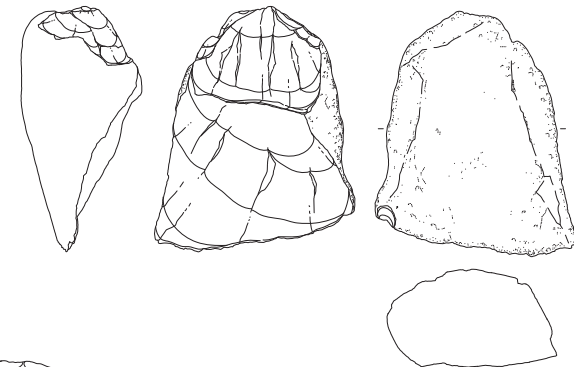
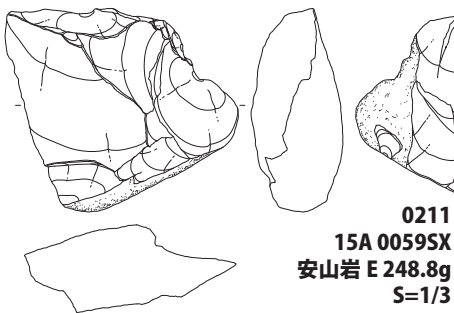
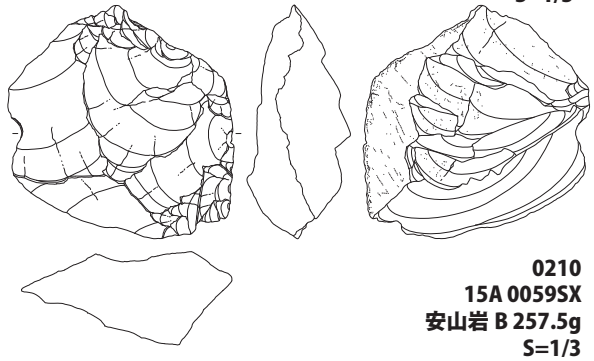
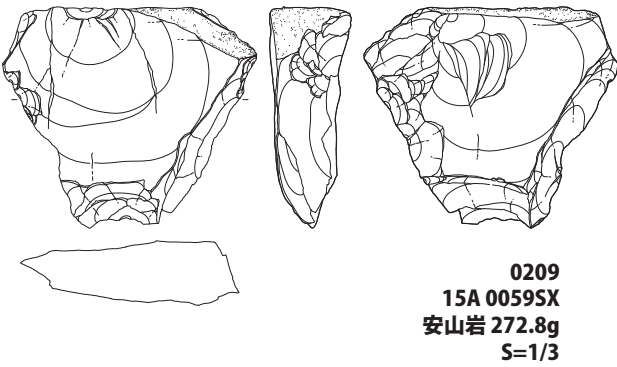
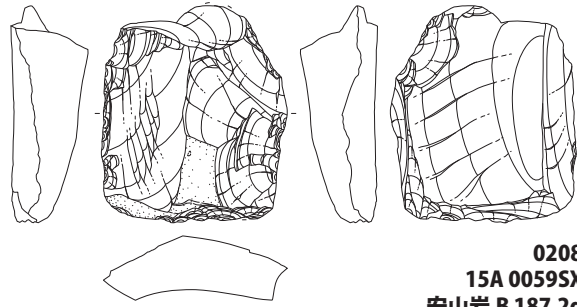
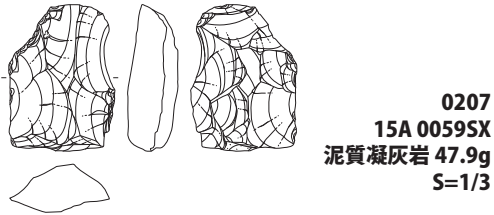
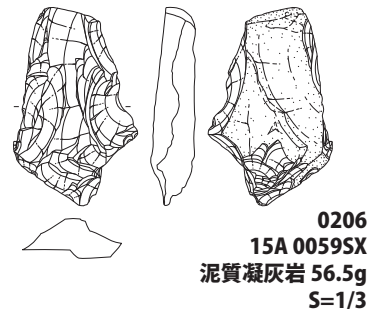
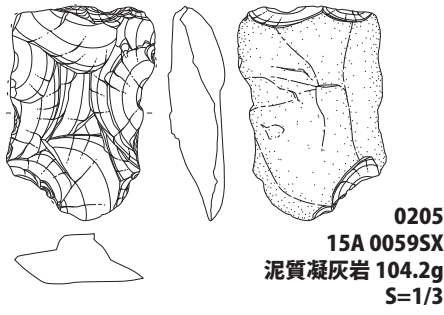
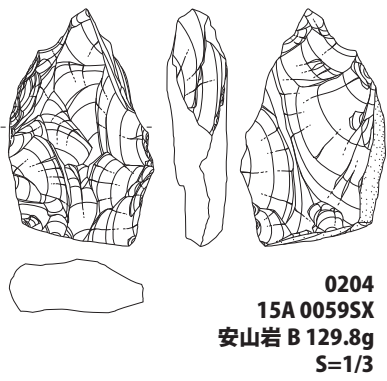
0202
15A 0059SX
安山岩 E146.9g
S=1/3



0203
15A 0059SX
泥質凝灰岩 23.5g
S=1/3

■ 付着物

第 263 圖 059SX 出土石器 (3)



第 264 圖 059SX 出土石器 (4)

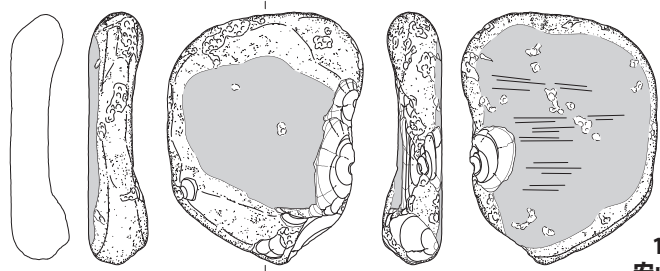


0214
15A 0059SX
安山岩 A 1216.5g
S=1/3

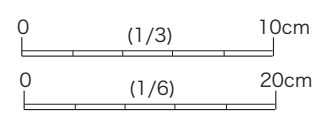
0216
15A 0059SX
玄武岩 190.2g
S=1/3



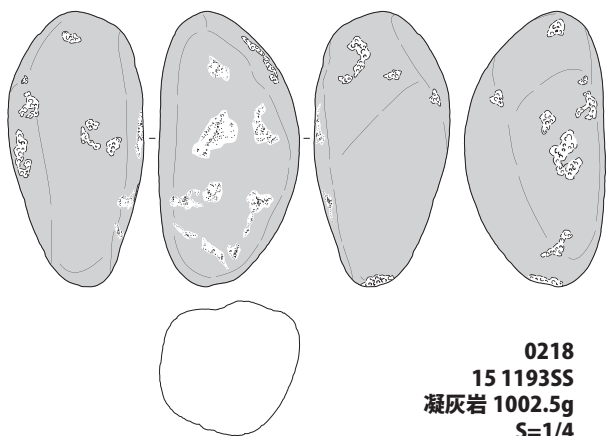
0215
15A 0059SX
安山岩 E 1257.9g
S=1/3



0217
15A 0059SX
安山岩 858.2g
S=1/6



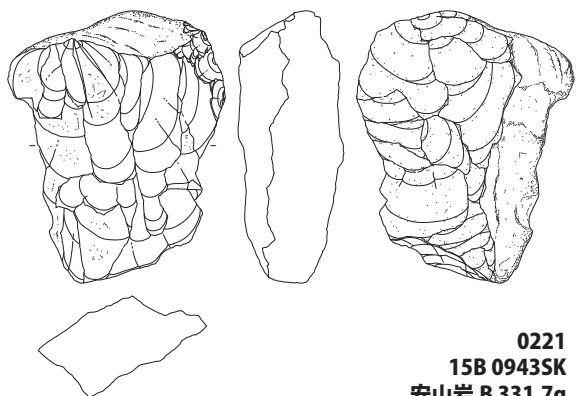
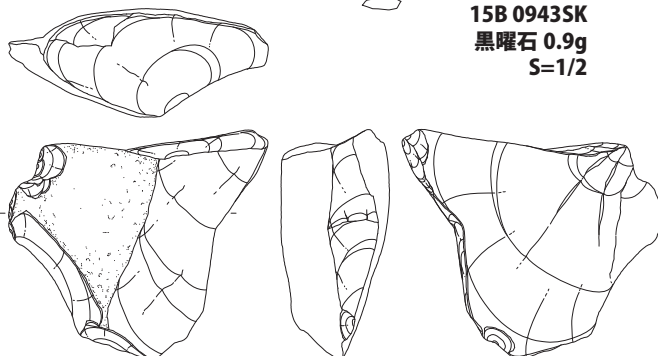
第 265 图 059SX 出土石器 (5)



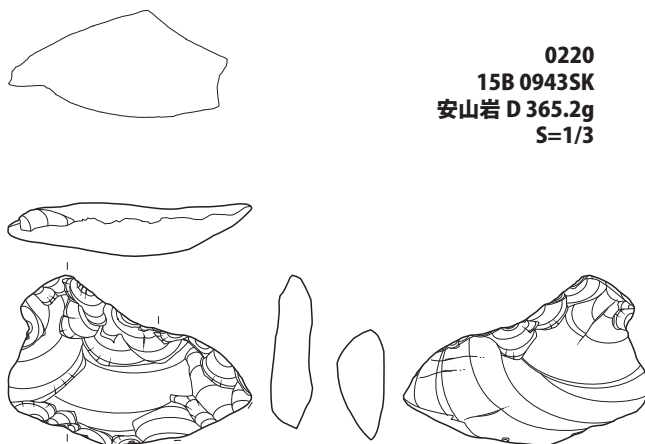
0218
15 1193SS
凝灰岩 1002.5g
S=1/4



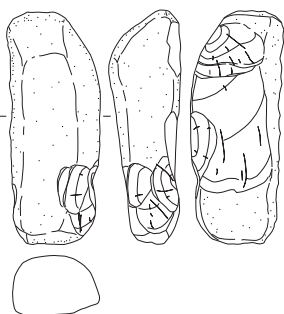
0219
15B 0943SK
黑曜石 0.9g
S=1/2



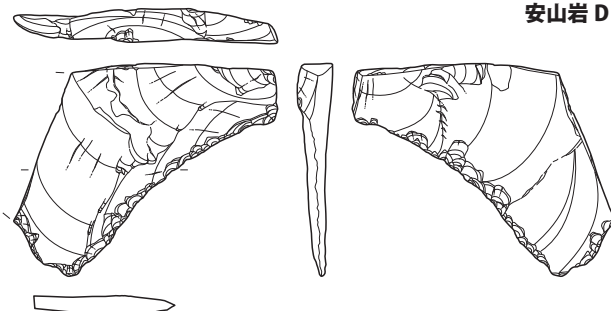
0221
15B 0943SK
安山岩 B 331.7g
S=1/3



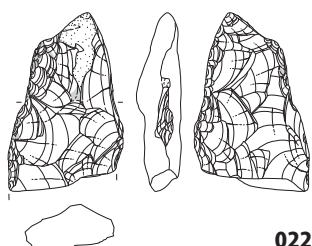
0220
15B 0943SK
安山岩 D 365.2g
S=1/3



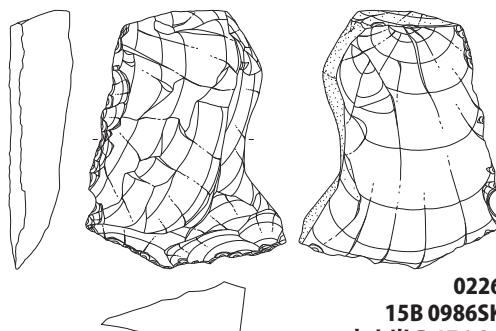
0223
15B 0787SK
安山岩 137.2g
S=1/3



0222
15B 0787SK
安山岩 D 32.8g
S=1/2

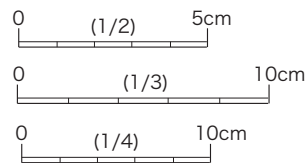


0225
15B 0986SK
安山岩 B 53.2g
S=1/3

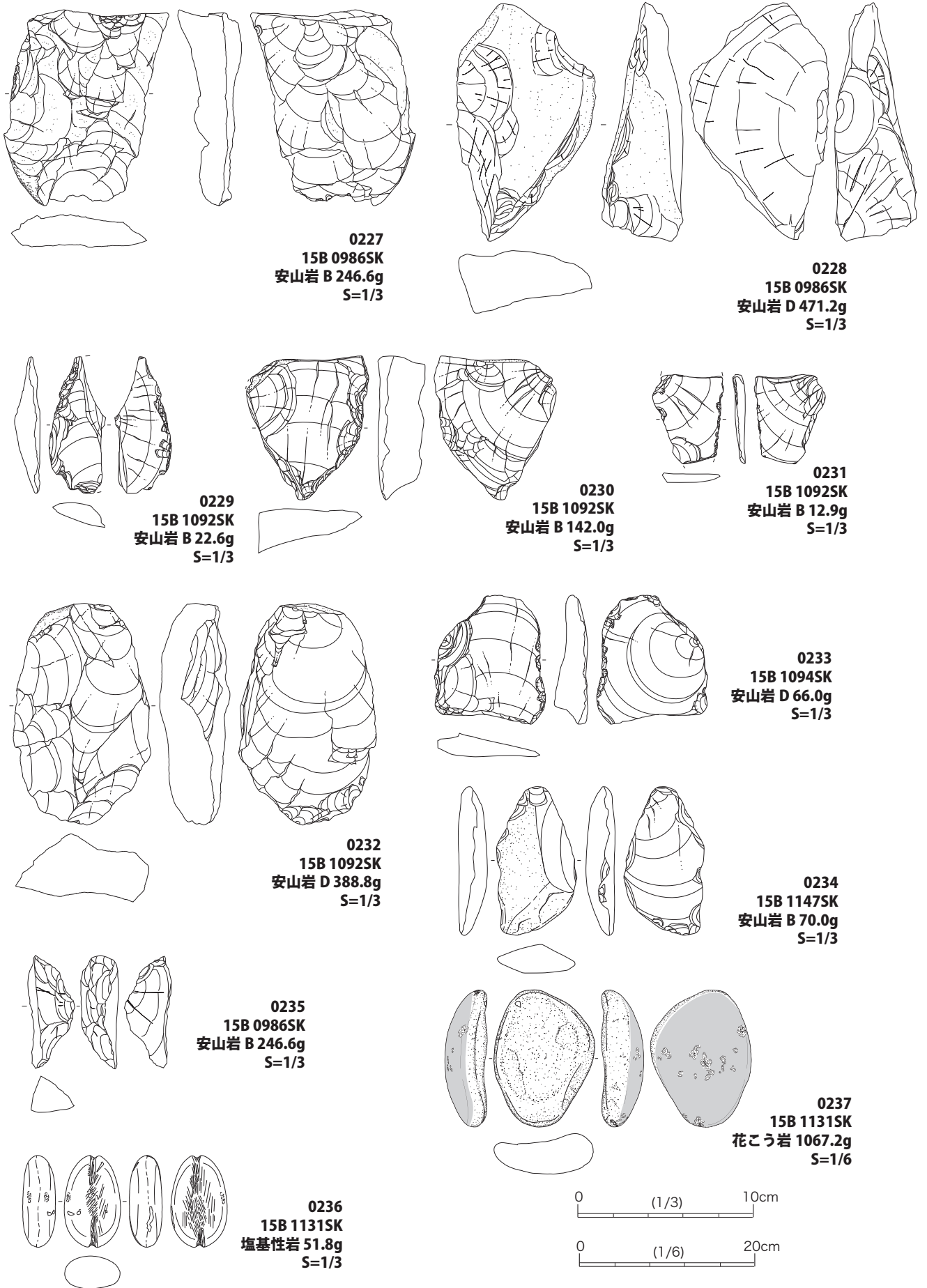


0226
15B 0986SK
安山岩 B 176.8g
S=1/3

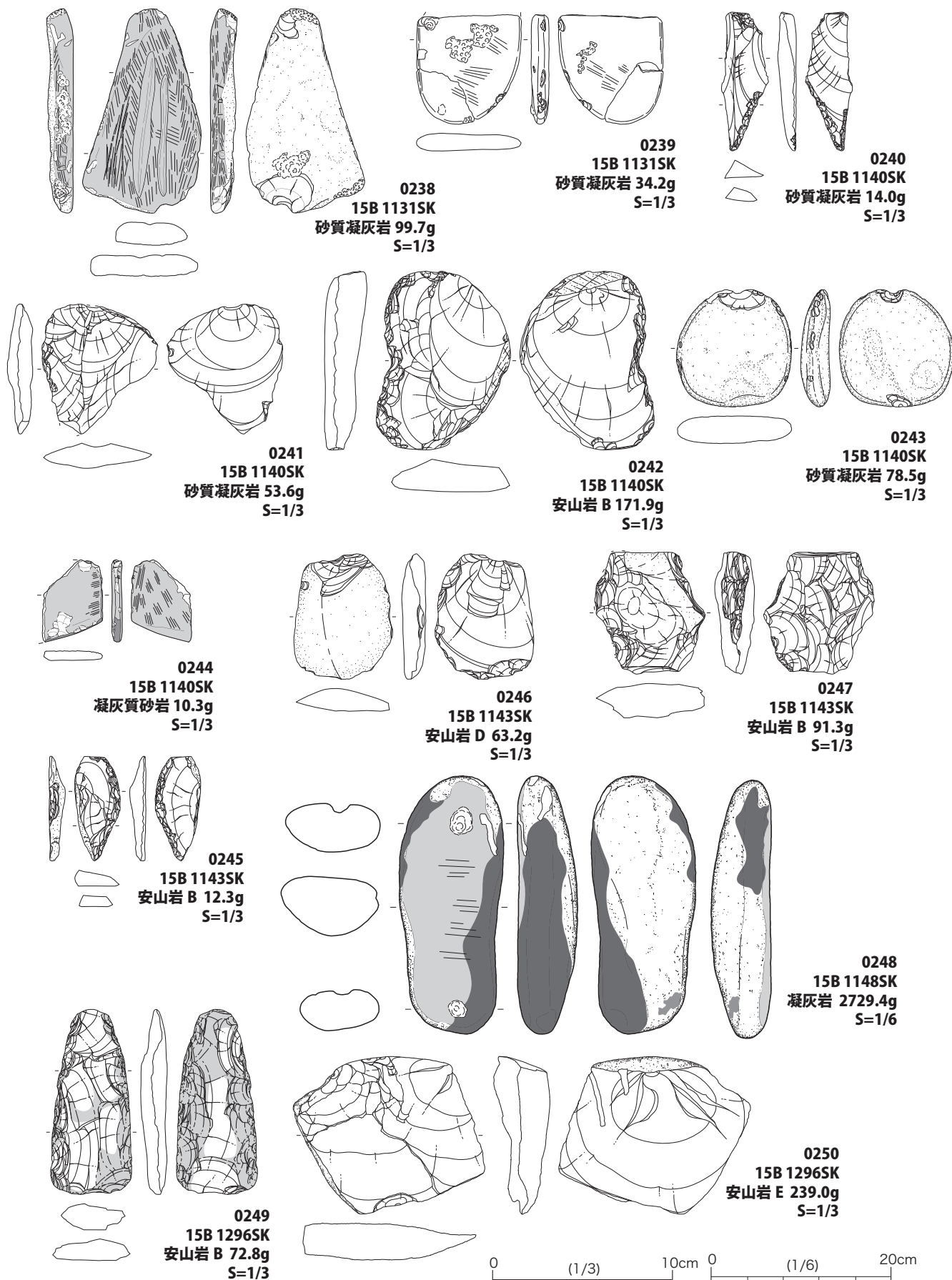
0224
15B 0986SK
溶結凝灰岩 22.7g
S=1/2



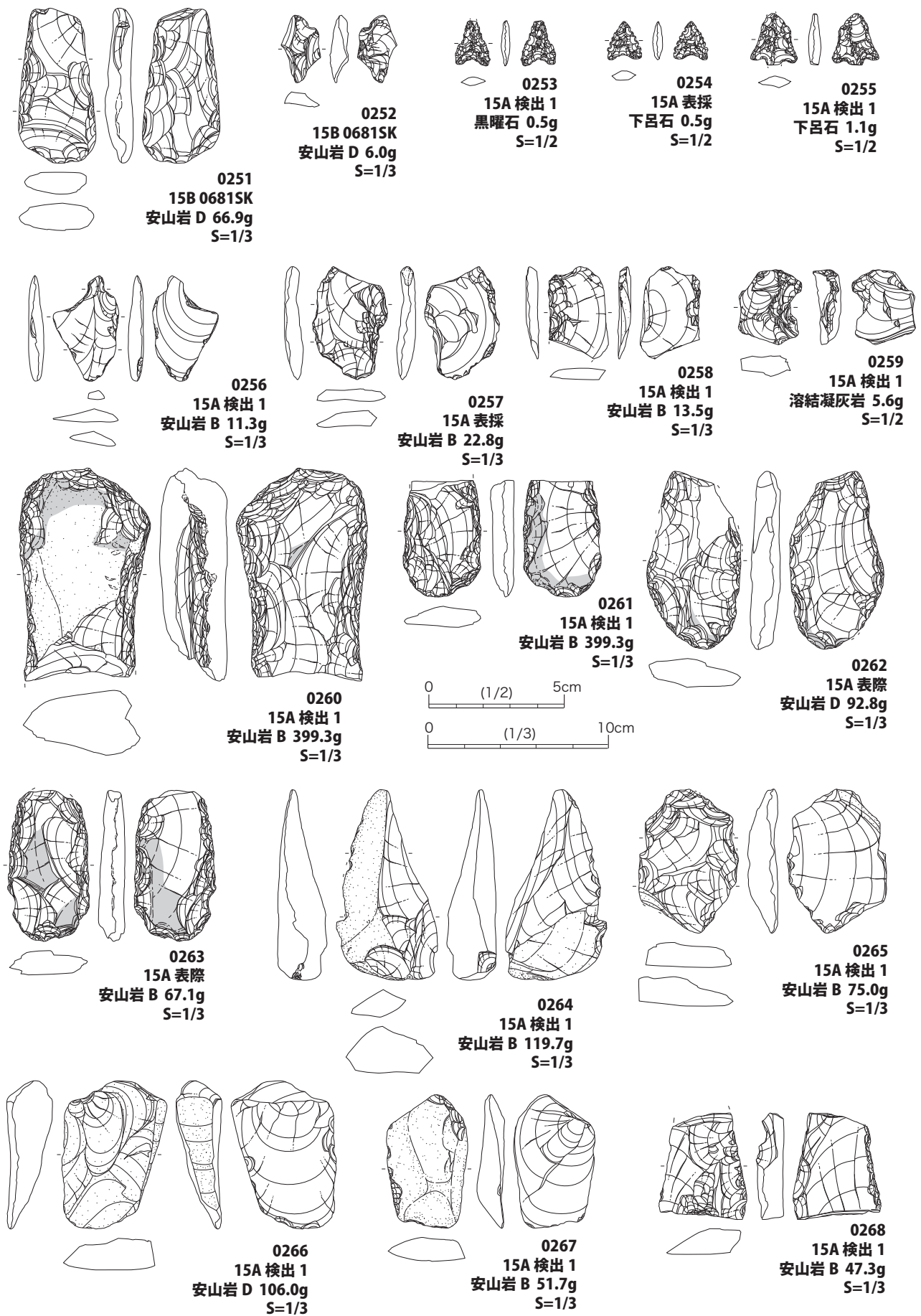
第 266 圖 986SK 他出土石器



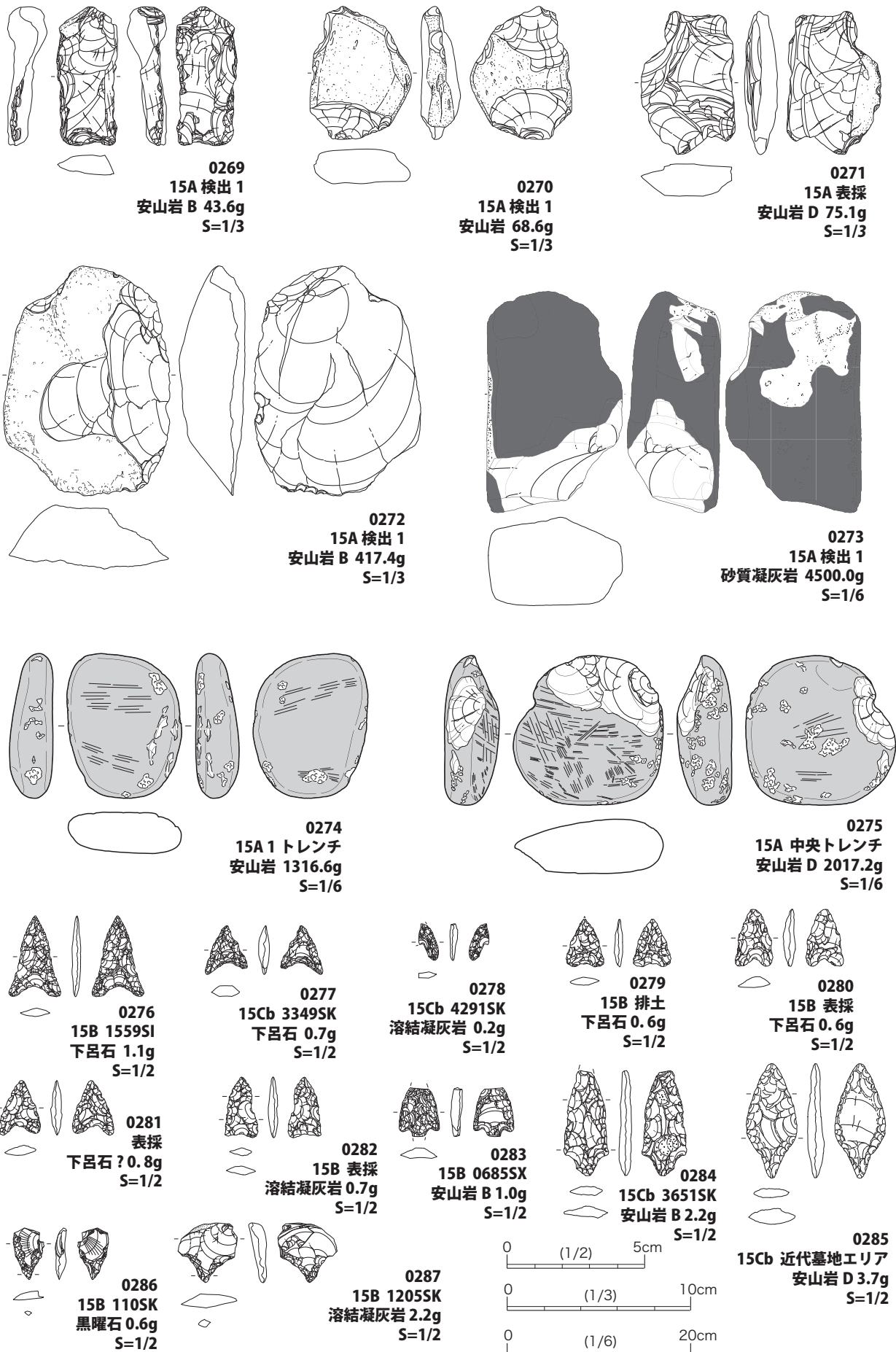
第 267 图 1092SK 他出土石器



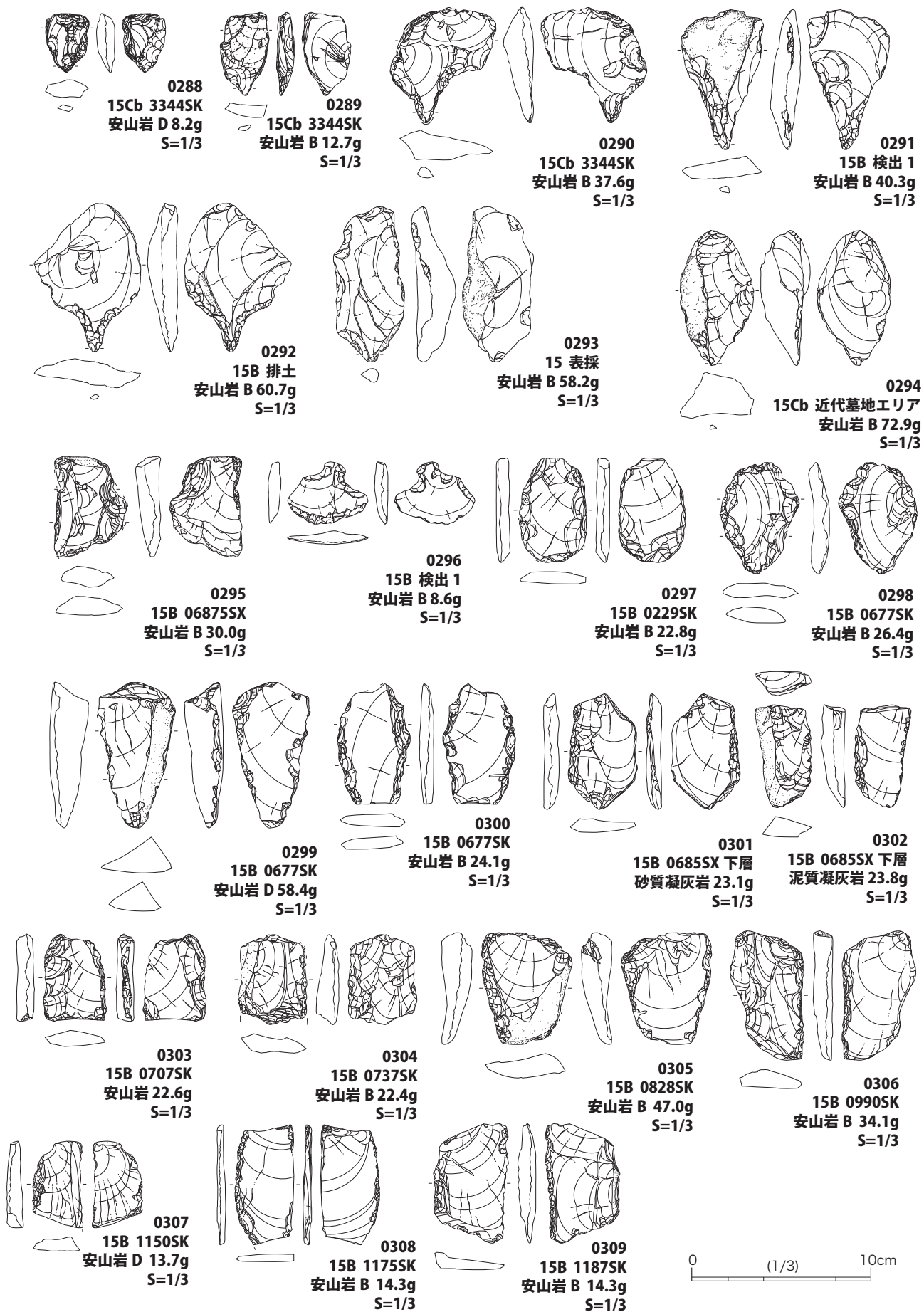
第 268 圖 1143SK 他出土石器



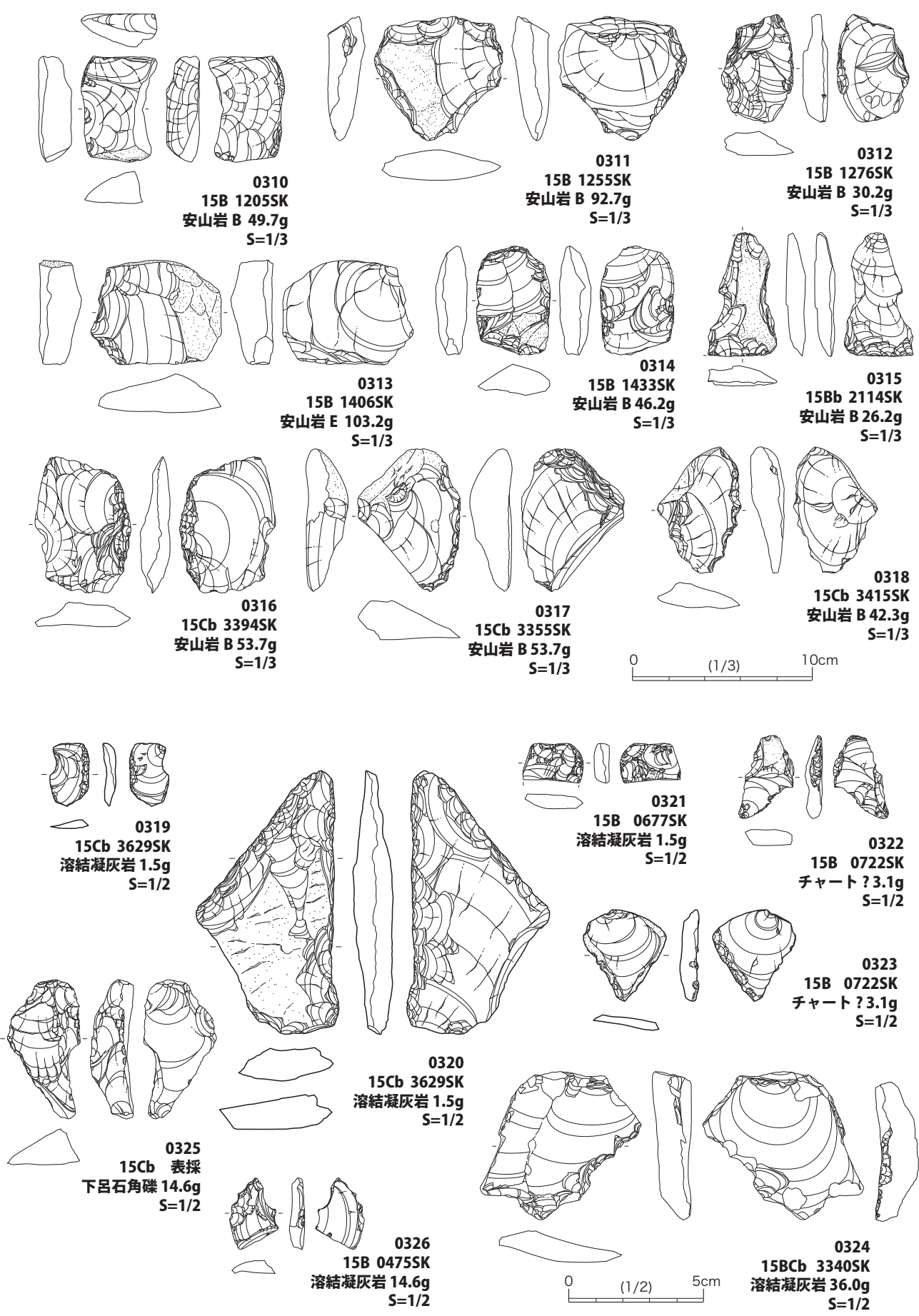
第 269 图 15A 区他出土石器



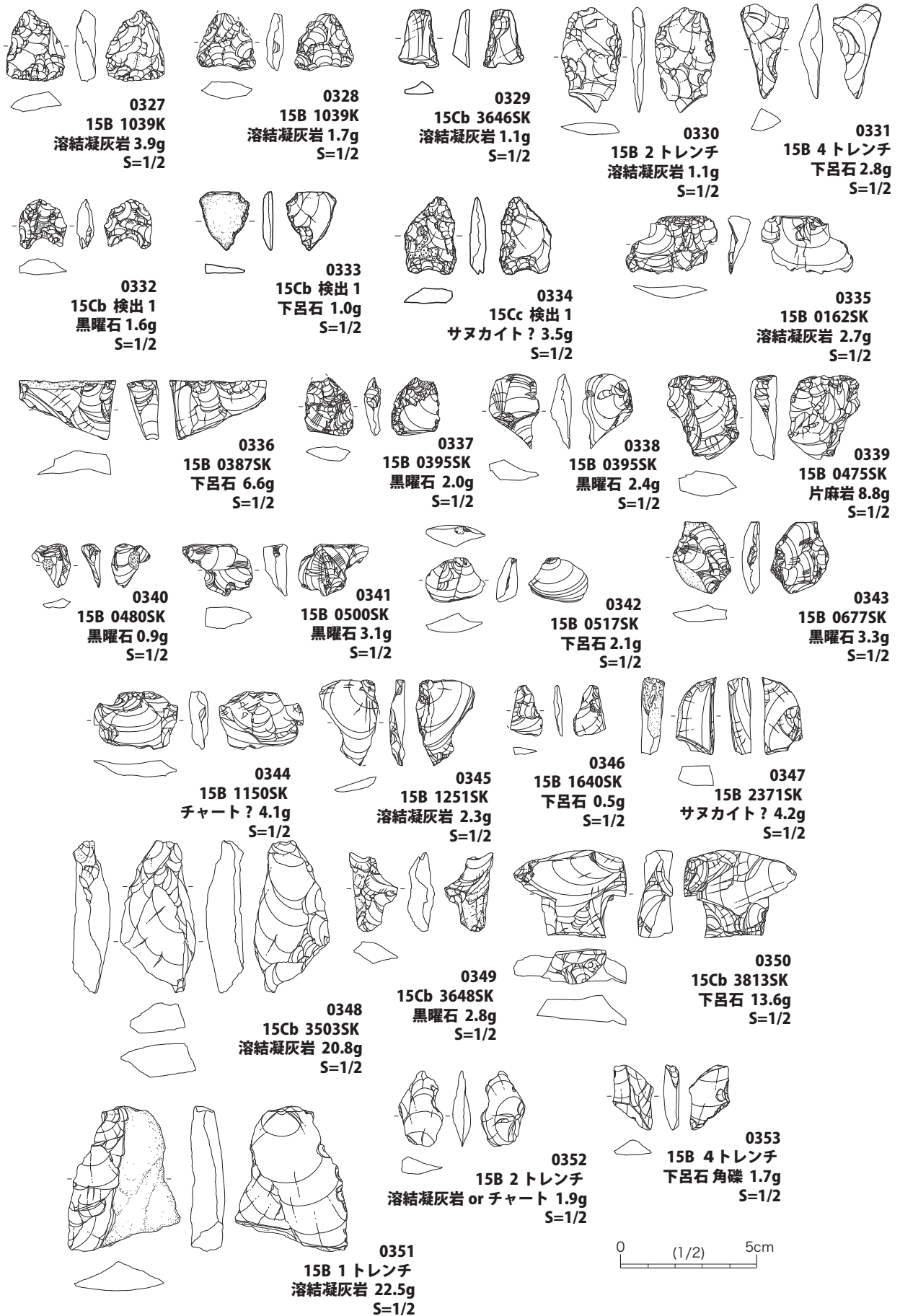
第 270 図 15A 区出土石器・石鏃・石錐



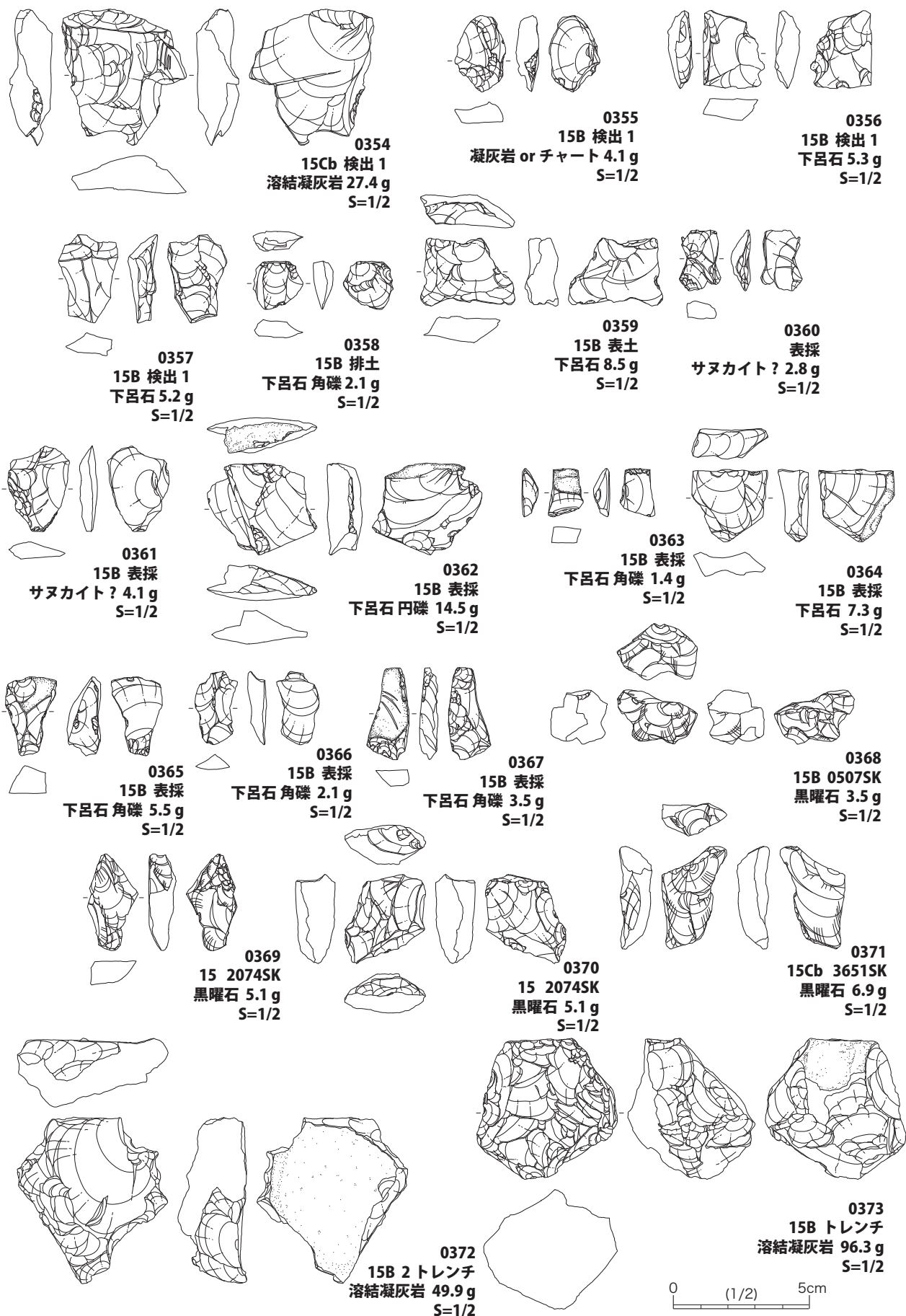
第 271 図 石錐・石匙・スクレイパー



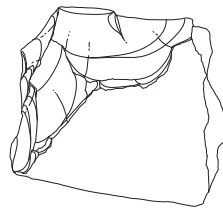
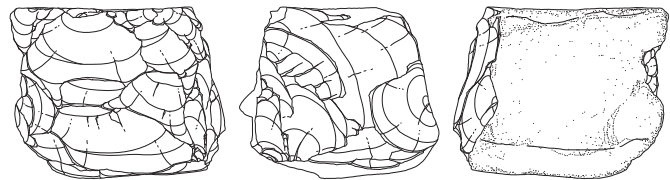
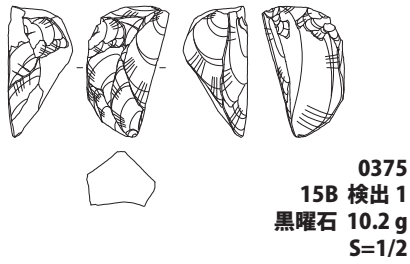
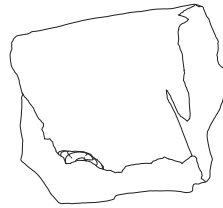
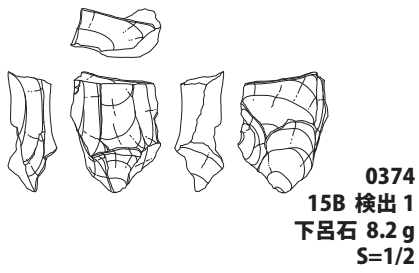
第 272 図 スクレイパー・剥片類 (小型)



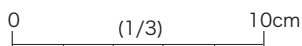
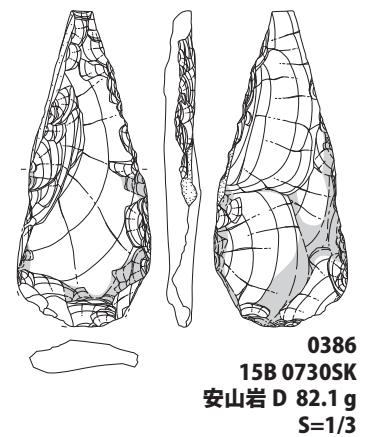
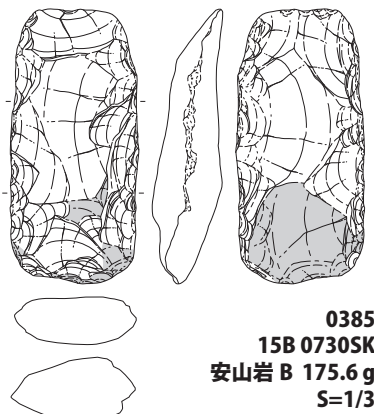
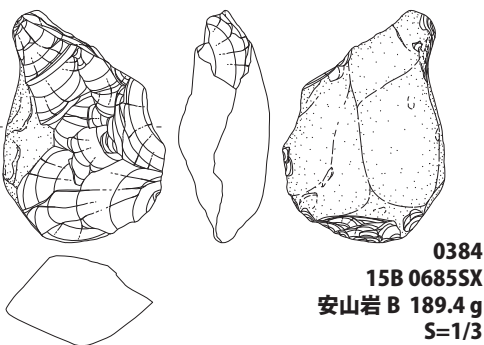
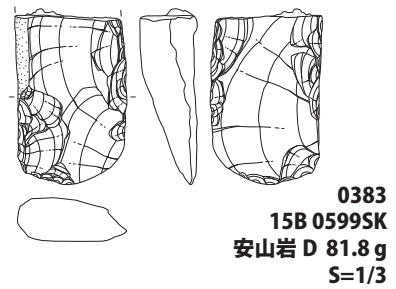
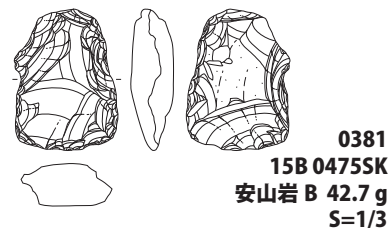
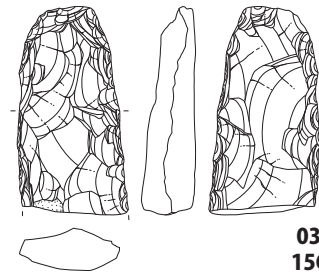
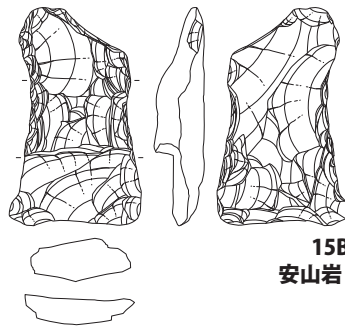
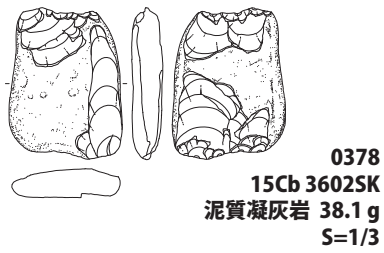
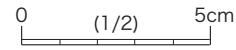
第 273 図 剥片類 (小型)



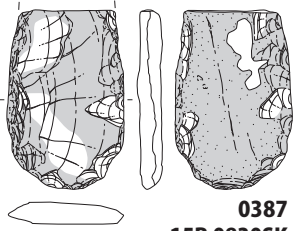
第 274 図 剥片類 (小型)・石核 (小型)



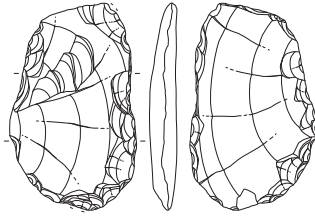
0376
15B 検出 1
溶結凝灰岩 174.2 g
S=1/2



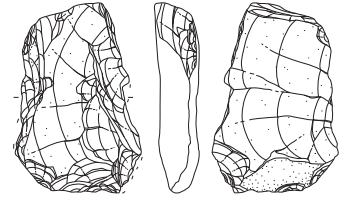
第 275 図 石核 (小型)・楔形石器・打製石斧



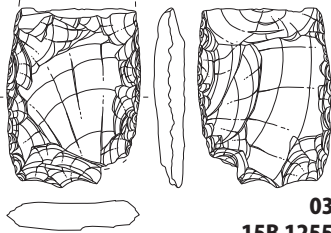
0387
15B 0830SK
安山岩 B 45.1g
S=1/3



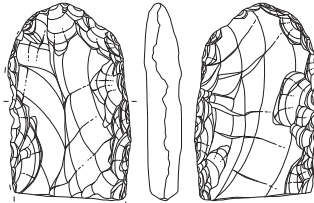
0388
15B 1205SK
安山岩 E 57.8g
S=1/3



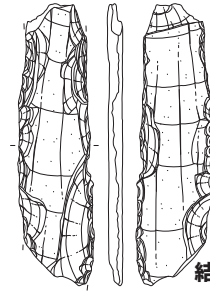
0389
15B 1205SK
安山岩 B 76.5g
S=1/3



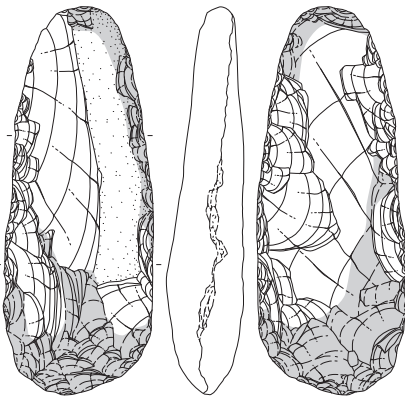
0390
15B 1255SK
安山岩 D 57.9g
S=1/3



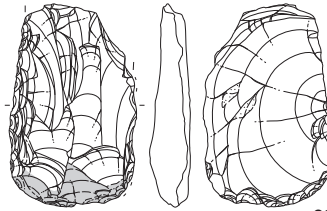
0391
15Cb 3260SK
安山岩 B 62.4g
S=1/3



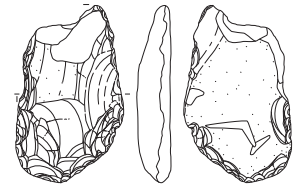
0392
15Cb 3311SK
結晶片岩 27.6g
S=1/3



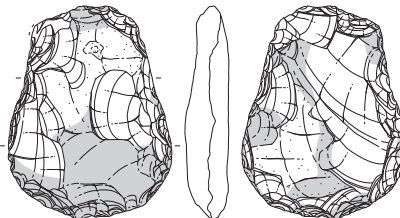
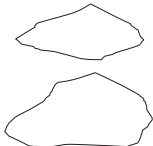
0393
15Cb 3322SK
安山岩 D 309.7g
S=1/3



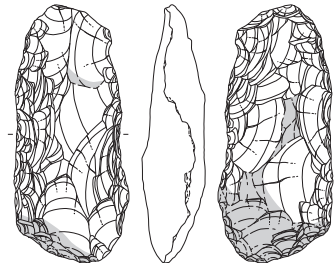
0394
15Cb 3340SK
砂質凝灰岩 65.4g
S=1/3



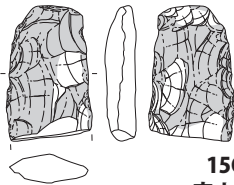
0395
15Cb 3399SK
泥質凝灰岩 46.0g
S=1/3



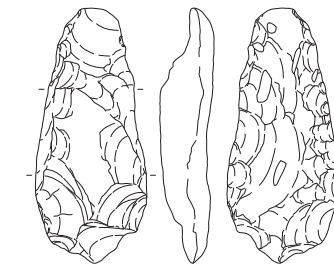
0396
15Cb 3602SK
泥質凝灰岩 111.3g
S=1/3



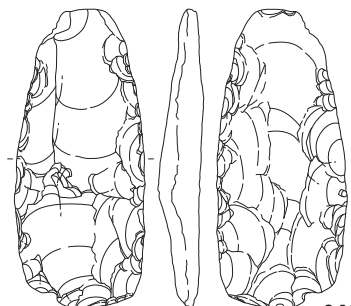
0397
15Cb 3605SK
泥質凝灰岩 116.6g
S=1/3



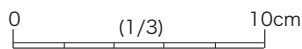
0398
15Cb 3630SK
安山岩 B 25.8g
S=1/3



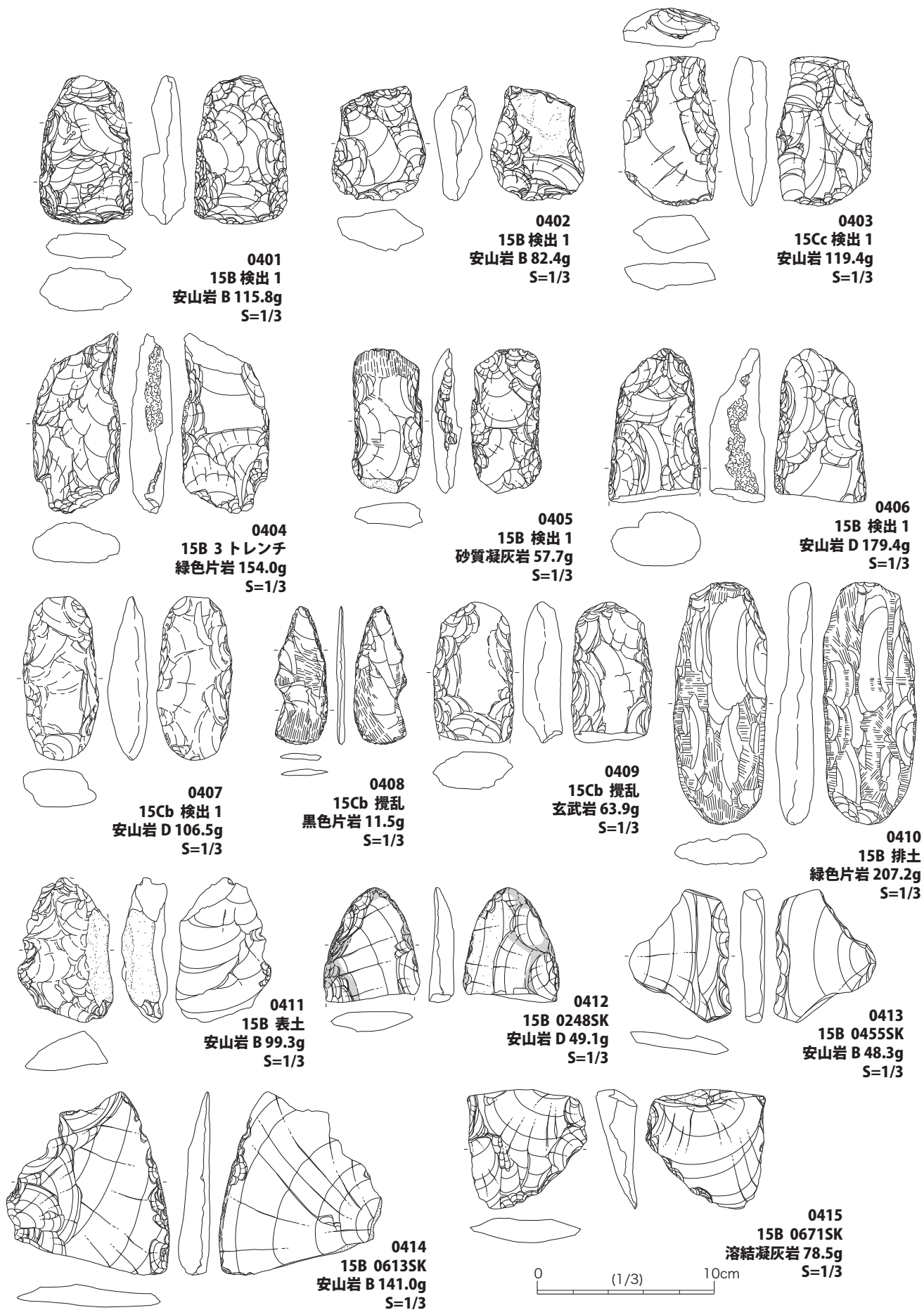
0399
15B 3 トレンチ
安山岩 D 102.7g
S=1/2



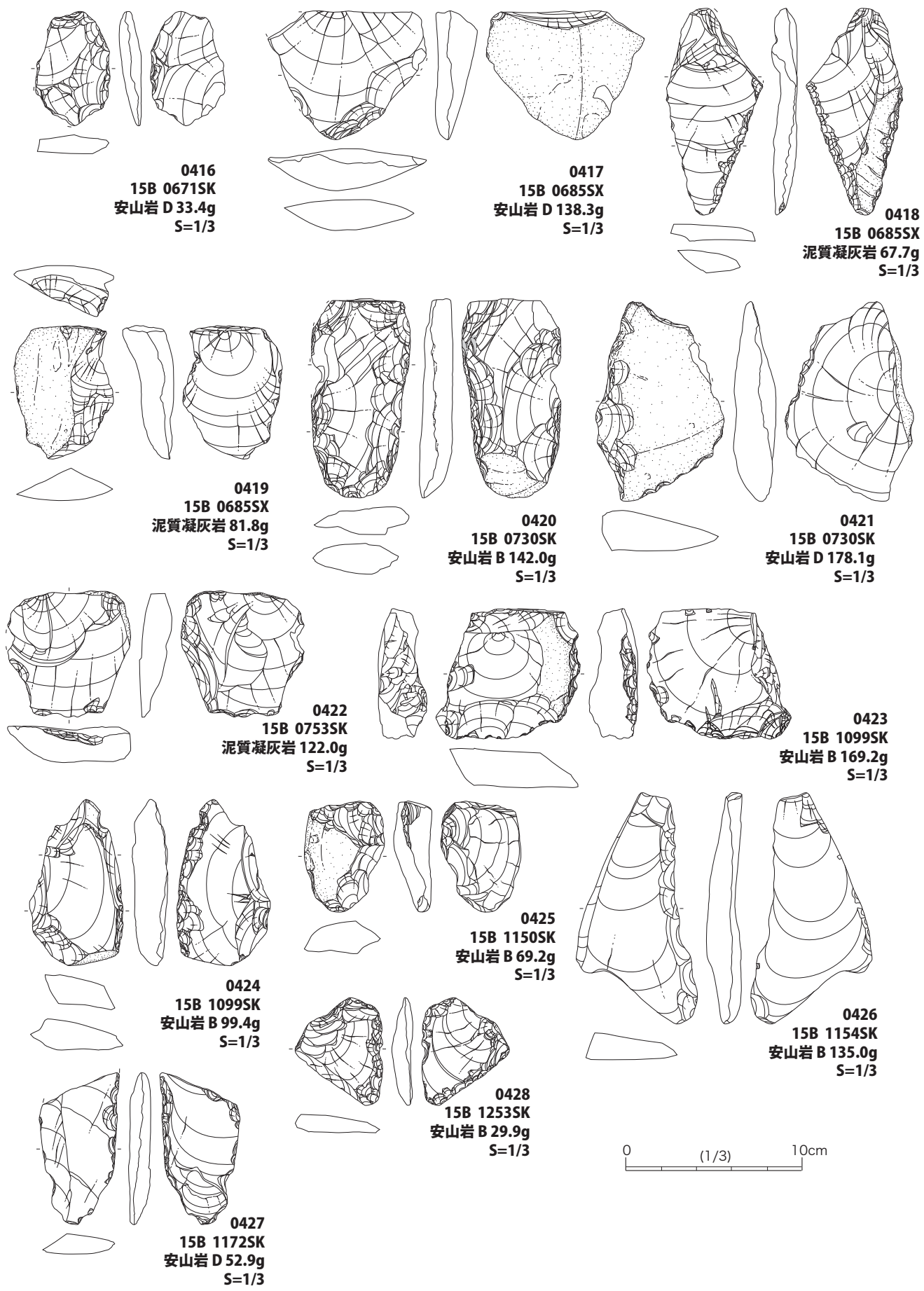
0400
15Cb 検出 2
安山岩 D 113.7g
S=1/2



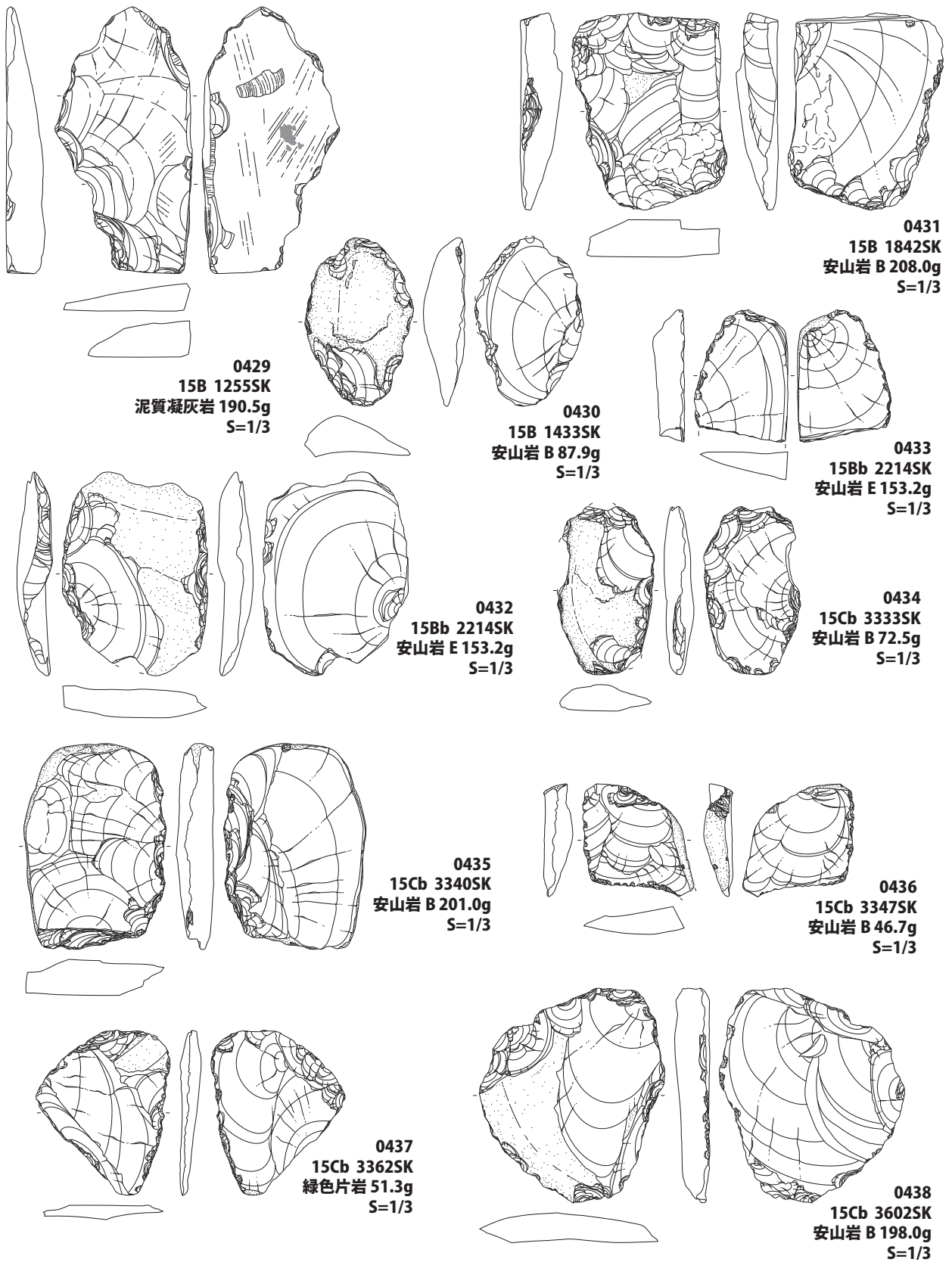
第 276 図 打製石斧



第 277 図 打製石斧・刃器

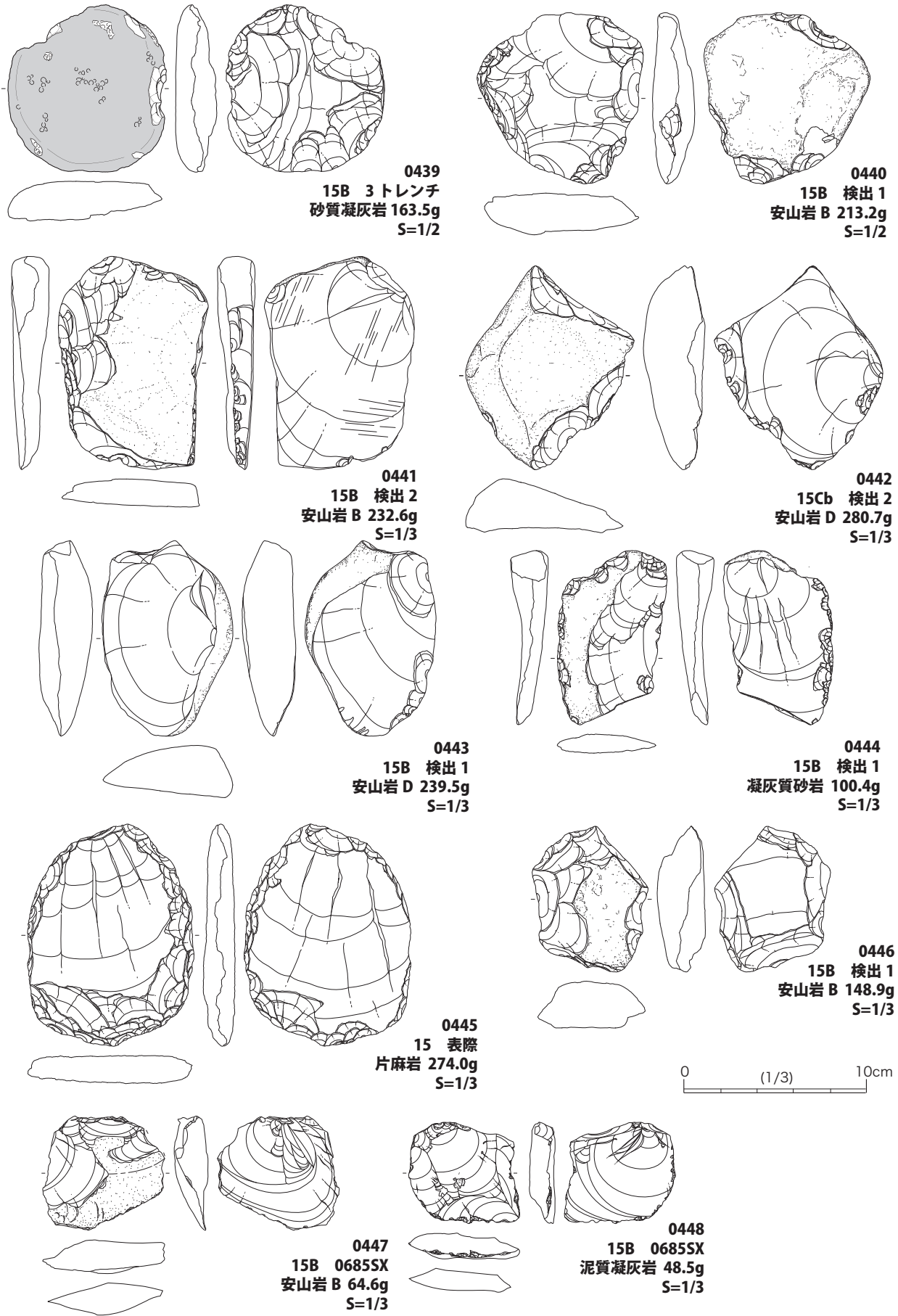


第 278 圖 刃器 (1)

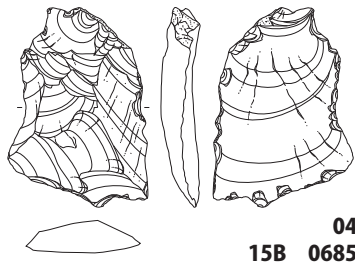


0 (1/3) 10cm

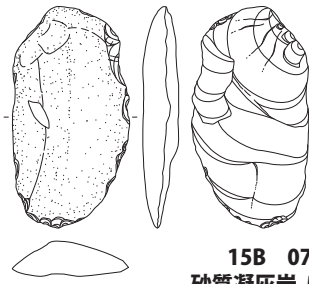
第 279 圖 刃器 (2)



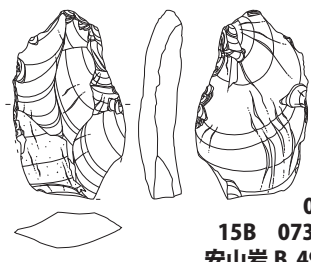
第 280 図 刃器・剥片類



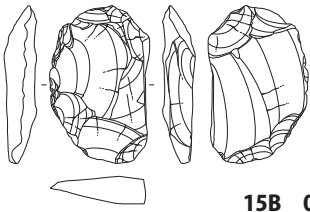
0449
15B 0685SX
安山岩 B 58.4g
S=1/3



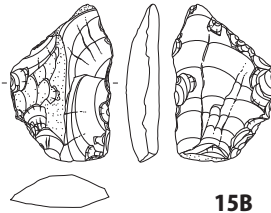
0450
15B 0716SK
砂質凝灰岩 55.9g
S=1/3



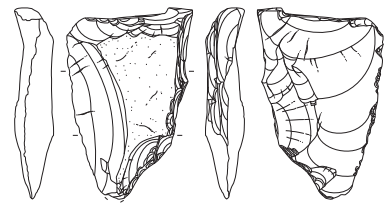
0451
15B 0730SK
安山岩 B 49.3g
S=1/3



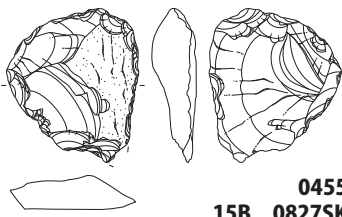
0452
15B 0734SK
安山岩 B 33.6g
S=1/3



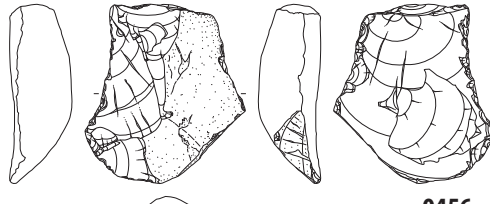
0453
15B 0792SK
泥質凝灰岩 31.7g
S=1/3



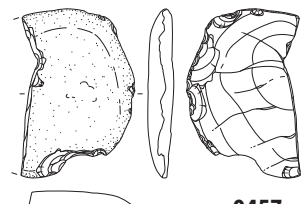
0454
15B 0810SK
安山岩 B 52.9g
S=1/3



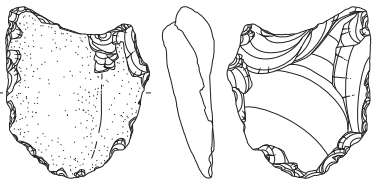
0455
15B 0827SK
安山岩 B 44.6g
S=1/3



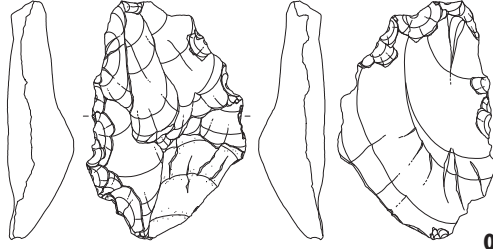
0456
15B 1144SK
安山岩 B 99.8g
S=1/3



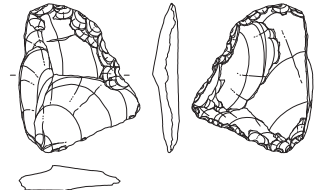
0457
15B 1172SK
泥質凝灰岩 31.4g
S=1/3



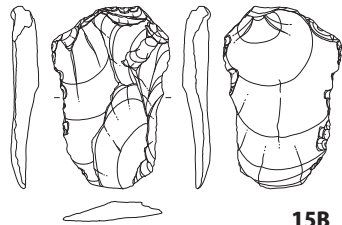
0458
15B 1186SK
安山岩 B 56.6g
S=1/3



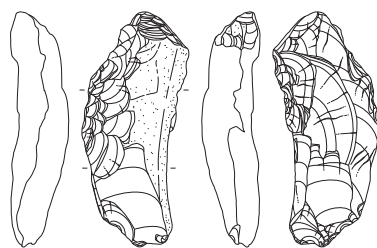
0459
15Cb 検出 1
安山岩 B 119.7g
S=1/3



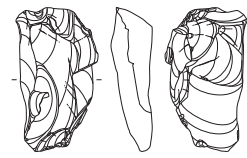
0460
15Cb 検出 1
安山岩 D 24.7g
S=1/3



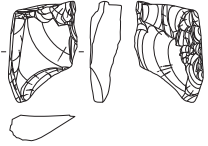
0461
15B 表採
安山岩 B 31.4g
S=1/3



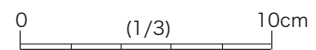
0462
15B 250SK
安山岩 B 84.4g
S=1/3



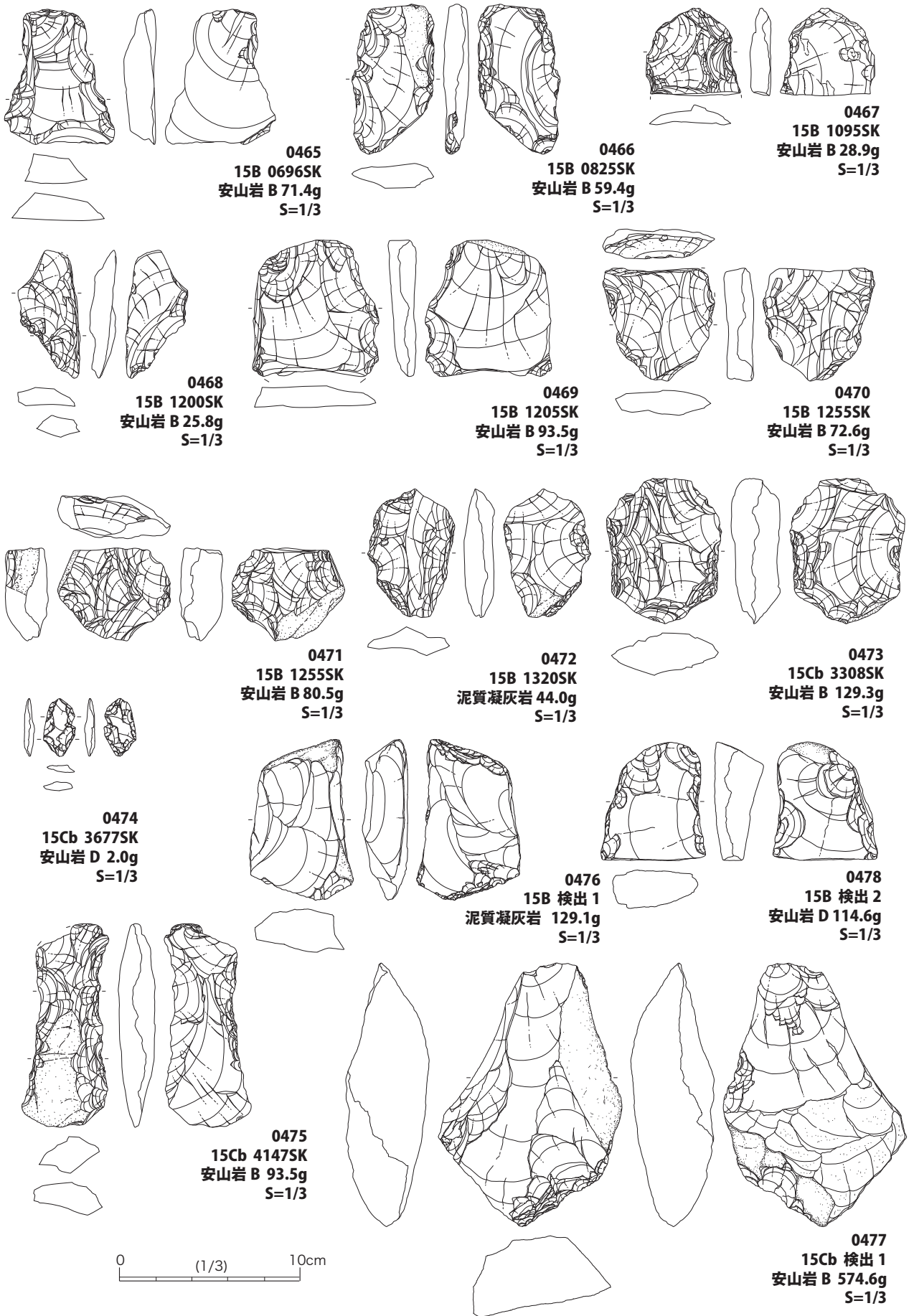
0464
15B 250SK
泥質凝灰岩 25.9g
S=1/3



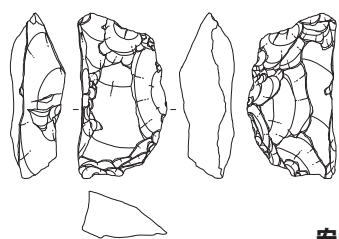
0463
15B 250SK
安山岩 B 13.0g
S=1/3



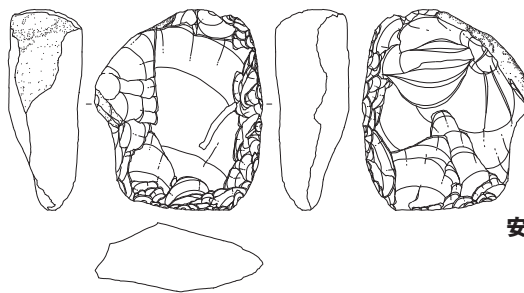
第 281 図 剥片類 (1)



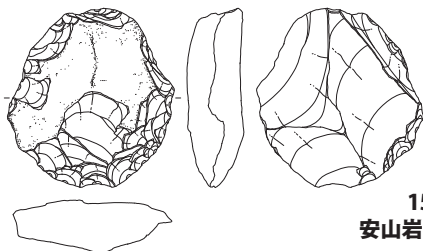
第 282 図 剥片類 (2)



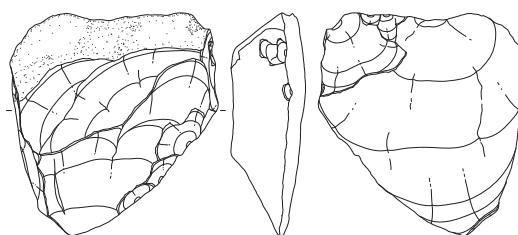
0479
15Cb 検出 1
安山岩 D 48.9g
S=1/3



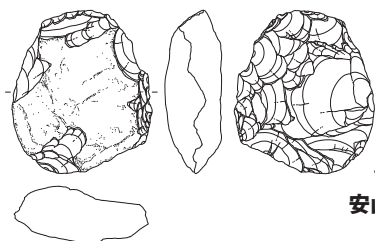
0480
15Cb 検出 1
安山岩 B 166.6g
S=1/3



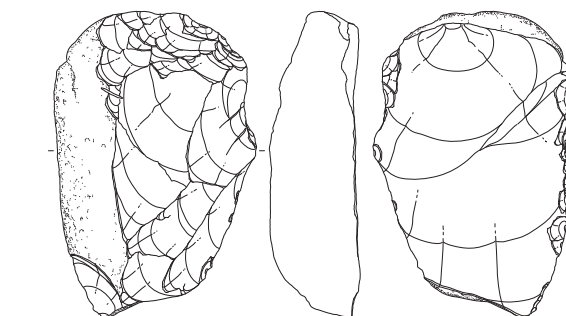
0481
15B 検出 1
安山岩 B 111.7g
S=1/3



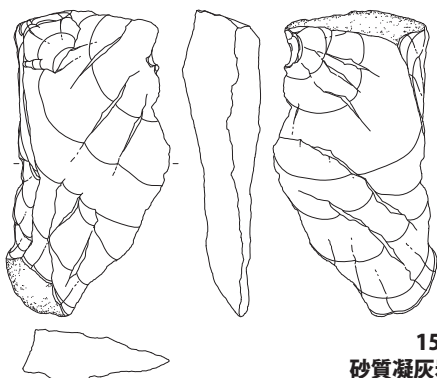
0483
15B 0507SK
安山岩 D 241.5g
S=1/3



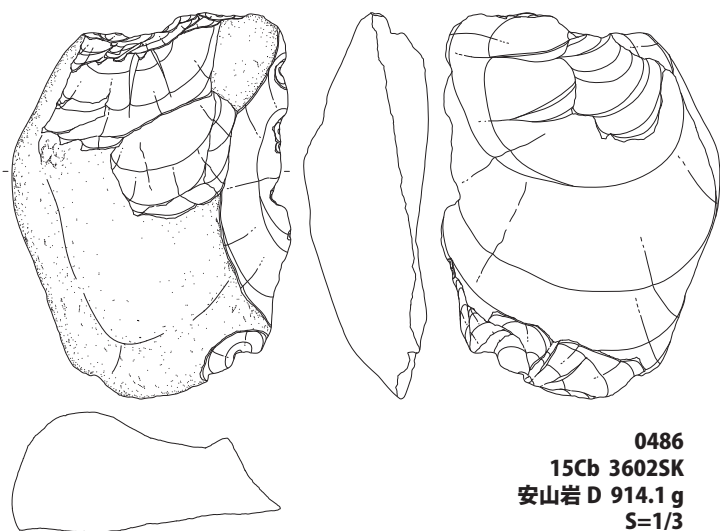
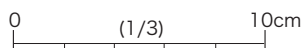
0482
15Cb 検出 1
安山岩 B 94.0g
S=1/3



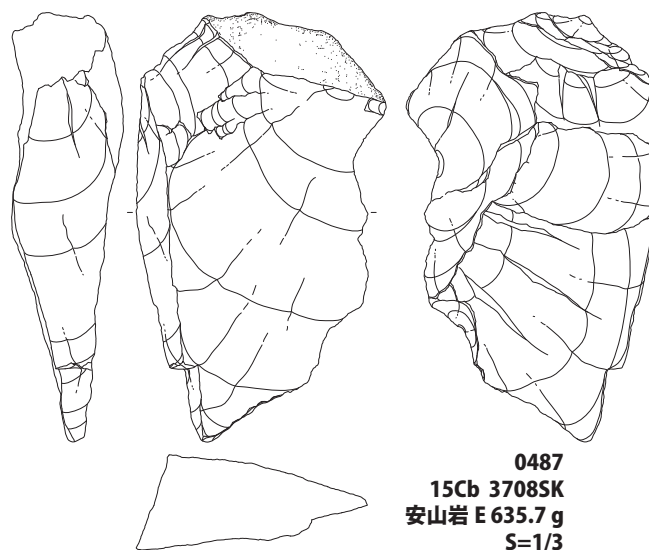
0485
15B 1054SK
泥質凝灰岩 346.9g
S=1/3



0484
15B 0717SK
砂質凝灰岩 209.3g
S=1/3

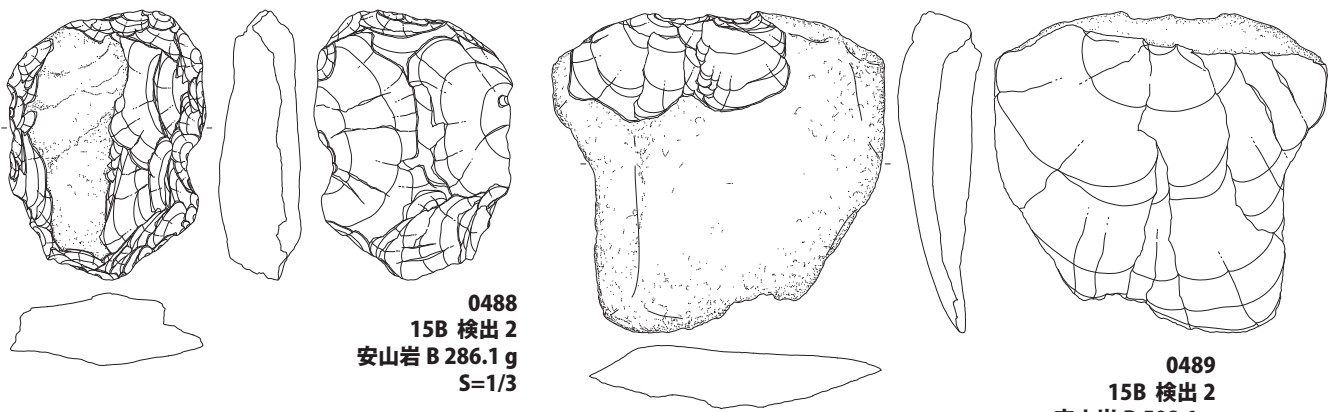


0486
15Cb 3602SK
安山岩 D 914.1g
S=1/3



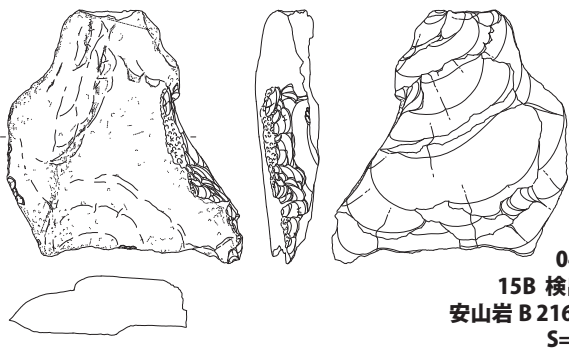
0487
15Cb 3708SK
安山岩 E 635.7g
S=1/3

第 283 図 剥片類 (3)

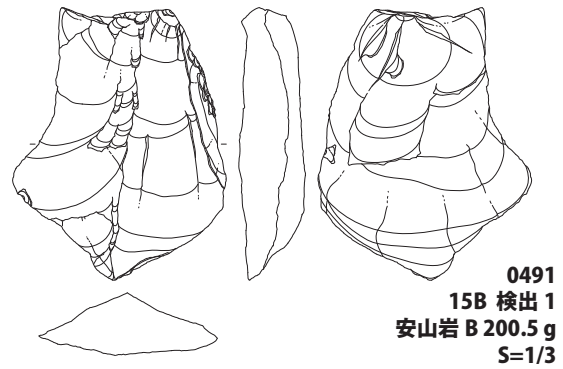


0488
15B 検出 2
安山岩 B 286.1 g
S=1/3

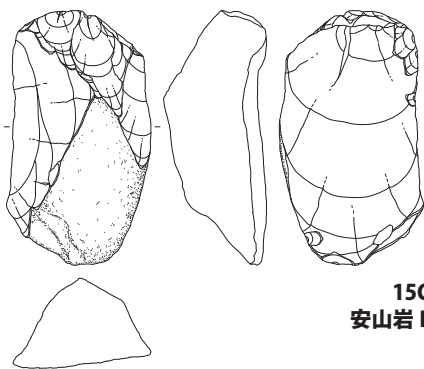
0489
15B 検出 2
安山岩 D 508.1 g
S=1/3



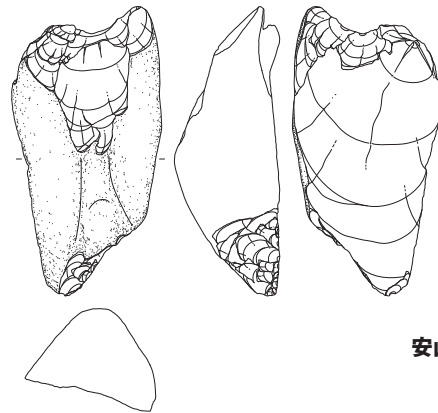
0490
15B 検出 1
安山岩 B 216.2g
S=1/3



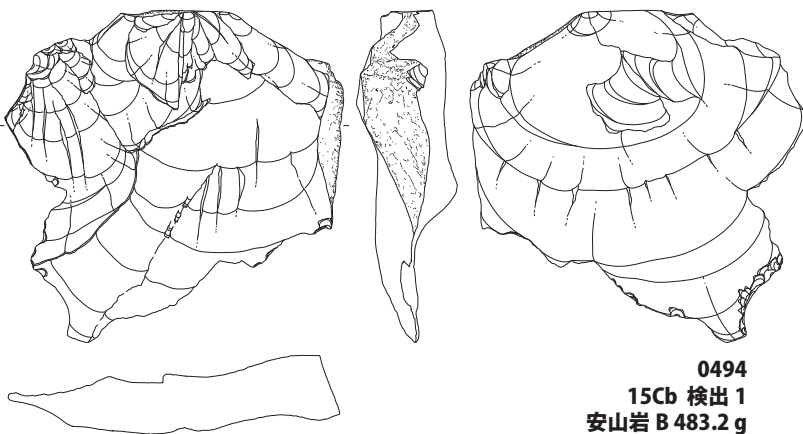
0491
15B 検出 1
安山岩 B 200.5 g
S=1/3



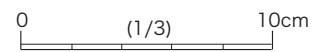
0492
15Cb 検出 1
安山岩 D 229.9 g
S=1/3



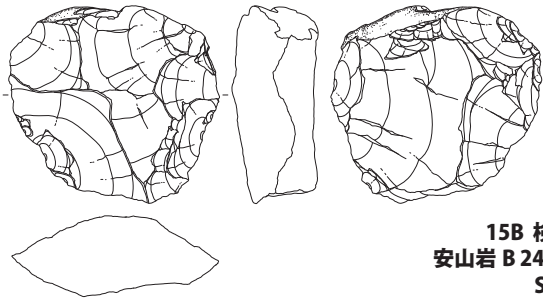
0493
15B 検出 1
安山岩 D 247.6 g
S=1/3



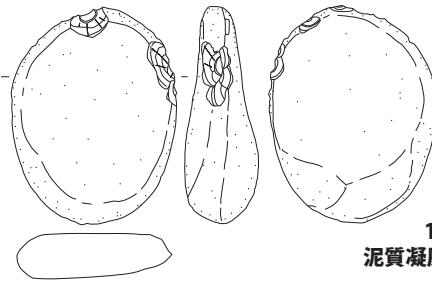
0494
15Cb 検出 1
安山岩 B 483.2 g
S=1/3



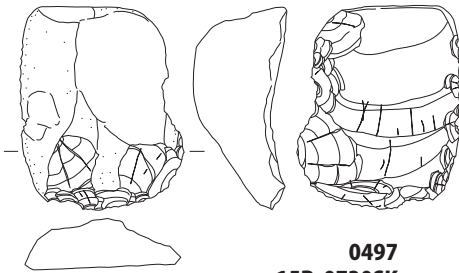
第 284 図 剥片類 (4)



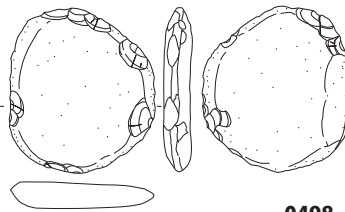
0495
15B 検出 1
安山岩 B 241.6 g
S=1/3



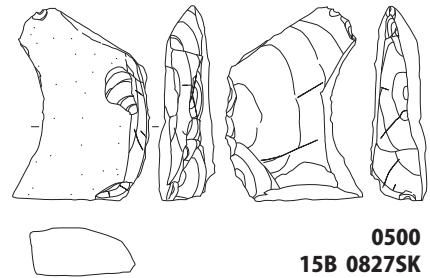
0496
15B 0686SK
泥質凝灰岩 155.9 g
S=1/3



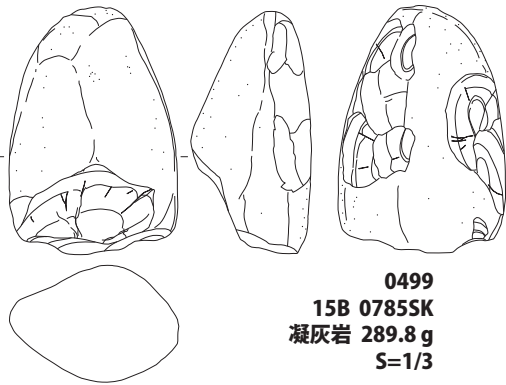
0497
15B 0730SK
安山岩 B 179.0g
S=1/3



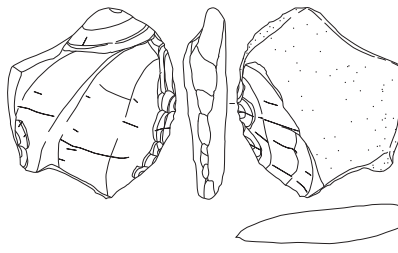
0498
15B 0785SK
安山岩 B 57.2 g
S=1/3



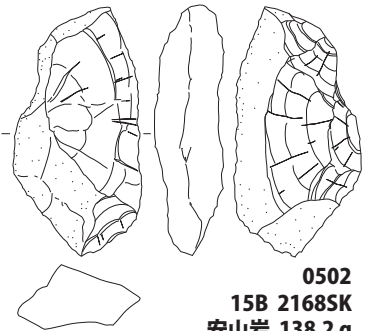
0500
15B 0827SK
安山岩 B 109.2 g
S=1/3



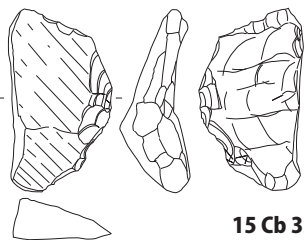
0499
15B 0785SK
凝灰岩 289.8 g
S=1/3



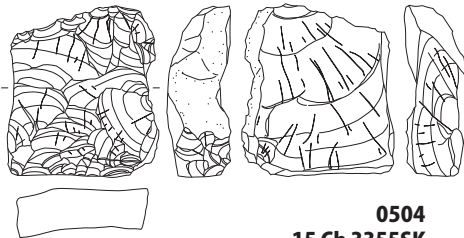
0501
15B 2168SK
安山岩 D 111.0 g
S=1/3



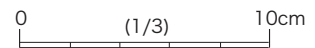
0502
15B 2168SK
安山岩 138.2 g
S=1/3



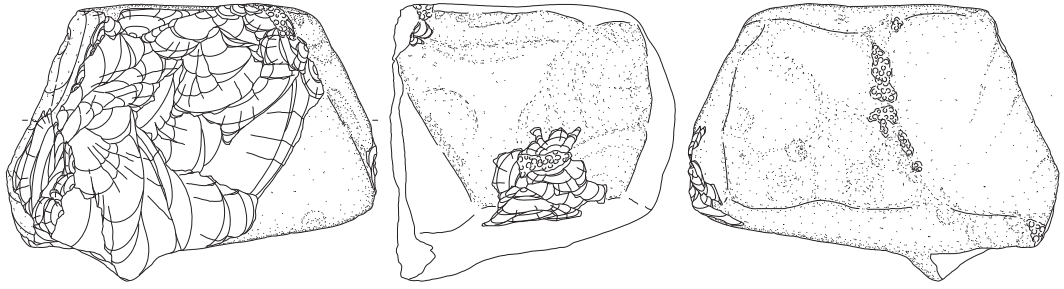
0503
15 Cb 3344SK
安山岩 B 70.4 g
S=1/3



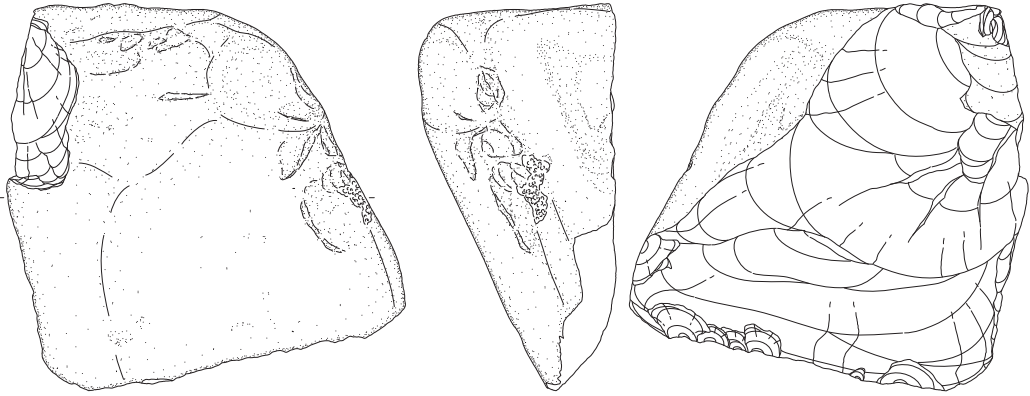
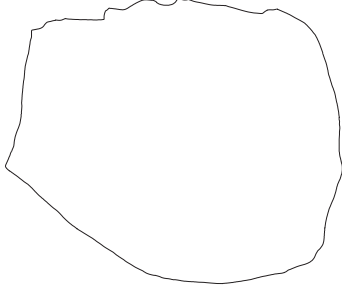
0504
15 Cb 3355SK
安山岩 B 141.9g
S=1/3



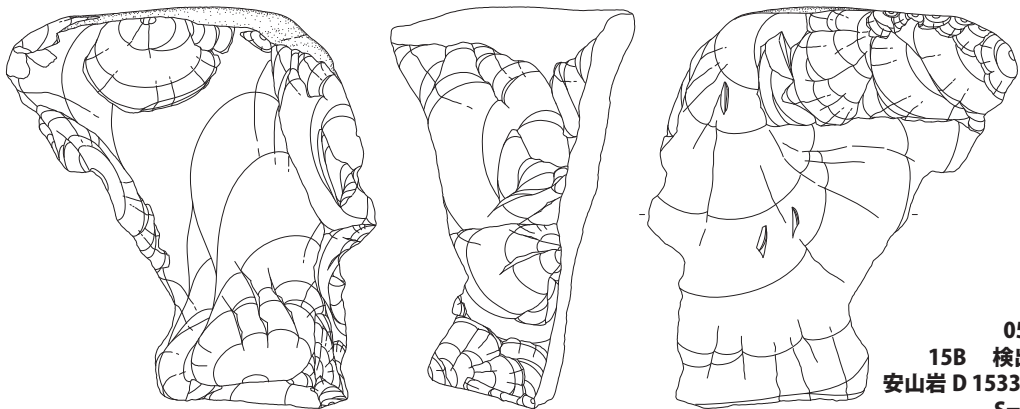
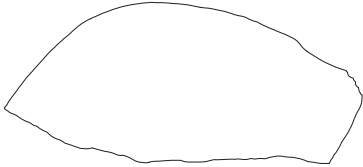
第 285 図 剥片類・礫器



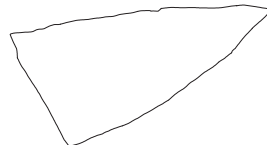
0505
15B 1932SK
安山岩 B 2570.9g
S=1/3



0506
**** 検出 1
凝灰質砂岩 1941.7g
S=1/3



0507
15B 検出 1
安山岩 D 1533.1g
S=1/3

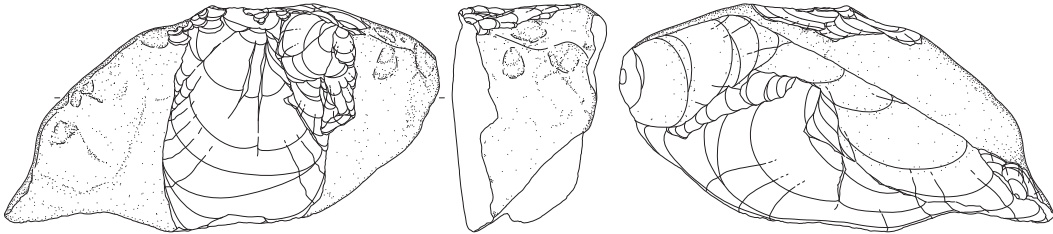
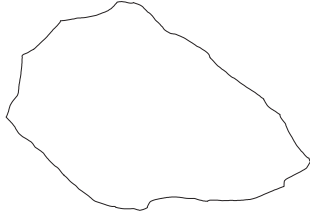


0 (1/3) 10cm

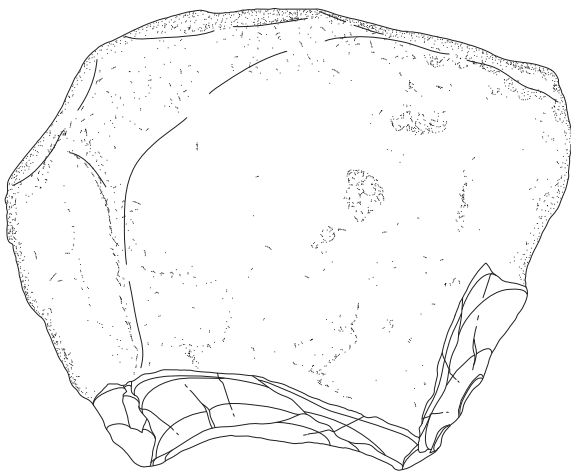
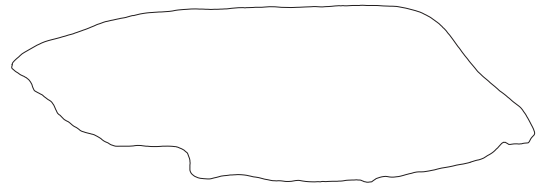
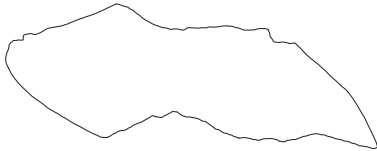
第 286 図 石核 (1)



0508
15Cb 検出1
安山岩 B 1404.7g
S=1/3



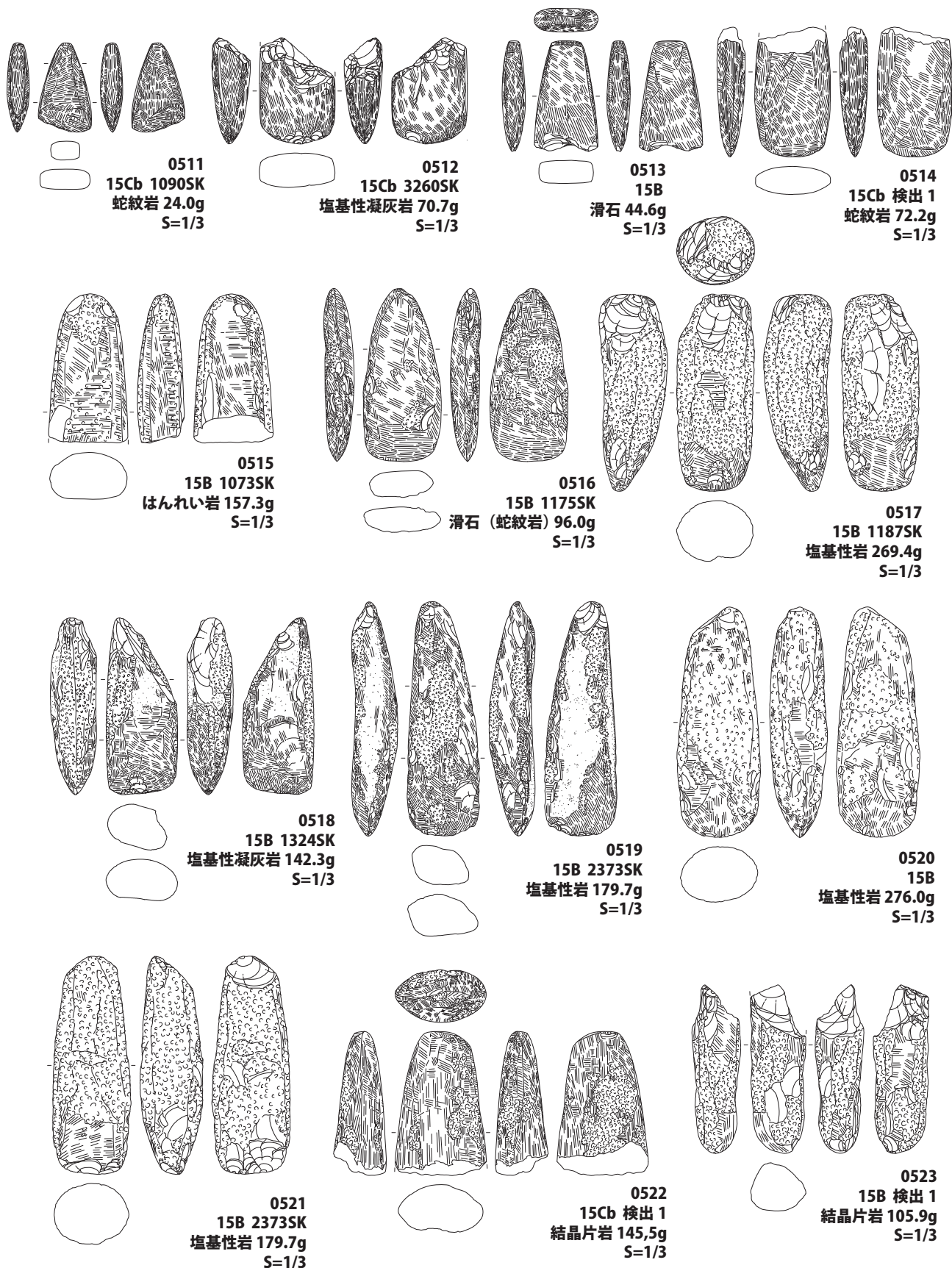
0509
15Cb 風倒木
凝灰質砂岩 804.9g
S=1/3



0510
15Cb 攪乱
安山岩 D 3772.7g
S=1/3

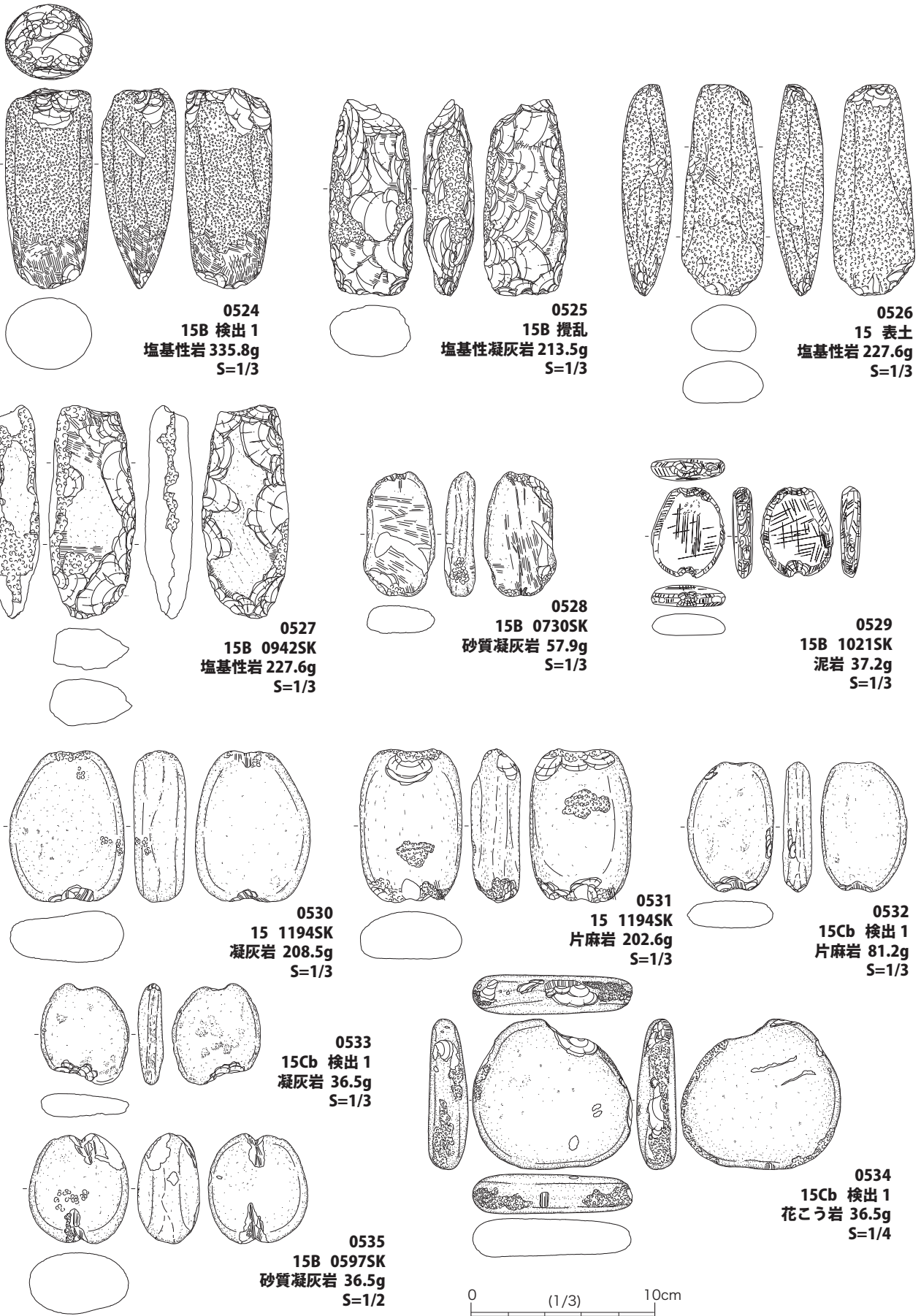
0 (1/3) 10cm

第 287 図 石核 (2)

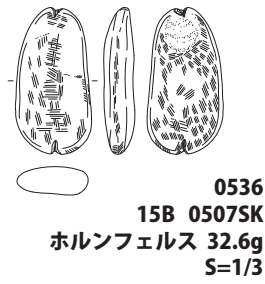


0 (1/3) 10cm

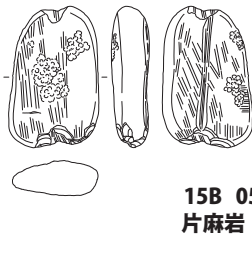
第 288 図 磨製石斧



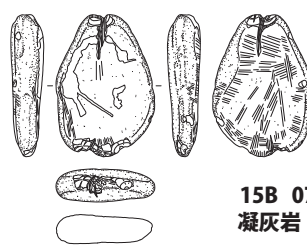
第 289 図 磨製石斧・打欠石錘



0536
15B 0507SK
ホルンフェルス 32.6g
S=1/3



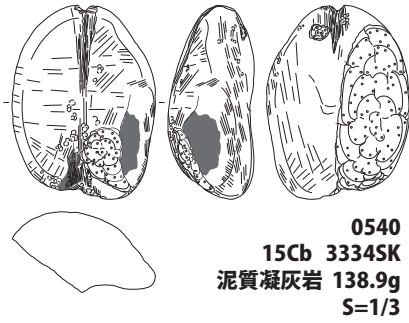
0537
15B 0510SK
片麻岩 43.7g
S=1/3



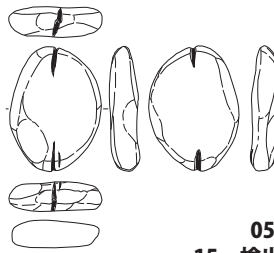
0538
15B 0701SK
凝灰岩 33.0g
S=1/3



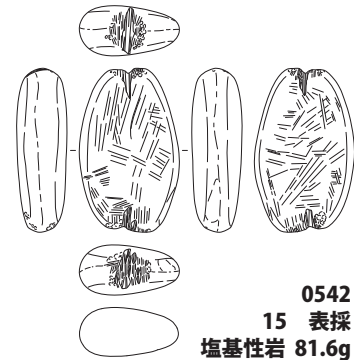
0539
15Cb 3260SK
泥質凝灰岩 8.1g
S=1/3



0540
15Cb 3334SK
泥質凝灰岩 138.9g
S=1/3



0541
15 検出 1
安山岩 32.3g
S=1/3



0542
15 表採
塩基性岩 81.6g
S=1/3



0543
15B 1170SK
塩基性岩 37.3g
S=1/3



0544
15B 3352SK
緑色片岩 67.9g
S=1/3



0545
15Cb 3362SK
塩基性岩 40.2g
S=1/3



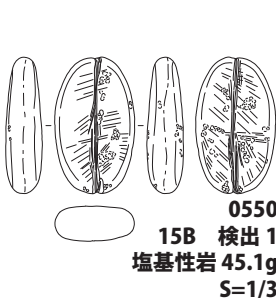
0547
15Cb 3679SK
塩基性岩 30.2g
S=1/3



0548
15B 検出 1
塩基性凝灰岩 53.9g
S=1/3



0549
15Cb 検出 1
砂質凝灰岩 14.3g
S=1/3



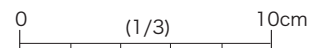
0550
15B 検出 1
塩基性岩 45.1g
S=1/3



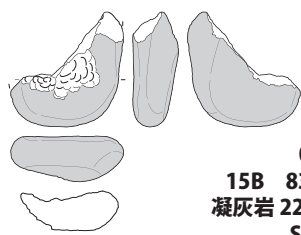
0551
15B 表採
砂質凝灰岩 45.1g
S=1/3



0552
15B 検出 1
塩基性岩 23.8g
S=1/3



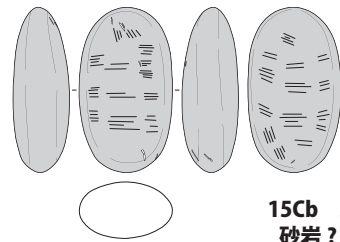
第 290 図 切目石錘・有溝石錘



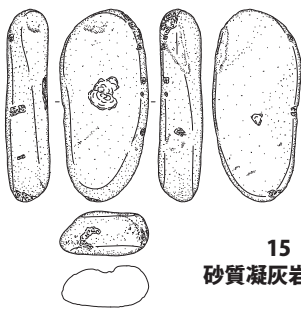
0553
15B 830SK
凝灰岩 225.0g
S=1/6



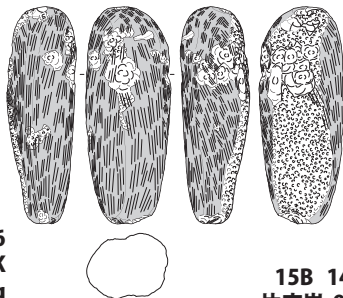
0554
15B 1120SK
泥質凝灰岩 239.3g
S=1/6



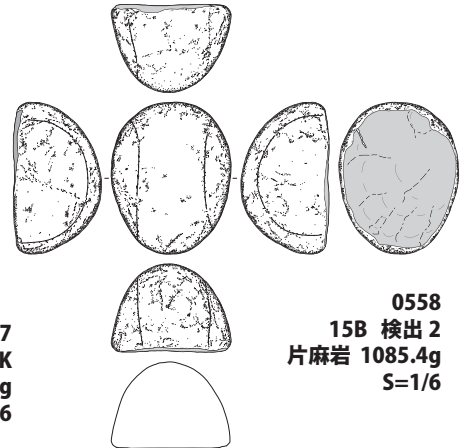
0555
15Cb 3426SK
砂岩? 654.0g
S=1/6



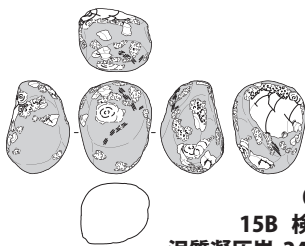
0556
15 1194SK
砂質凝灰岩 413.4g
S=1/6



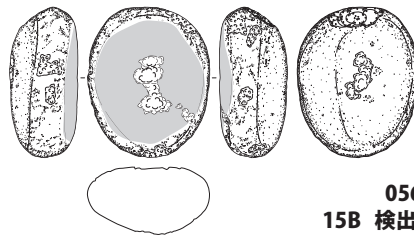
0557
15B 1493SK
片麻岩 930.2g
S=1/6



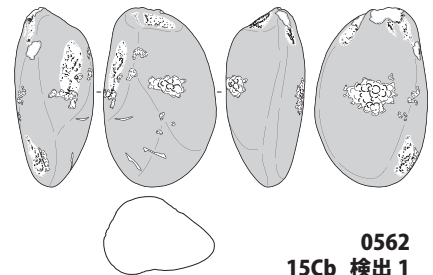
0558
15B 検出 2
片麻岩 1085.4g
S=1/6



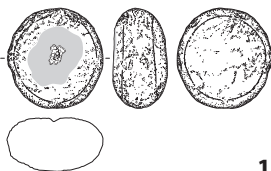
0559
15B 検出 1
泥質凝灰岩 241.3g
S=1/6



0561
15B 検出 1
凝灰岩 820.3g
S=1/6



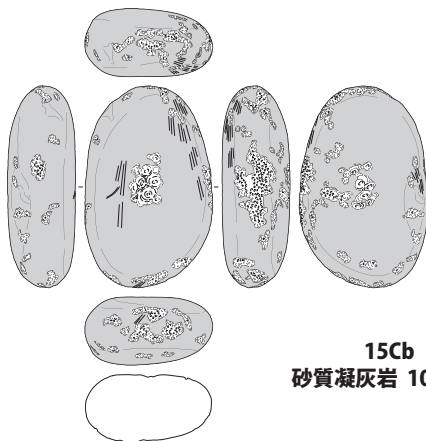
0562
15Cb 検出 1
安山岩 D 1012.4g
S=1/6



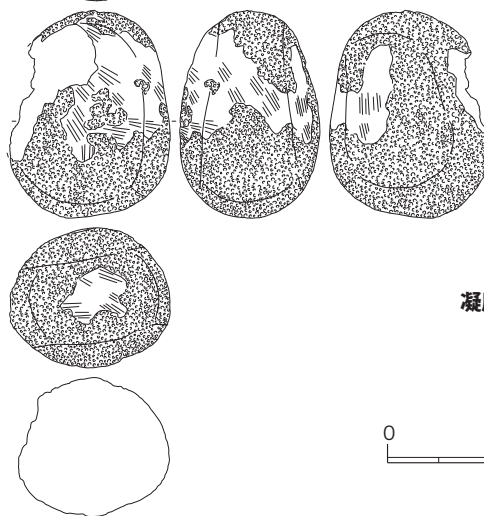
0560
15B 検出 1
閃綠岩 379.5g
S=1/6



0564
15Cb 検出 1
凝灰岩 2743.2g
S=1/6

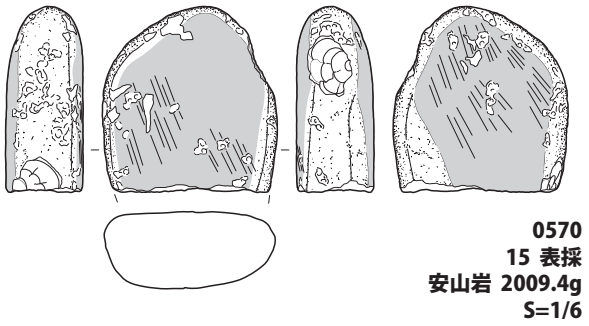
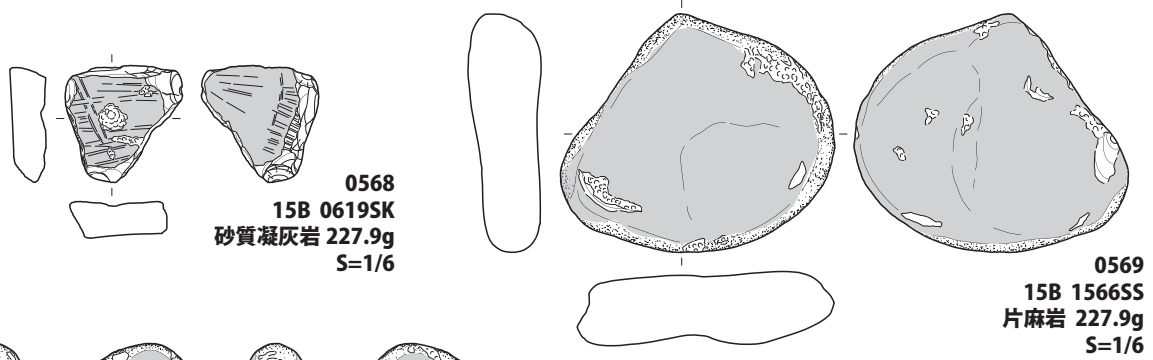


0563
15Cb 検出 1
砂質凝灰岩 1002.4g
S=1/6

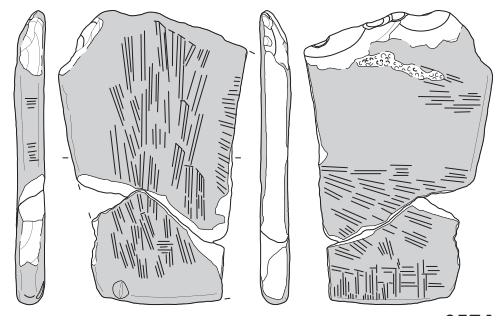
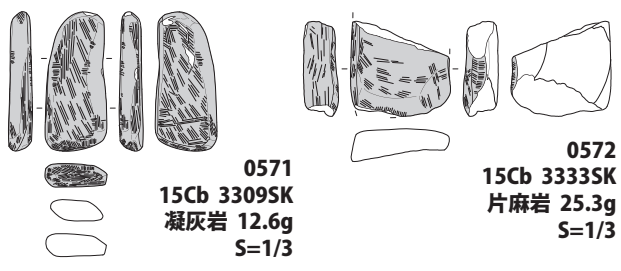


0 (1/6) 20cm

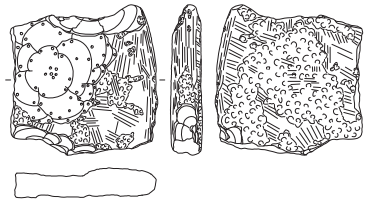
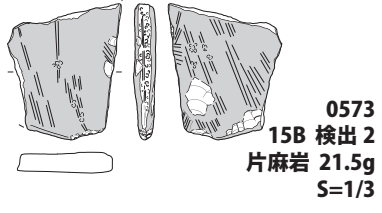
第 291 図 磨石敲石類



0 (1/6) 20cm

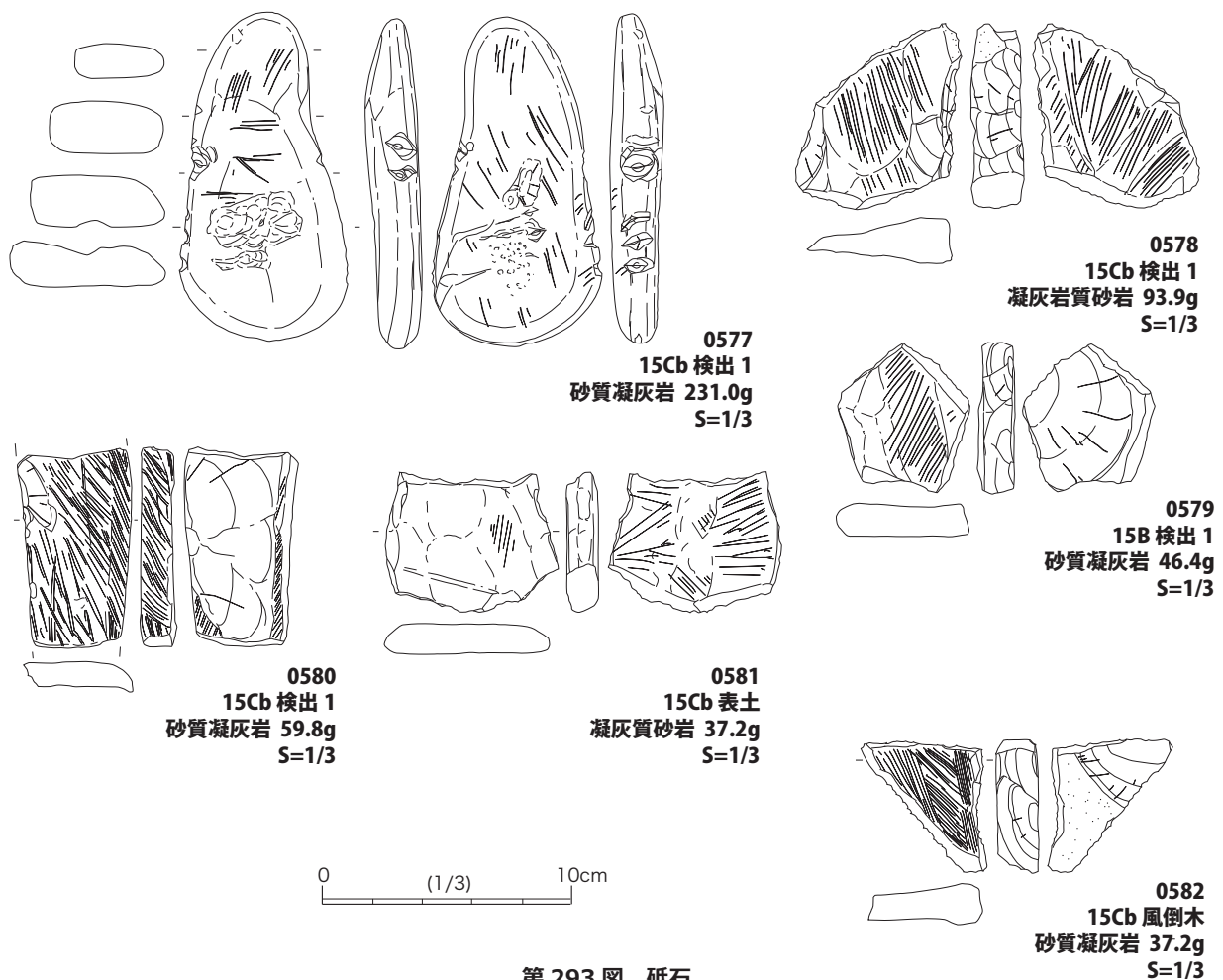


0 (1/3) 10cm



0576
15Cb 3308SK
砂質凝灰岩 56.7g
S=1/3

第 292 図 磨石・敲石類・石皿・台石類・砥石・擦切具



第 293 図 砥石

質凝灰岩 7 点 (計 5271.6g)、泥質凝灰岩 16 点 (計 2632.1g)、である。

(20) 打製石器対応原石【926】

石器素材に対応すると考えられる自然石である。遺跡内の堆積層に存在しているものが多いが、当時の境川岸で採集したものを遺跡内に集中して持ち込んだと考えられるものもある。

安山岩 A 1 点 (367.6g)、安山岩 B 207 点 (計 23090.8g)、安山岩 D 84 点 (計 40167.0g)、安山岩 E 6 点 (計 1351.1g)、その他安山岩 93 点 (計 233757.2g)、砂質凝灰岩 165 点 (計 10293.3g)、泥質凝灰岩 102 点 (計 6764.7g)、凝灰岩 203 点 (計 169111.9g)、凝灰質砂岩 32 点 (計 8282.1g)、凝灰質泥岩 7 点 (計 717.7g)、珪質岩 2 点 (計 422.1g)、泥岩 2 点 (40.9g)、玄武岩 1 点 (6.5g)、片麻岩 19 点 (計 34030.5g) 花こう岩 1 点 (5.0g)、である。

(21) 磨製石斧【総計 30】

【定角式 7】 84・113・511～514

【非定角 22】 132・216・515～524・526

定角式は側面に面形成の認められるものである。石材は、塩基性岩 1 点 (105.1g)、砂質凝灰岩 1 点

(19.6g)、蛇紋岩 2 点 (計 96.2g)、滑石 1 点 (44.6g)、塩基性凝灰岩 1 点 (70.7g)、変玄武岩 1 点 (320.8g) である。

非定角としたのは、側面に面形成の認められないものである。乳棒状石斧などもここに含まれる。石材は、塩基性岩 14 点 (計 2452.9g)、玄武岩 3 点 (359.2g)、塩基性凝灰岩 1 点 (142.3g)、結晶片岩 1 点 (145.5g)、滑石もしくは蛇紋岩 1 点 (96.0g)、ハンレイ岩 1 点 (157.3g)、緑色片岩 1 点 (27.7g)、である。

(22) 磨製石斧製作途上【2】

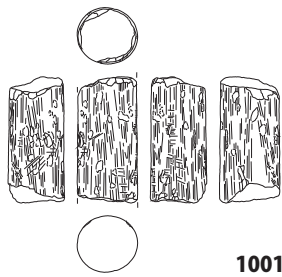
525・527

敲打によるいわゆる半製品の状態で流通したものと考えられるもので、各遺跡 (集落) で研磨調整などを行ったことが窺えられる資料である。非定角の磨製石斧に対応する。塩基性凝灰岩 1 点 (213.5g) と塩基性岩 (223.4g) である。

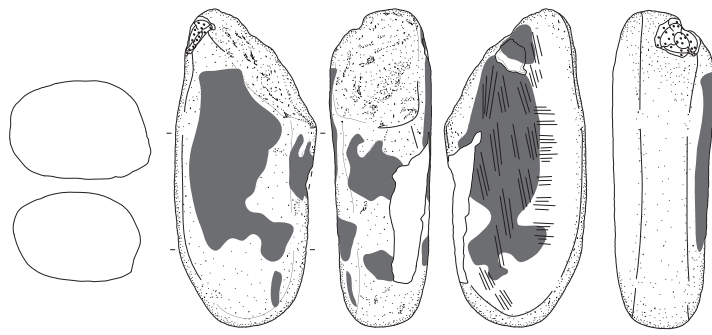
(23) 打欠石錘【15】

27・36・80・243・528～534

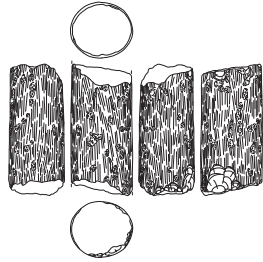
主に長軸の両端を、それぞれ剥離、あるいは両極打撃によって打ち欠きが施されたものである。使用石材は、安山岩 E1 点 (119.9g)、砂質凝灰岩 4 点 (計



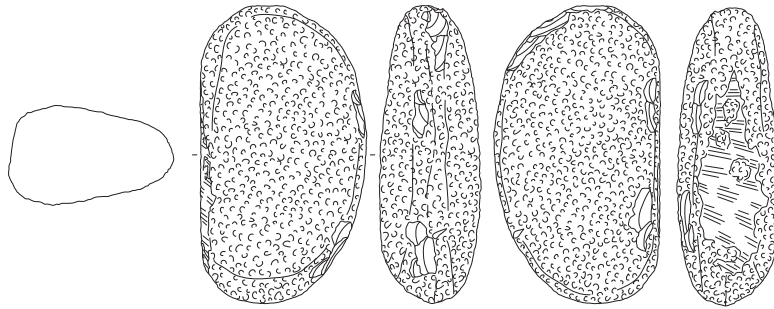
1001
15B 0788SI
結晶片岩 368.4g
S=1/6



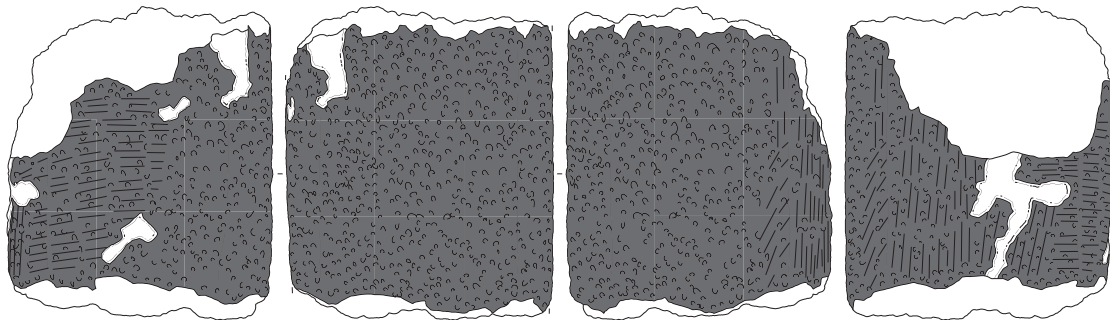
1003
15B 0790SI
凝灰岩 3181.0g
S=1/6



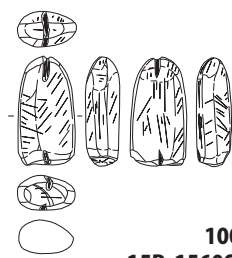
1002
15Cb 3692SK
結晶片岩 377.2g
S=1/6



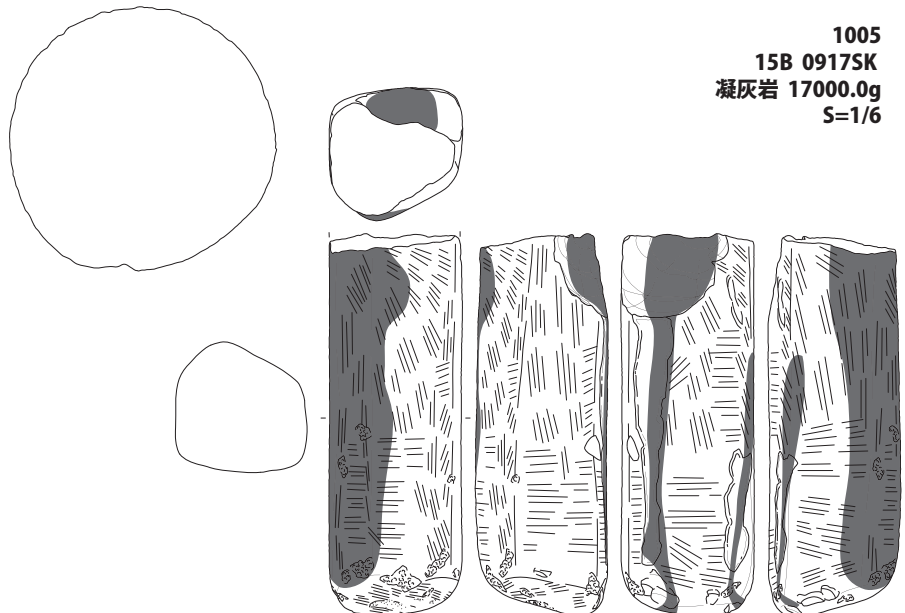
1004
15B 0790SI
片麻岩 460.9g
S=1/6



1005
15B 0917SK
凝灰岩 17000.0g
S=1/6



1006
15B 1560SK
泥質凝灰岩 10.1g
S=1/3

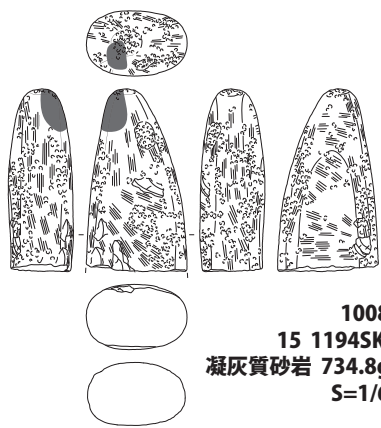


1007
15B 1302SK
凝灰岩 5700.0g
S=1/6

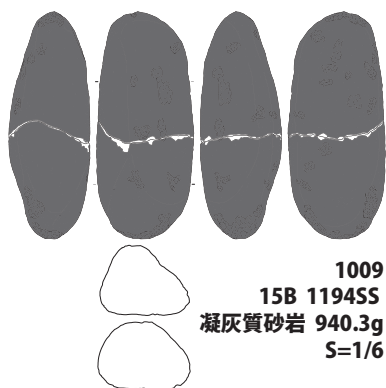
0 (1/3) 10cm

0 (1/6) 40cm

第 294 圖 大型石棒・石冠・岩偶岩版類



1008
15 1194SK
凝灰質砂岩 734.8g
S=1/6



1009
15B 1194SS
凝灰質砂岩 940.3g
S=1/6



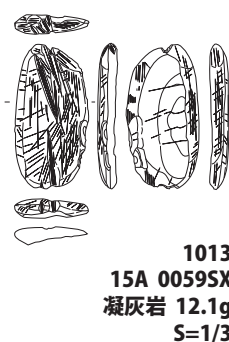
1010
15A 0059SX
綠色片岩 53.4g
S=1/3



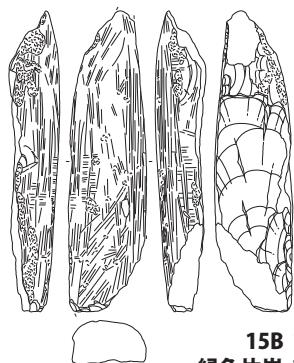
1011
15A 0059SX
砂質凝灰岩 135.2g
S=1/3



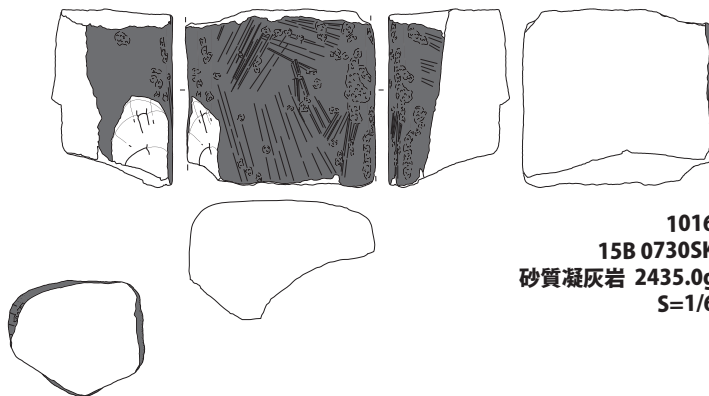
1012
15A 0059SX
凝灰岩 86.4g
S=1/3



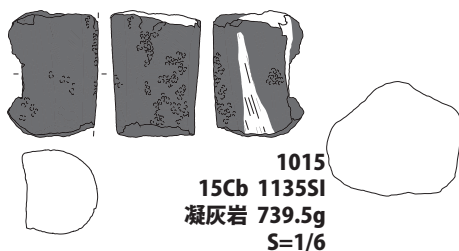
1013
15A 0059SX
凝灰岩 12.1g
S=1/3



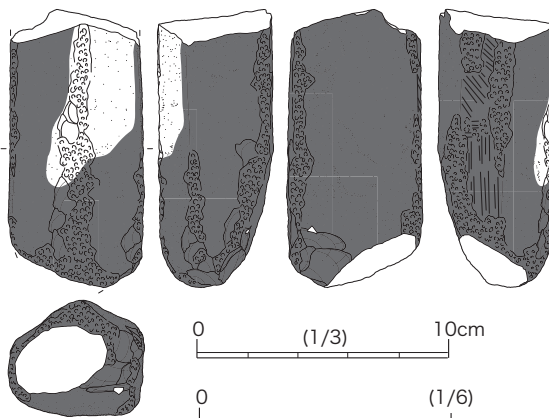
1014
15B 1135SI
綠色片岩 363.5g
S=1/6



1016
15B 0730SK
砂質凝灰岩 2435.0g
S=1/6



1015
15Cb 1135SI
凝灰岩 739.5g
S=1/6

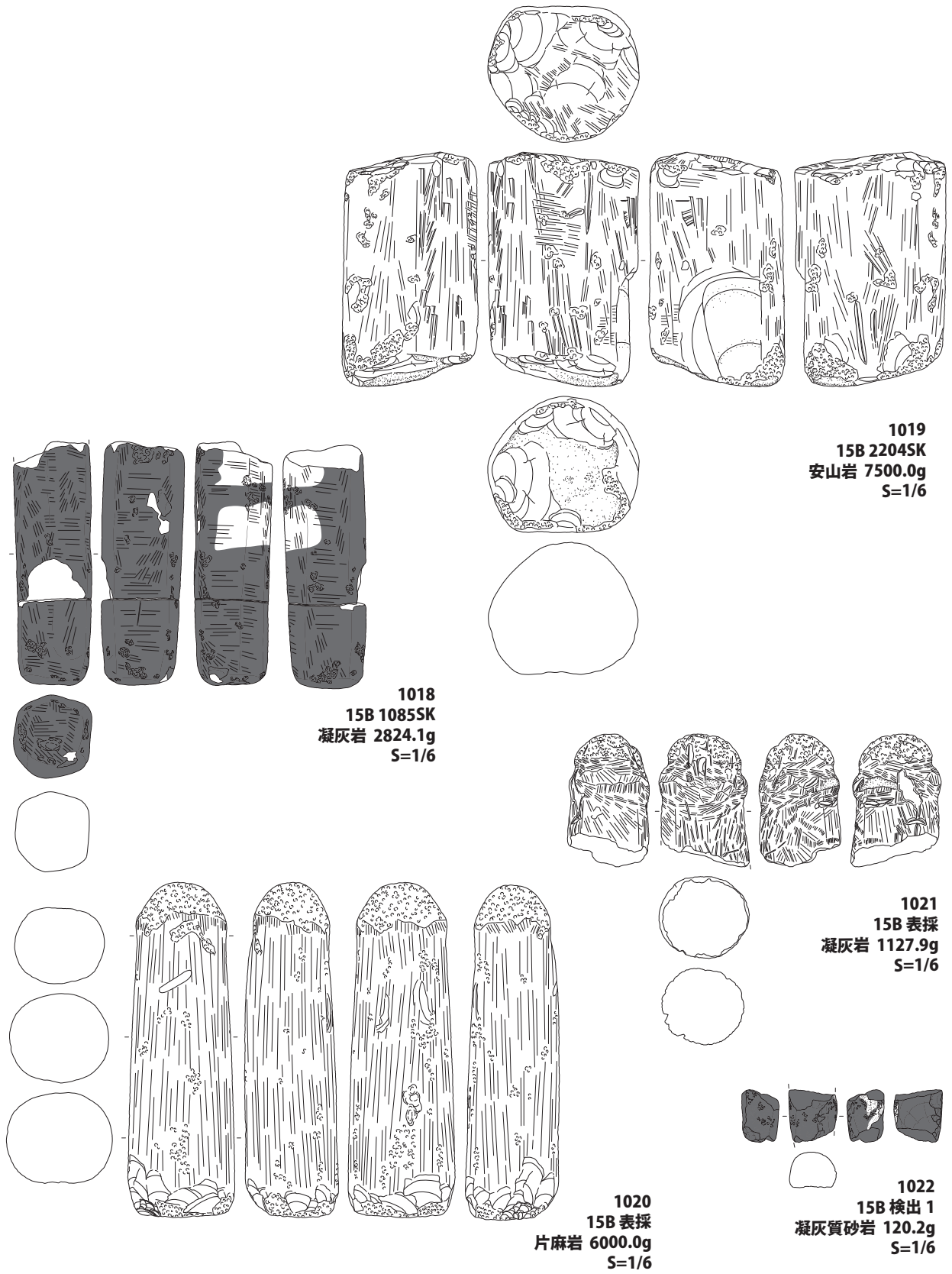


1017
15B 0925K
凝灰岩 2879.7g
S=1/6

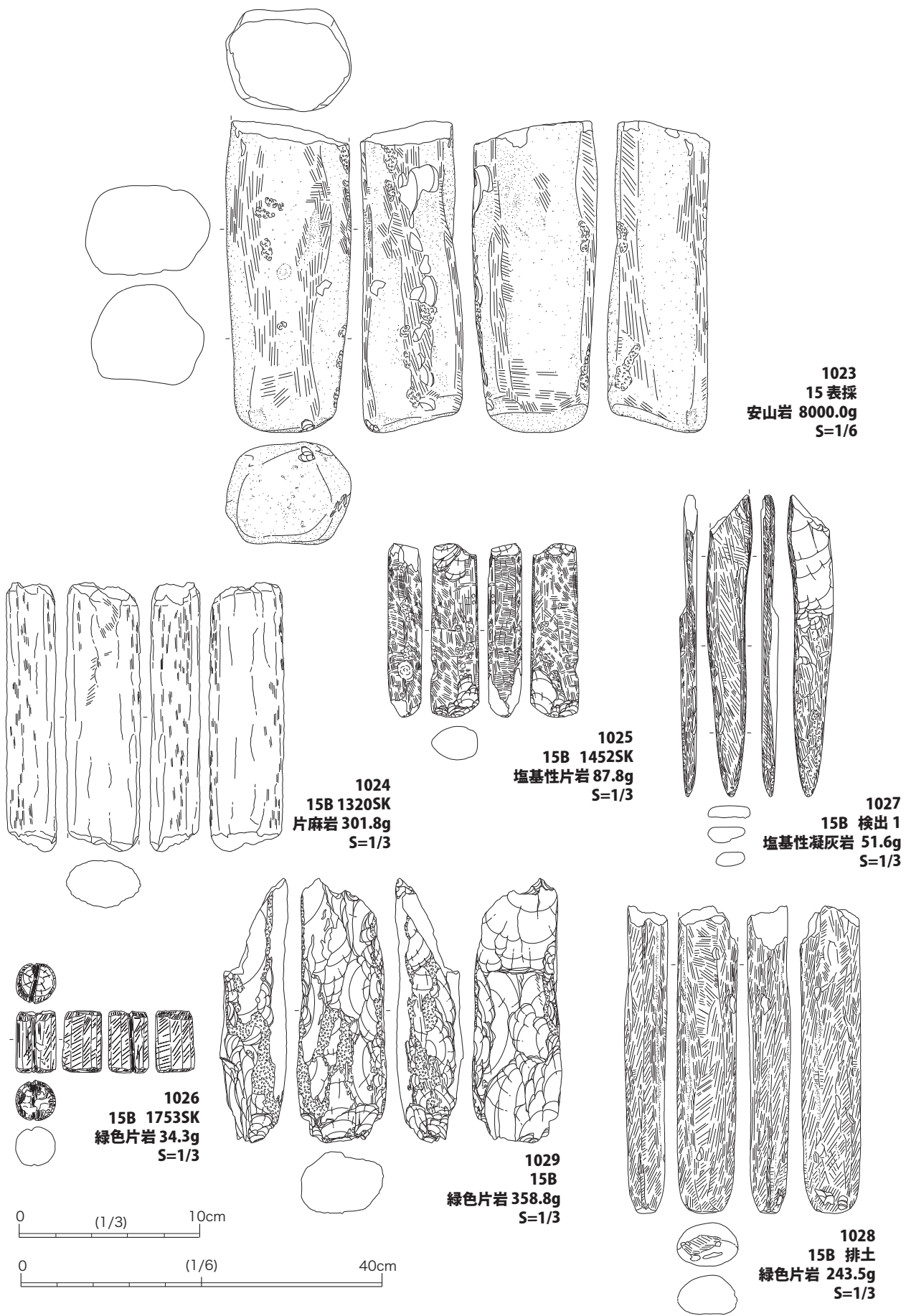
0 (1/3) 10cm

0 (1/6) 40cm

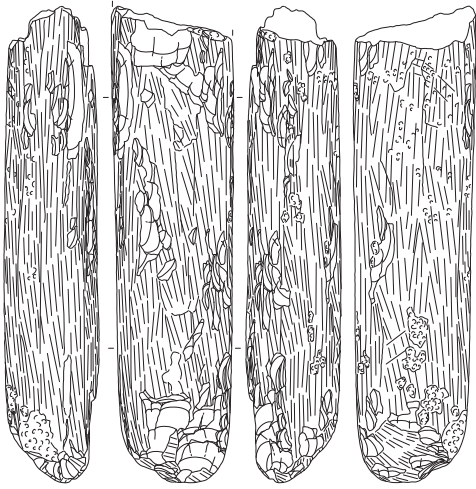
第 295 圖 大型石棒・石冠・岩偶岩版類・石棒石刀類



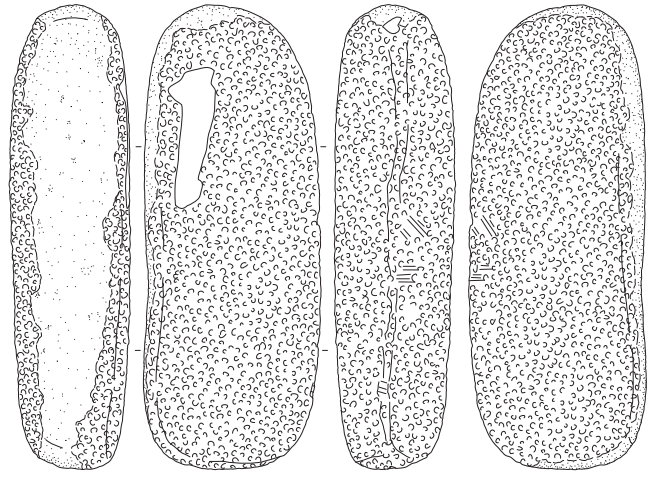
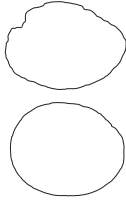
第 296 図 大型石棒



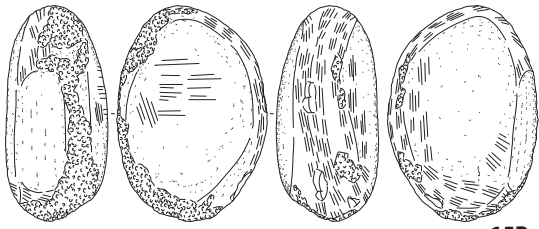
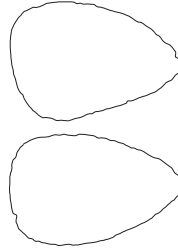
第 297 図 大型石棒・石棒石刀類



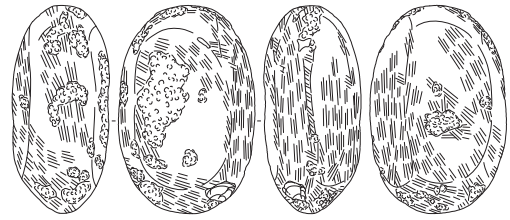
1030
15Cb
結晶片岩 555.2g
S=1/3



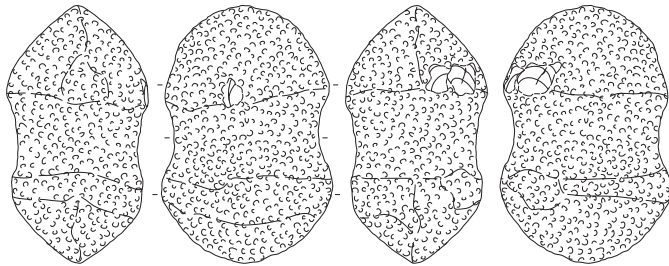
1031
15B
凝灰岩 896.9g
S=1/3



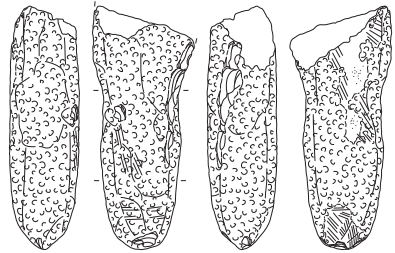
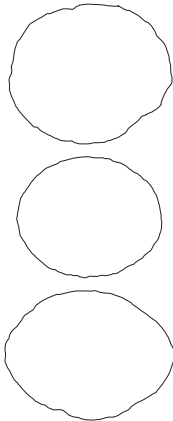
1032
15B 1932SK
片麻岩 676.9g
S=1/4



1033
15A 表採
安山岩 472.2g
S=1/4



1034
15B 2338SK
塩基性岩 553.0g
S=1/3



1035
15B 表土掘削
塩基性岩 160.9g
S=1/3

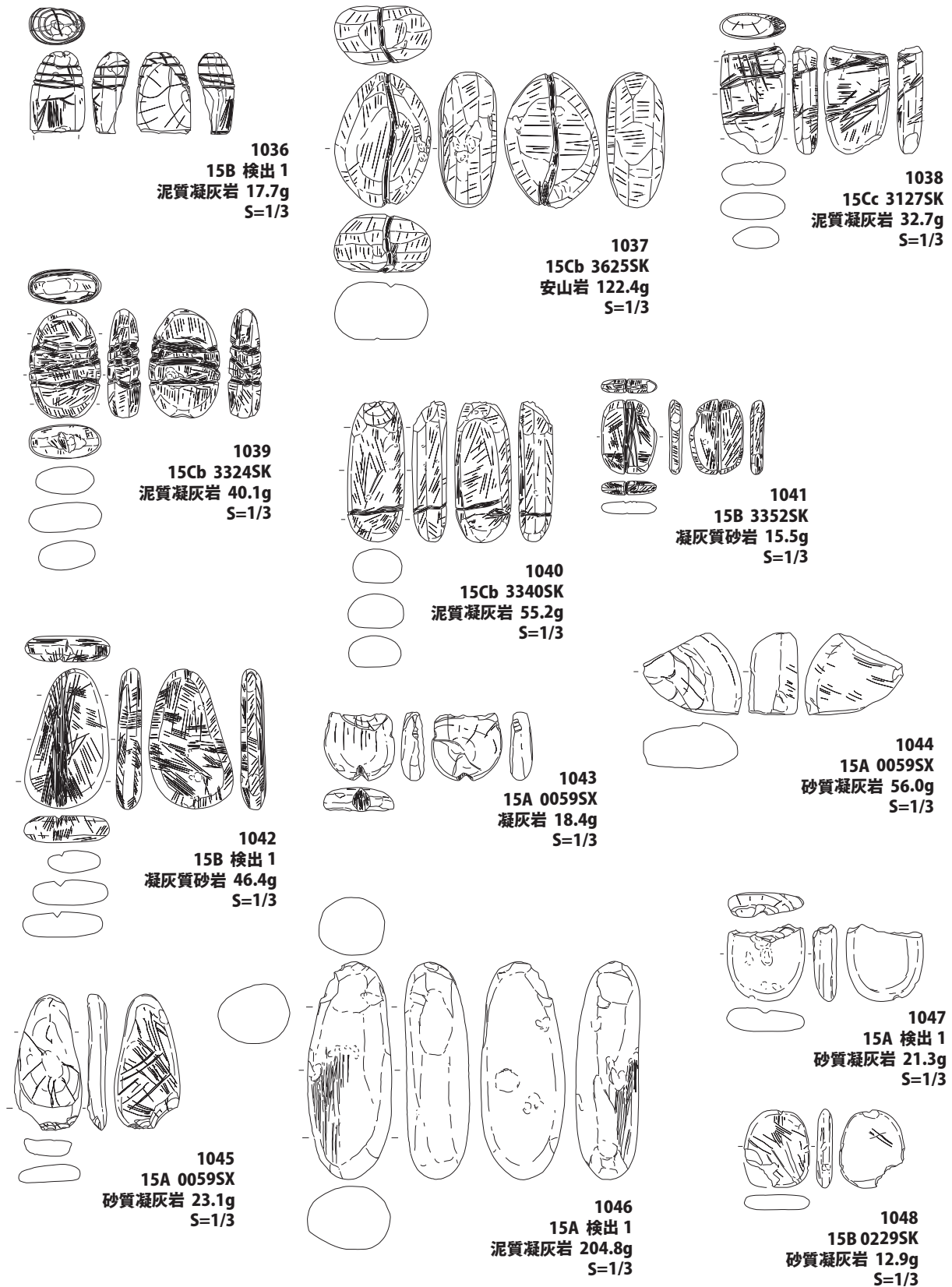


0 (1/3) 10cm

0 (1/4) 20cm

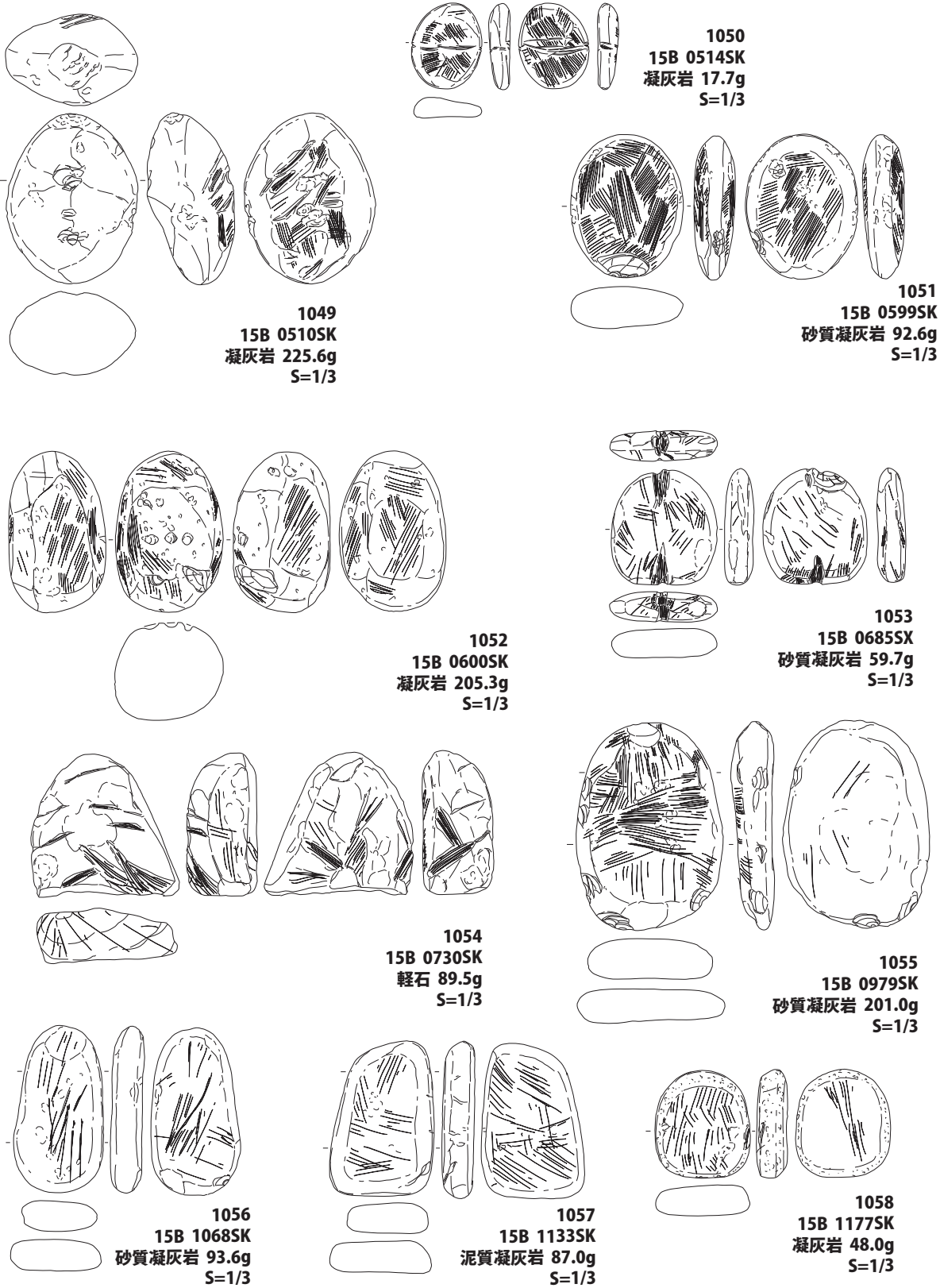
0 (1/6) 40cm

第 298 図 石棒石刀類・石冠・独鈷石



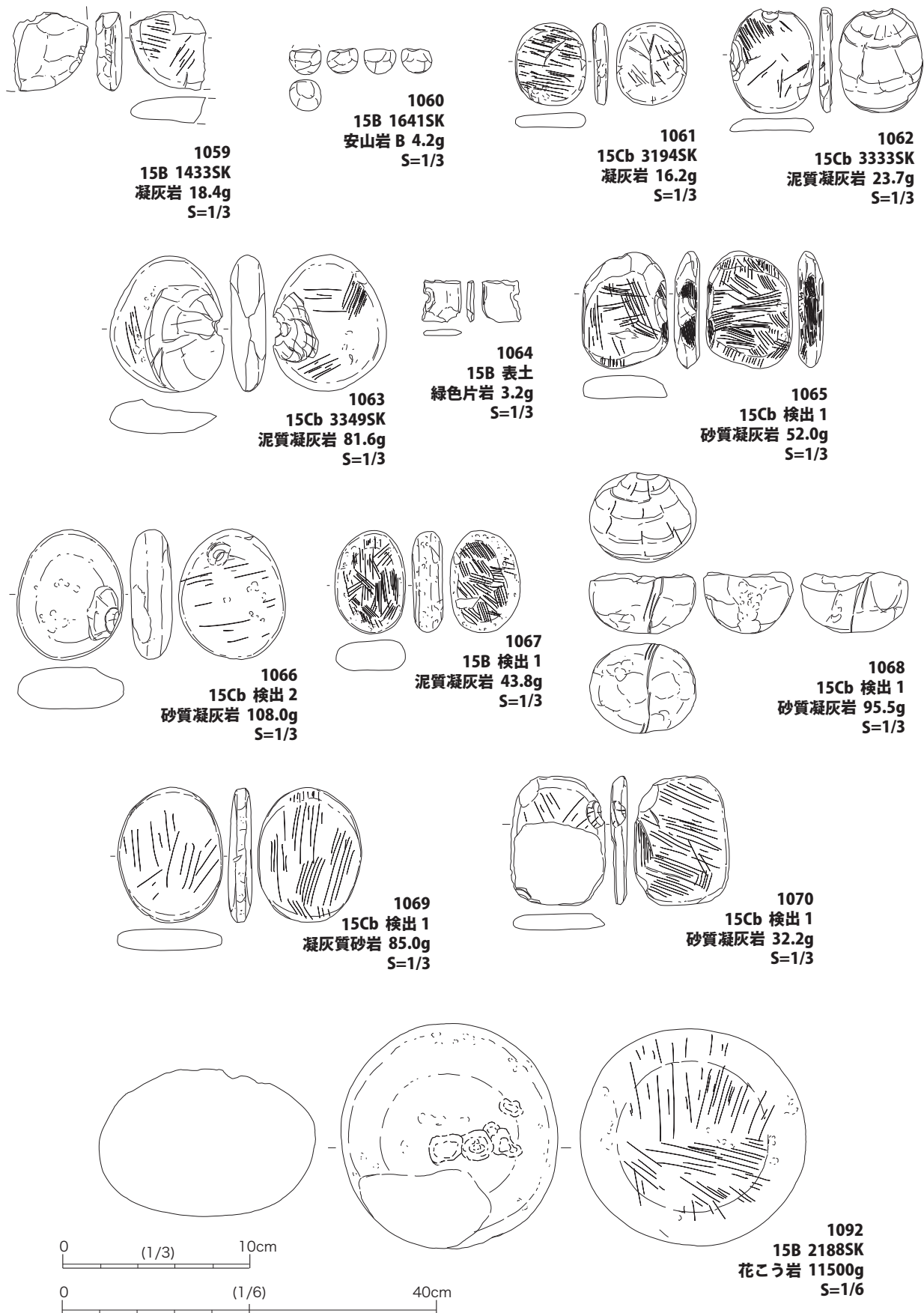
0 (1/3) 10cm

第 299 図 岩偶岩版類 (1)



0 (1/3) 10cm

第 300 圖 岩偶岩版類 (2)



第 301 図 岩偶岩版類・その他の石製品

237.8g)、凝灰岩 2 点 (計 245.0g)、泥岩 1 点 (37.2g)、泥質凝灰岩 1 点 (53.8g)、花こう岩 1 点 (1841.1g)、片麻岩 4 点 (520.8g) である。著しく重量の大きい花こう岩製を除くと、重量の平均値は 86.8g である。

(24) 切目石錘【9】

236・535～542

長軸両端に擦り切り状に施溝の認められるものである。使用石材別に見ると、安山岩 1 点 (32.3g)、塩基性岩 1 点 (81.6g)、塩基性片岩 1 点 (51.8g)、凝灰岩 1 点 (33.0g)、砂質凝灰岩 1 点 (111.0g)、泥質凝灰岩 2 点 (計 147.0g)、片麻岩 1 点 (43.7g)、ホルンフェルス 1 点 (32.6g) である。重量は 8.1g～138.9g まであり、平均重量は 59.2g である。

(25) 有溝石錘【13】

52・100・113・114・543～551

身部に施溝が巡るものである。使用石材別に見ると、砂質凝灰岩 2 点 (計 60.0g)、塩基性岩 7 点 (計 307.4g)、塩基性片岩 1 点 (13.9g)、塩基性片岩 1 点 (53.9g)、黒色片岩 1 点 (32.3g)、緑色片岩 1 点 (67.9g) である。自然礫の形状に施溝が実施されているものもあれば、表面に研磨調整を施したり、研磨による整形を施してから施溝が実施されているものもある。

北設楽地域では、552 のような有溝石錘製作上と思われる資料がいくつか知られている。後述する擦切具の存在など、当地で施溝などが実施されていたことを示す資料といえる。

(26) 砥石【124】

60・85・147・238・244・571～575・578～582

砥石には、砥石と対象物との関係によって、手持ち砥石と石皿台石類のような置き砥石に二分され

るが、ここに報告する砥石は、法量が大きく据え置く形でしか使用できないものでなければ、いずれにも使用可能なものようである。石材は、安山岩 B1 点 (11.2g)、安山岩 1 点 (41.7g)、凝灰岩 7 点 (計 276.4g)、凝灰質泥岩 2 点 (計 103.2g)、凝灰質砂岩 77 点 (計 2175.5g)、砂質凝灰岩 21 点 (計 2003.5g)、泥質凝灰岩 5 点 (計 203.4g)、泥岩 1 点 (1.1g)、片麻岩 9 点 (計 2943.9g) である。

(27) 擦切具【6】

37・118・239・576

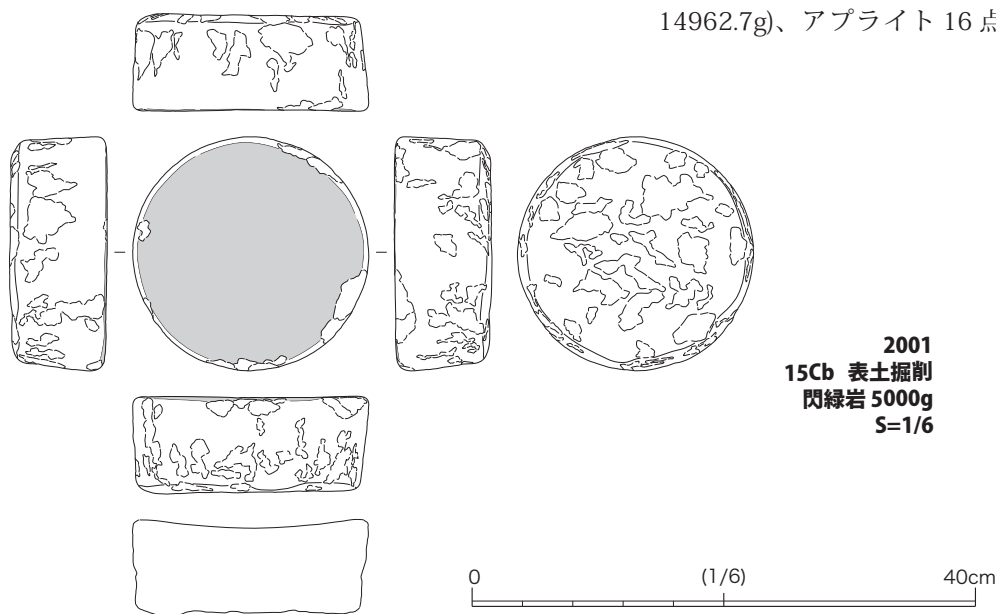
上記手持ち砥石の中でも、端部を使用するもので、石鋸などにも類似するか。三遠地域の山間部では古くからその出土が知られており、近年の設楽ダム関連の調査でも、滝瀬遺跡で出土が確認されている。使用石材は砂質凝灰岩 4 点 (計 146.7g)、凝灰質砂岩 2 点 (計 30.2g) である。

(28) 磨石・敲石類 (いわゆる凹石も含む)【1041】

15・53～55・115・134～142・218・237・553～567・1071

河原石の円礫で、楕円形状・棒状・扁平形状のものをもとに使用したもので、本遺跡からは多量に出土している。磨石としての使用痕と敲石としての使用痕が、一資料でそれぞれの場合もあるものの、実際には両者が混在して認められる場合が多い。また、著しい凹み部が形成されているものも計 84 点確認した (図化資料では 15・54・55・115・134～138・141・142・218・556 が該当する)。

使用石材は、安山岩 B (計 2093.5g)、安山岩 D 26 点 (計 15106.7g)、安山岩 E 3 点 (計 1247.5g)、その他安山岩 109 点 (計 42748.3g)、凝灰岩 154 点 (計 47901.3g)、砂質凝灰岩 188 点 (計 38761.5g)、凝灰質泥岩 3 点 (計 745.9g)、凝灰質砂岩 61 点 (計 14962.7g)、アプライト 16 点 (計 9111.7g)、閃緑



第 302 図 その他の石製品

岩 8 点 (計 11936.3g)、珪質岩 4 点 (計 1971.6g)、砂岩 4 点 (計 2344.9g)、泥質凝灰岩 68 点 (計 10849.9g)、砂質凝灰岩 1 点 (92.4g)、塩基性岩 1 点 (926.4g)、礫岩 1 点 (564.7g)、花こう岩 77 点 (計 53294.9g)、片麻岩 308 点 (計 147078.1g) である。

(29) 石皿台石類【233】

56 ~ 59・71・75・76・116・117・143 ~ 146・217・248・274・275・568 ~ 570

扁平な板石を素材として、著しい加工を加えずにそのまま使用されているものである。やや小型のものになると平面ではなく側面にも使用痕が確認できるものもあり、磨石敲石類としての使用もされたと考えられるものも一定数認められる。

石材別に見ると、安山岩 D 4 点 (12915.7g)、その他安山岩 25 点 (86051.5g)、凝灰岩 43 点 (313534.8g)、凝灰質砂岩 10 点 (18816.3g)、砂質凝灰岩 13 点 (24718.2g)、アプライト 1 点 (3500.0g)、閃緑岩 1 点 (4000.0g)、花こう岩 28 点 (300403.3g)、片麻岩 108 点 (625236.5g) である。

2 石製品

(1) 大型石棒【18】

1001 ~ 1003・1005・1007・1008・1015 ~ 1023

大型石棒としたものは、石棒石刀類の対比される大型のものを一括しており、法量からは径 10cm を越える一群と、10cm 未満のやや小振りのものに分けられる。1005 は径 20cm ほどと飛び抜けて大きい。また、製作・加工の観点からみると、表面に明確な研磨および頭部の作り出しなどの整形が行われているもののほかに、1019 などのように自然の棒状礫を大型石棒に見立てて使用されているものも、ここに含めている。

使用石材でみると、安山岩 2 点 (計 15500g)、凝灰岩 8 点 (計 33188.1g)、凝灰質砂岩 2 点 (855.0g)、砂質凝灰岩 3 点 (2986.1g)、結晶片岩 2 点 (計 745.6g)、片麻岩 1 点 (6000g) である。

(2) 石棒石刀類【22】

1010・1014・1024 ~ 1030

細身の器種で、一側辺が尖り、対向する辺が背になるような刀形を呈するものが主流である。細片化されたもののみが出土している。

1026 などは、細片化されたものの長軸方向に施溝が巡らされているもので、石棒石刀類が石錘に転用されたといわれることが多いものである。祭祀行為の結果、このような加工が加えられたとも捉えることが可能であり、このような事例については、今後も注意深く検討する必要がある。

使用石材でみると、安山岩 1 点 (106.8g)、塩基性岩 1 点 (77.2g)、塩基性凝灰岩 1 点 (51.6g)、塩基性

片岩 1 点 (87.8g)、結晶片岩 4 点 (計 652.2g)、片麻岩 3 点 (計 499.9g)、ホルンフェルス 1 点 (135.6g)、緑色片岩 10 点 (計 1310.5g)、である。

(3) 岩偶岩版類 (線刻礫含む)【78】

577・1006・1012・1013・1036 ~ 1063・1065 ~ 1070

北設楽地域を特徴付ける石製のひとがたである。扁平なものは、平面形状が楕円形や水滴形を呈するものが多く、線刻で横線や縦線などが線刻されている。中には、楕円形状の長軸方向に施溝されているものもあり、有溝石錘とされている一群ときわめて近い形状となっているものもある (1037 など)。また、1036 のような厚みのあるものでは、端部に線刻が併行して巡るなど、石棒類に近い形状を呈するものも認められる。

石材別にみると、安山岩 D 2 点 (計 44.7g)、その他安山岩 1 点 (122.4g)、凝灰岩 16 点 (計 942.5g)、軽石 1 点 (89.5g)、砂質凝灰岩 31 点 (計 1825.9g)、泥質凝灰岩 24 点 (1522.8g)、凝灰質砂岩 2 点 (計 100.5g)、泥岩 1 点 (22.3g)、である。

また、調査では、岩偶岩版類に対応すると考えられる原石を計 858 点採取している。線刻や研磨などの人工的な可変が加わっていないものである。遺跡内の堆積層に存在していたものもある上で、境川岸で採集されたもの遺跡内に集中して持ち込まれ事情もあったものと考えられる。石材別に見ると、安山岩 B 19 点 (計 90.3g)、安山岩 D 12 点 (計 515.7g)、その他安山岩 11 点 (計 235.9g)、凝灰岩 122 点 (計 2304.3g)、砂質凝灰岩 381 点 (計 8523.5g)、泥質凝灰岩 267 点 (計 6762.0g)、凝灰質泥岩 1 点 (53.8g)、凝灰質砂岩 41 点 (計 834.1g)、片麻岩 4 点 (計 21.1g)、である。

(4) 独鈷石【2】

1034・1035

磨製石斧同様に、敲打による粗整形の後に、研磨調整で仕上げられているものである。2 点確認され、いずれも塩基性岩を使用している。

(5) 石冠【6】

1004・1009・1011・1031 ~ 1033

一辺が平坦で、対向する一辺が尖る形状の石製品である。今回確認された資料は、10cm 以上と長い形状のものが主体となっている。

使用石材は、安山岩 1 点 (472.2g)、凝灰岩 1 点 (896.9g)、砂質凝灰岩 1 点 (135.2g)、凝灰質砂岩 1 点 (940.3g)、片麻岩 2 点 (計 1137.8g)、である。

(6) その他石製品

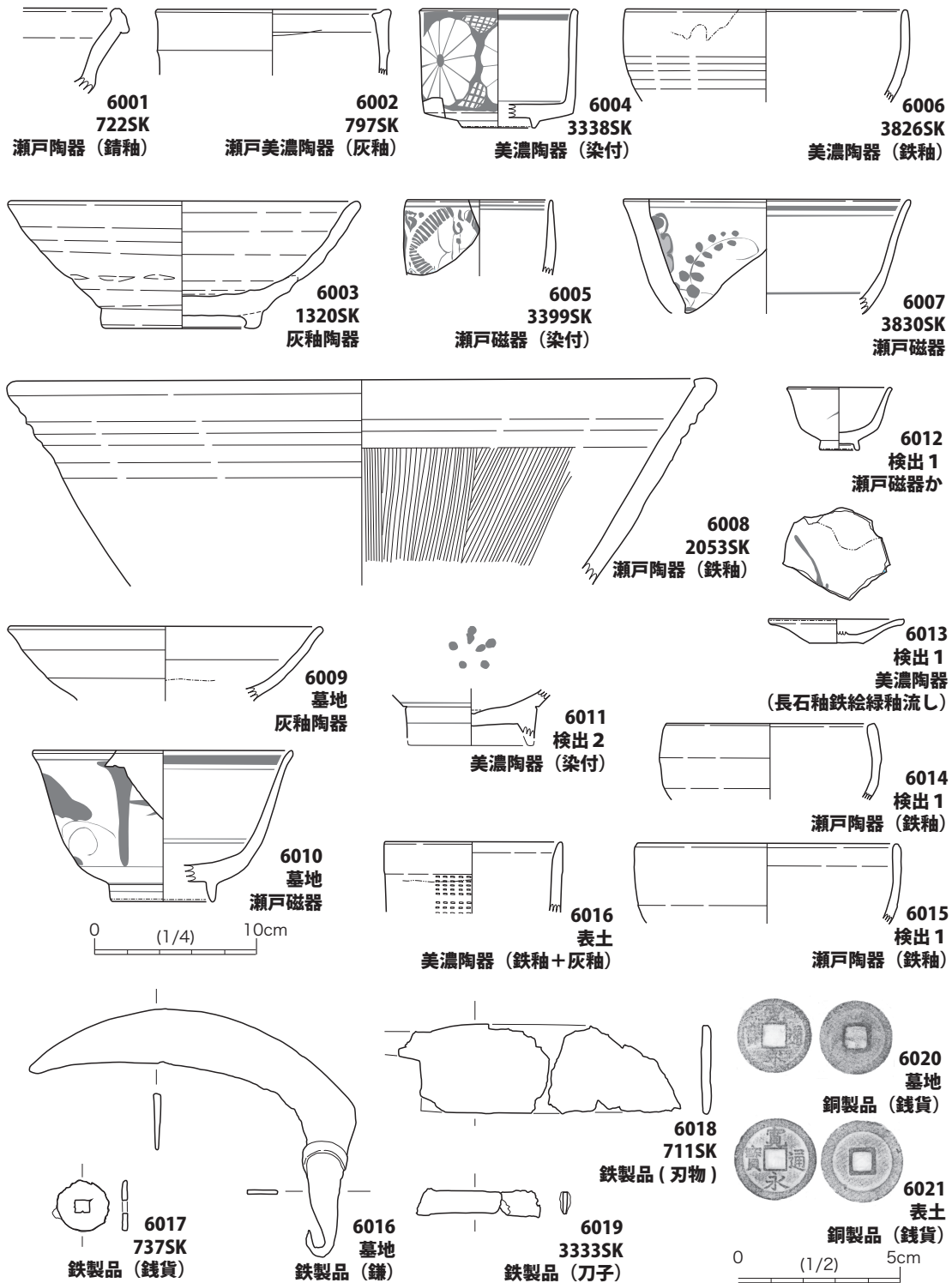
1060・1073・1076 は擦れた礫ともいべきものであるが、何か加工をするための道具である磨石とは区別される。特に 1060 は結果として小型の球状になったものと考えられる。

3 小結

今回の出土石器群の様相を見ると、石鏃および石鏃に対応する小型剥片石器類の出土が多くない。これまで笹平遺跡出土石器群として知られていた原田氏資料と比較すると、その差は歴然である(川添2020)。笹平遺跡の石器群全体を把握するには、両資料群を見る必要がある。(川添和暁)

第4節 古代以降の遺物

古代以降の遺物には平安時代の遺物(6003・6009)が若干ある他は、江戸時代以降のものが多く、大半は19世紀以降に属するものである。調査前まで墓地であった区域周辺では寛永通寶や鉄鏃など副葬品と思われる遺物が出土した。(鈴木正貴)



第303図 古代以降の遺物